

古今
和漢

唐 後 傳 記

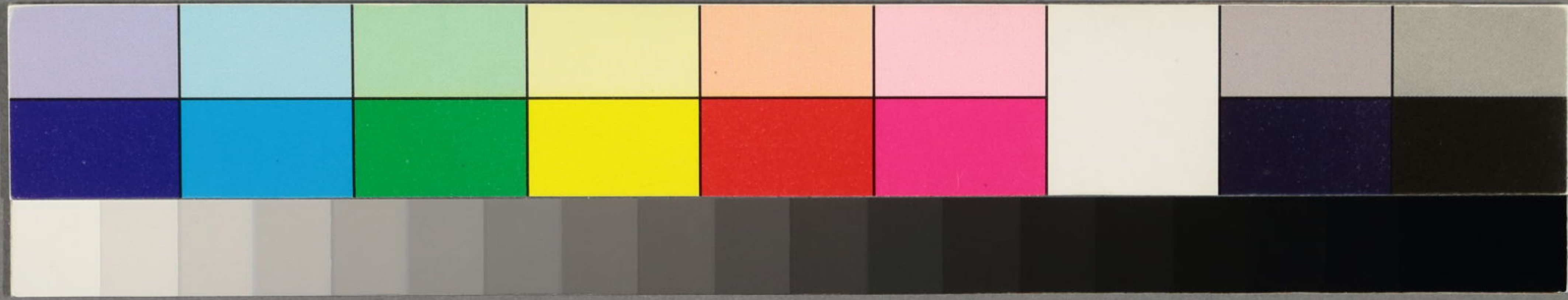
萬寶全書

四

目錄五
唐後自載書至郭燧
鄭澤九百七十八人
並傳記下文

全





唐畫傳目錄



合口類 瑤 眞 御 證

唐繪畫人物目錄

一 戴嵩

二 戴嵩

三 趙孟頫

四 李公麟

五 徐熙

六 李公麟

七 陳常

八 趙昌

九 陳常

十 楊補之

十一 陳所翁

十二 李安忠

十三 王顧

十四 夏圭

十五 毛益

十六 錢選

十七 孫奉

十八 趙孟頫

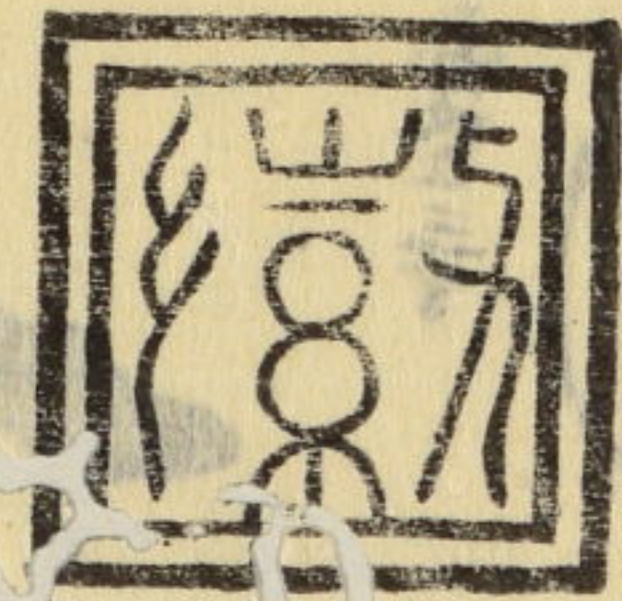
十九 趙孟頫

二十 孫奉

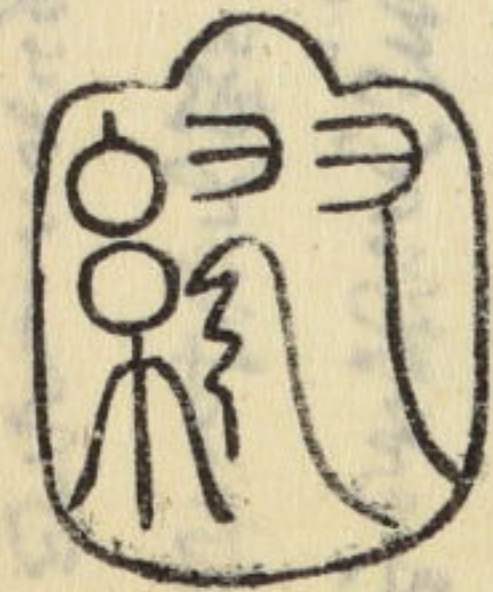
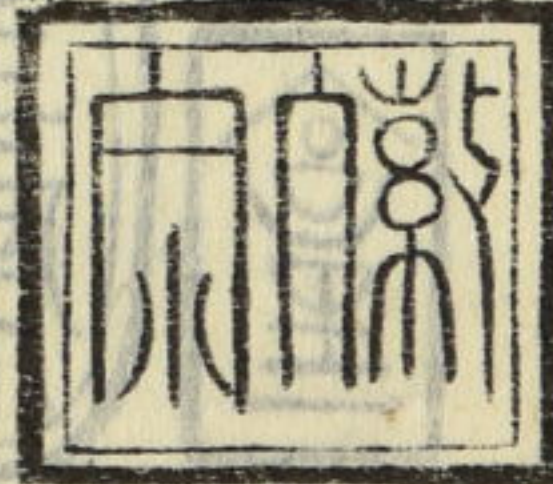
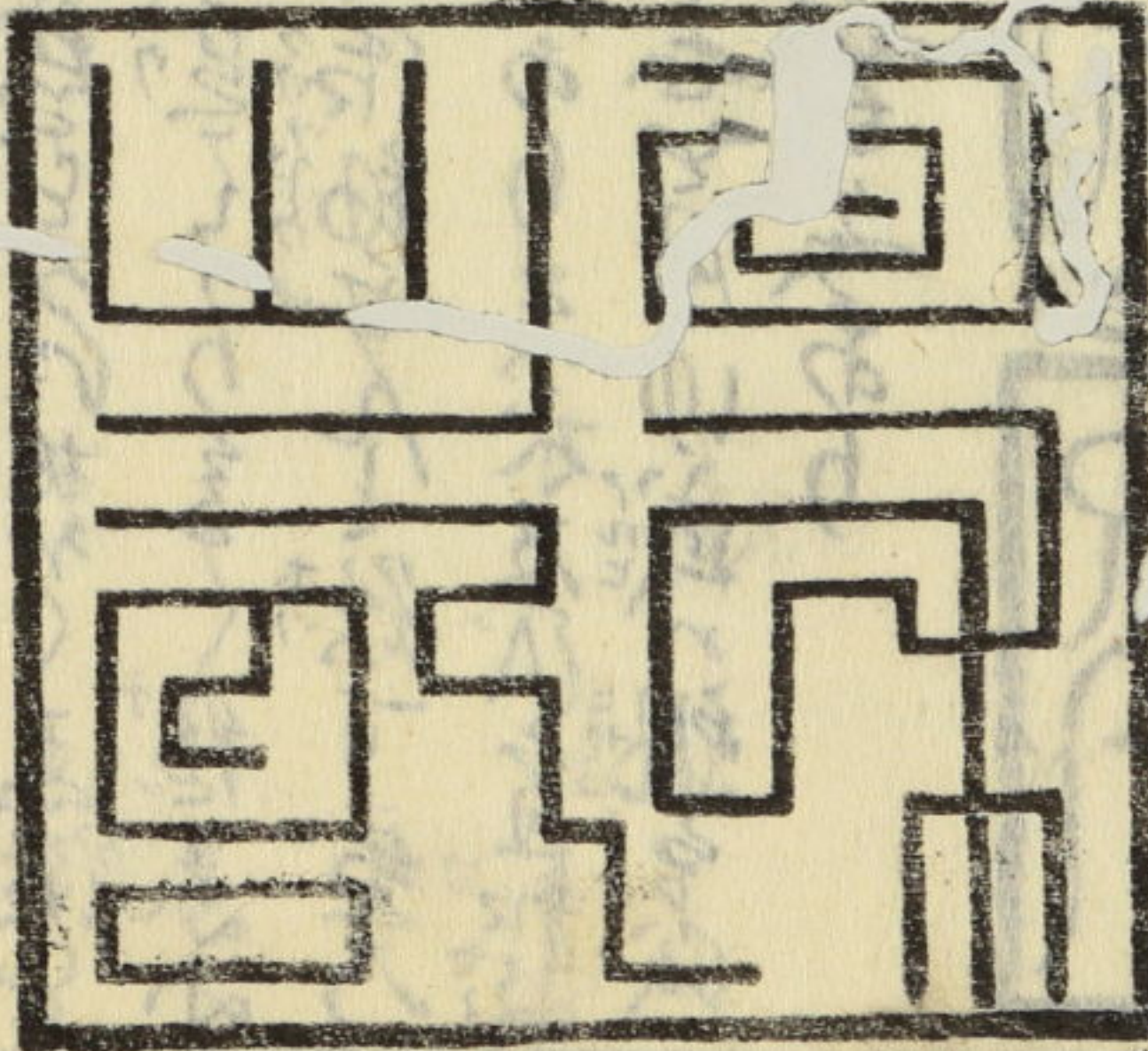
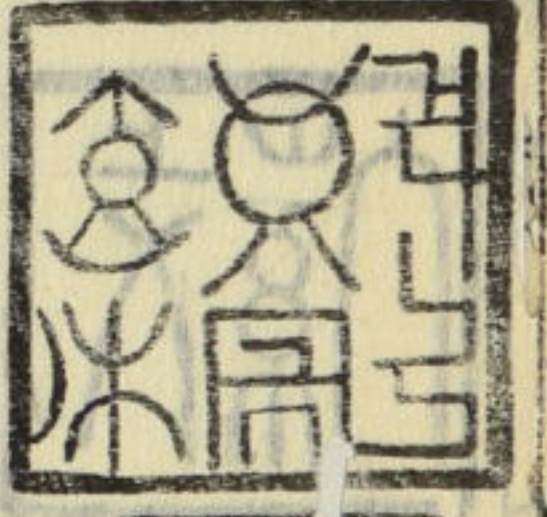
右廿八付ハ月在中是傳ハ好奉也



Handwritten marginal notes on the left edge of the left page.



Small seal script character, possibly '高'.



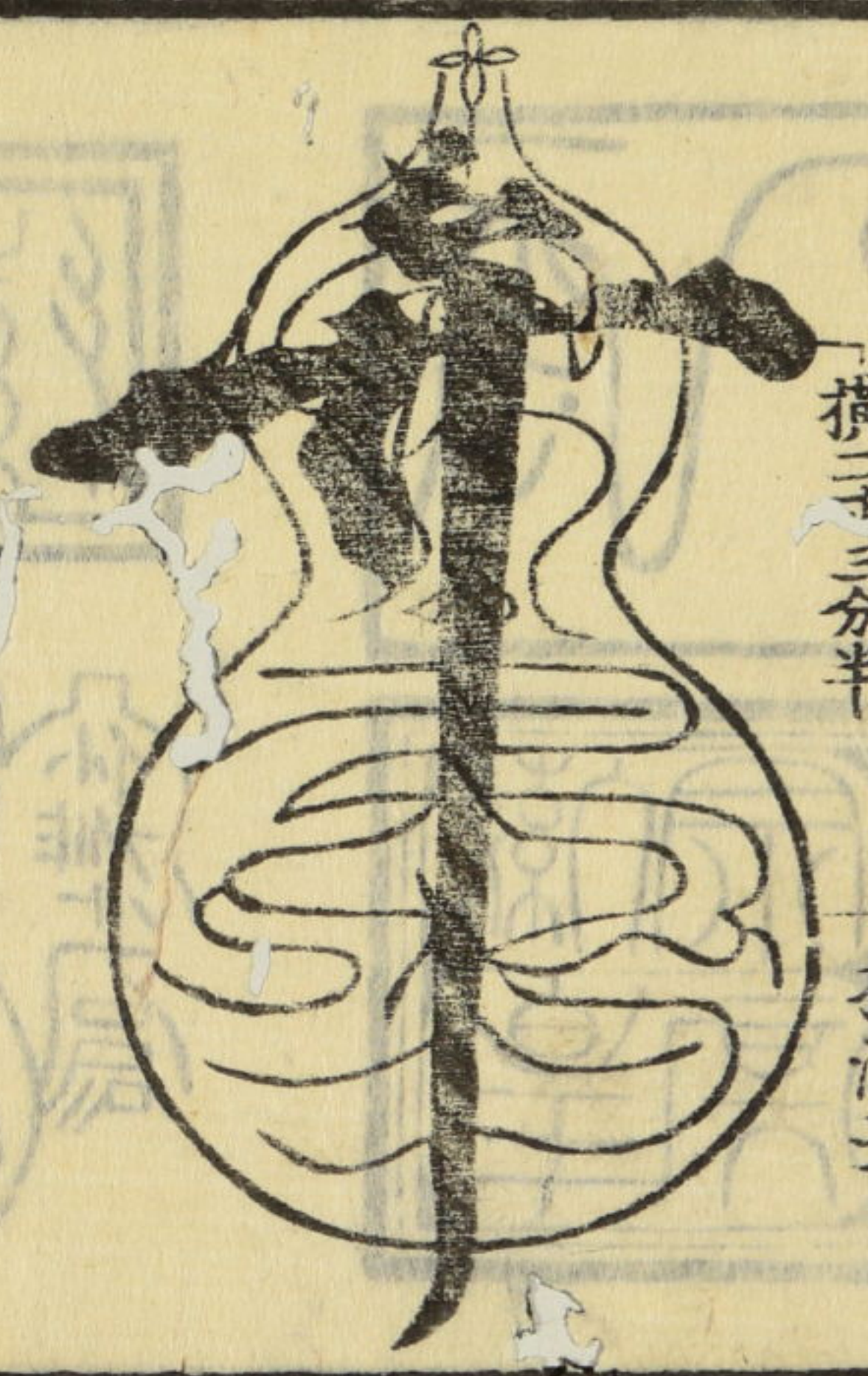
Handwritten marginal notes on the right edge of the right page.

唐錦館
錦切

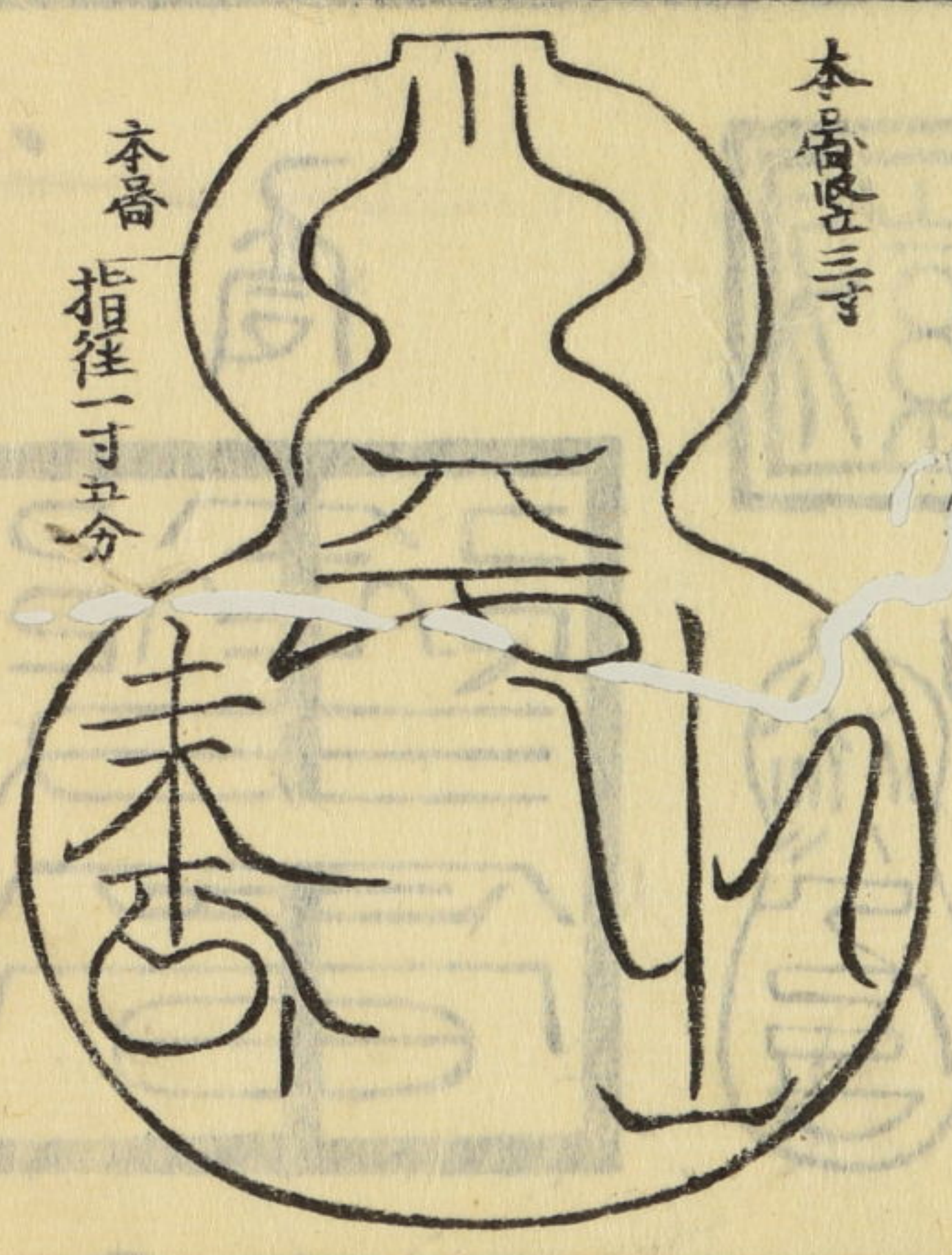
本高堅三寸八分

横二寸三分半

本高 指渡二寸



本高堅三寸



本高 指徑一寸五分

本高指二寸三分半

李公麟

字伯時 號龍眠居士

予す舒城の人なりをとの身
 小乃がうひりく 法書新書と
 板ふ友人乃 筆法用りんと
 書とあしと 吾宗乃 風格あり
 後乃より 願強張其乃 茶代の
 身乃とあしと 吾宗乃 風格あり
 予す舒城の人なりをとの身
 小乃がうひりく 法書新書と
 板ふ友人乃 筆法用りんと
 書とあしと 吾宗乃 風格あり
 後乃より 願強張其乃 茶代の
 身乃とあしと 吾宗乃 風格あり
 予す舒城の人なりをとの身
 小乃がうひりく 法書新書と
 板ふ友人乃 筆法用りんと
 書とあしと 吾宗乃 風格あり
 後乃より 願強張其乃 茶代の
 身乃とあしと 吾宗乃 風格あり

李公麟

宛中へ送るべき一様小指紙
ありて之を以て之より小宛小点す
是れ此の如く之より之と欲す

人抱の多しは之なり

揚補之 字の無答と云り進禪

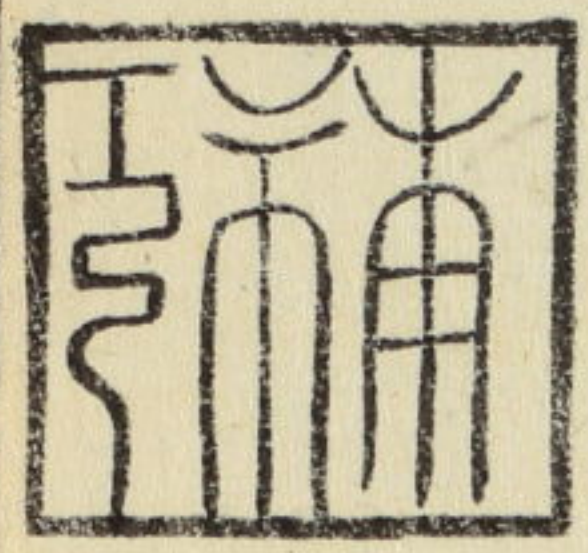
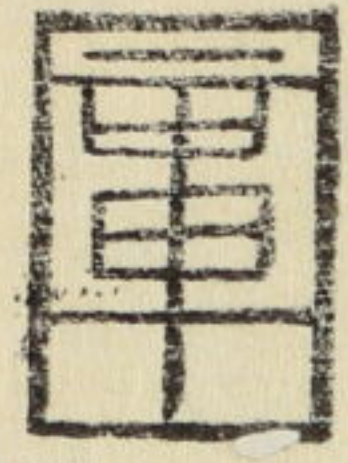
中後と号すも昌乃く多り宗乃

と書ハ入ふたがのふふと云

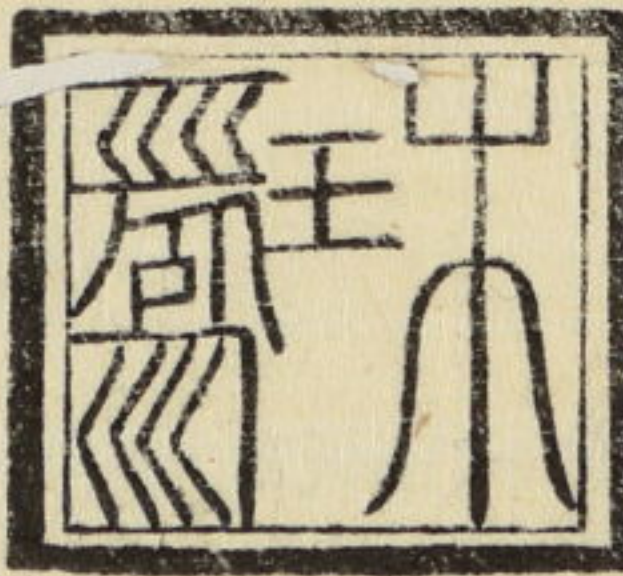
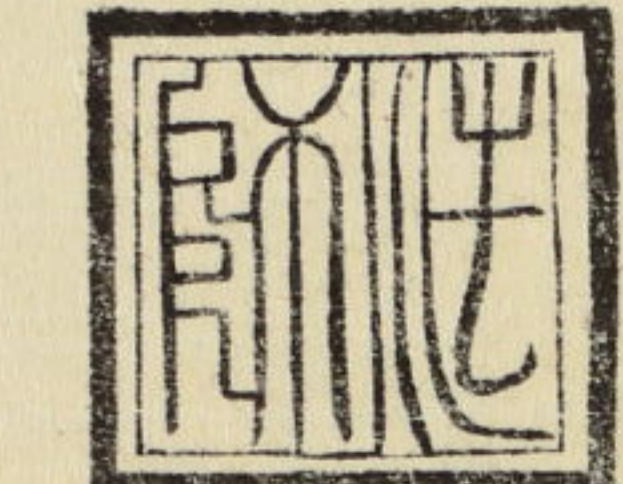
すも宗乃のふふと云云接と云

志よりふるとも報す又自ら

世乃一終とす



揚補之
印文



陳容 字の公然自く所義と号

す福庵乃く人なり宗益乃上宗

とす福平二年小進と云り愿部

志文宗乃のふふと云り入て國子

監と簿と云り物と云り蕭田小字

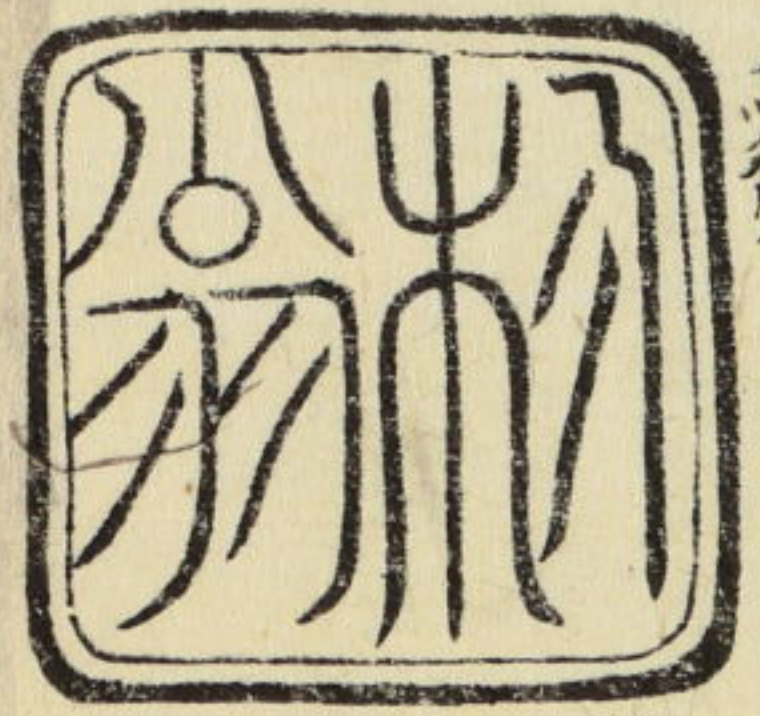
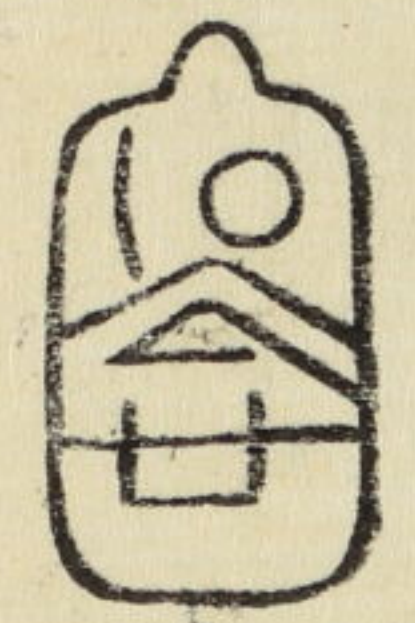
と云り實秋野と云り人抱と云り

小波す何のやと云り解と云り

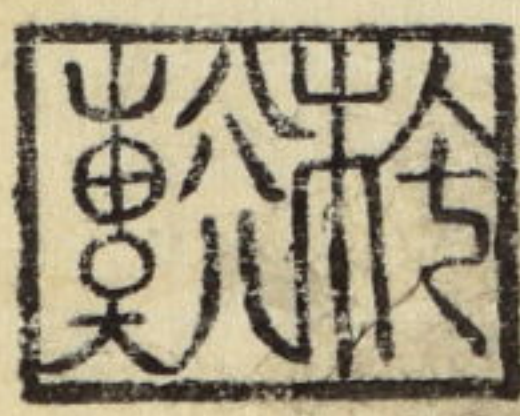
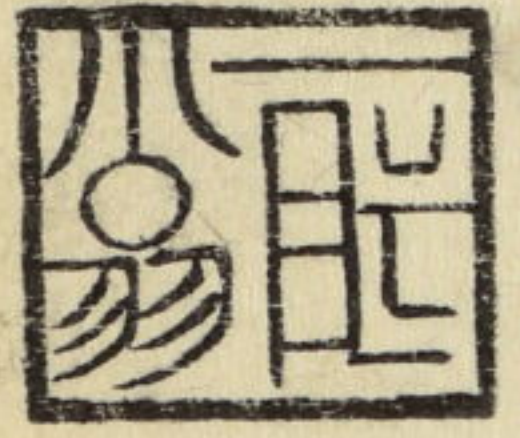
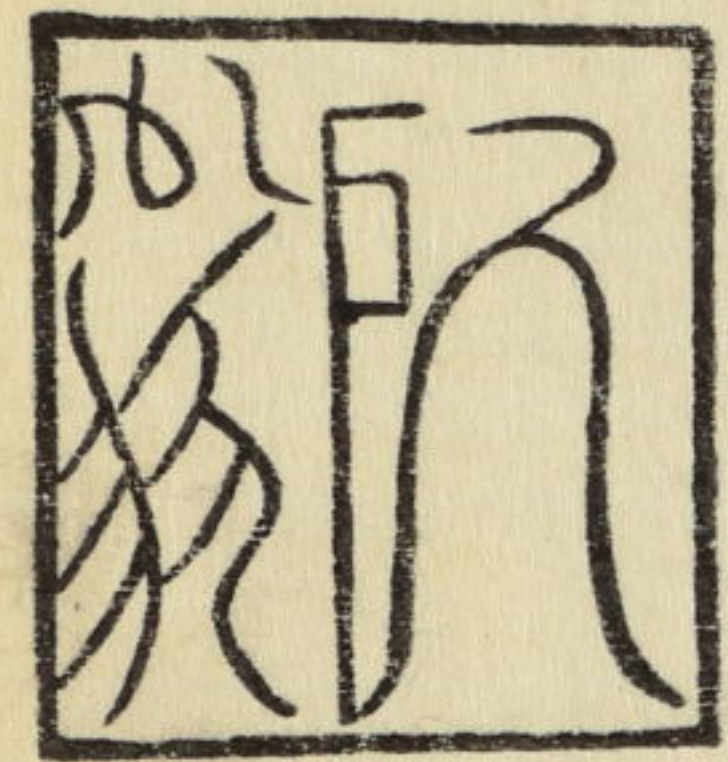
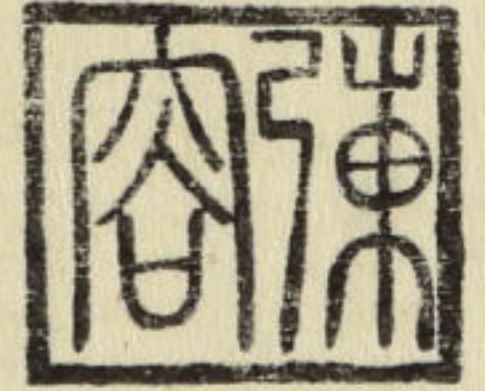
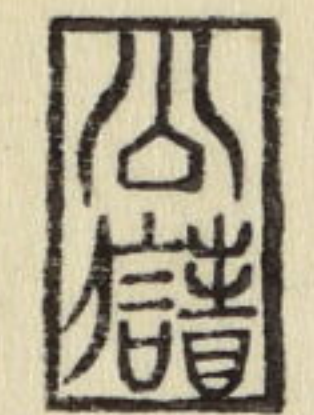
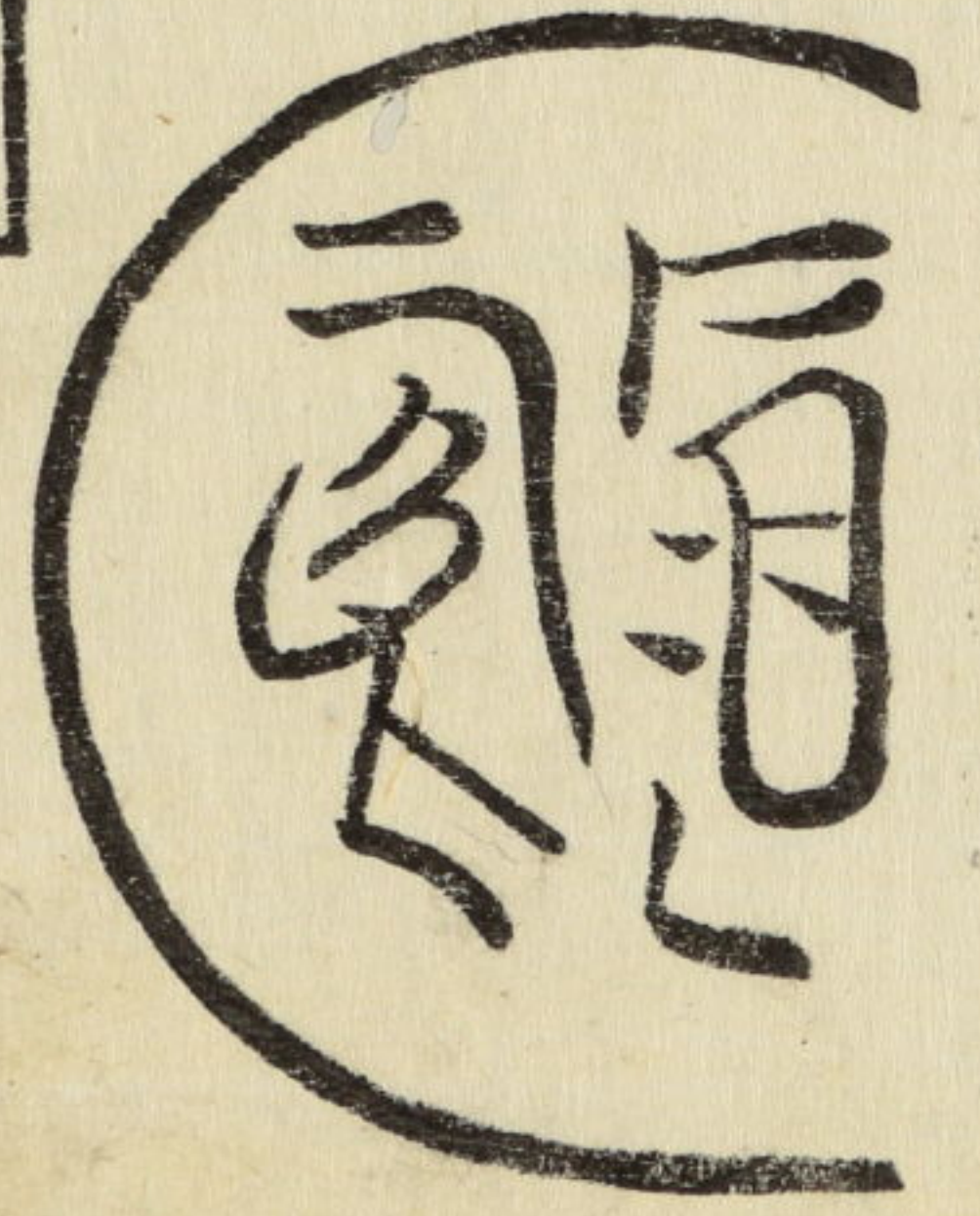
らんと云りわがと云り實秋の
もこれふと云り物と云り物と云り
然と云り物と云り物と云り物と云り
と云り物と云り物と云り物と云り
と云り物と云り物と云り物と云り

六ふんぐんで中とぬびぐこれと
書ふらうりや一ものまをせしぬり
りそしほき成りこれとあり成
へ全結もあり成り一辨一端もろ
隠物ありそなつけうごまうへ
ふごふと終まうそま終妙と
ゆら時ふ松竹とありそま柳松
幾雲作とありま雲とあり
乃法う雲松乃月乃松一樹よ
ま一雲まや一糸力のよく
易粧妙たり降ろれま雲松ふ
垂あへ一程ふ居たり文作以信

陳所翁印文

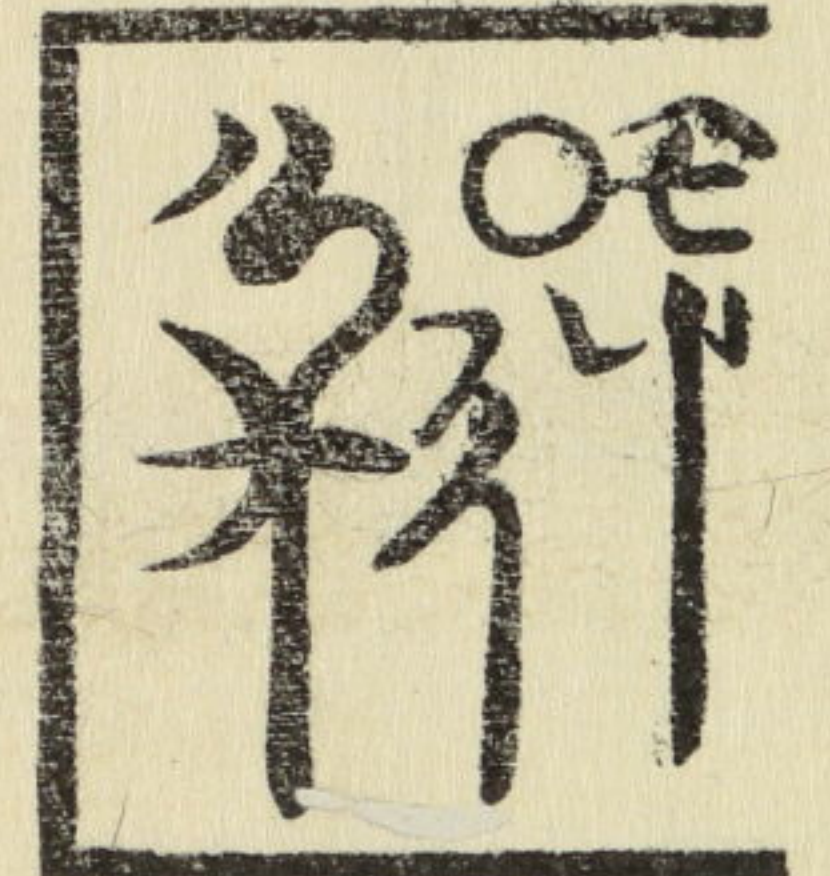
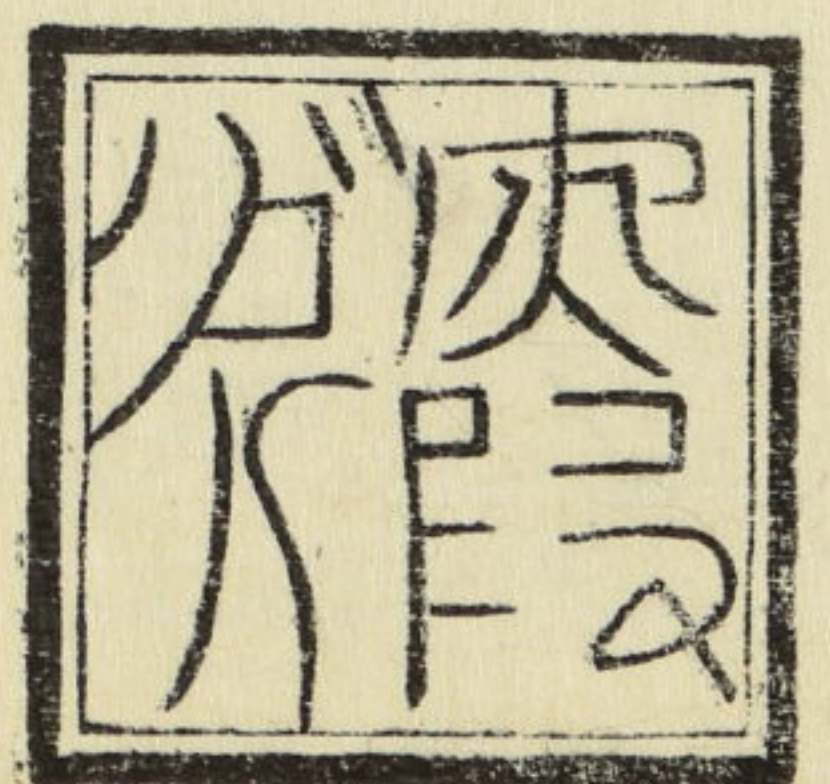
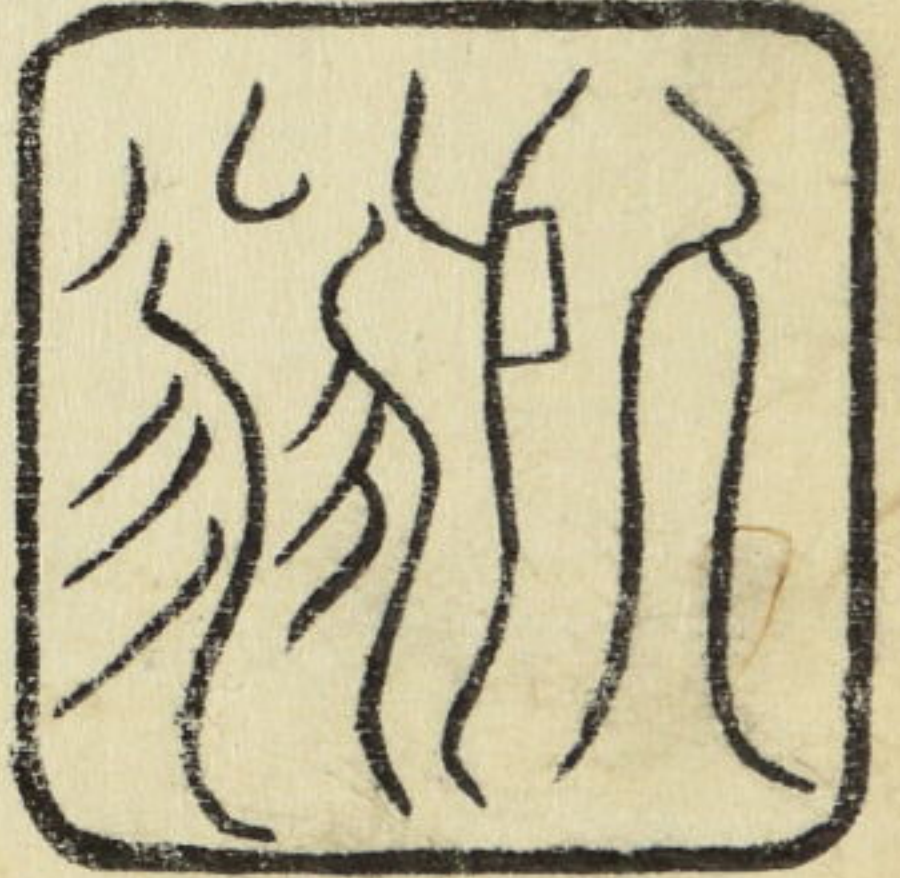
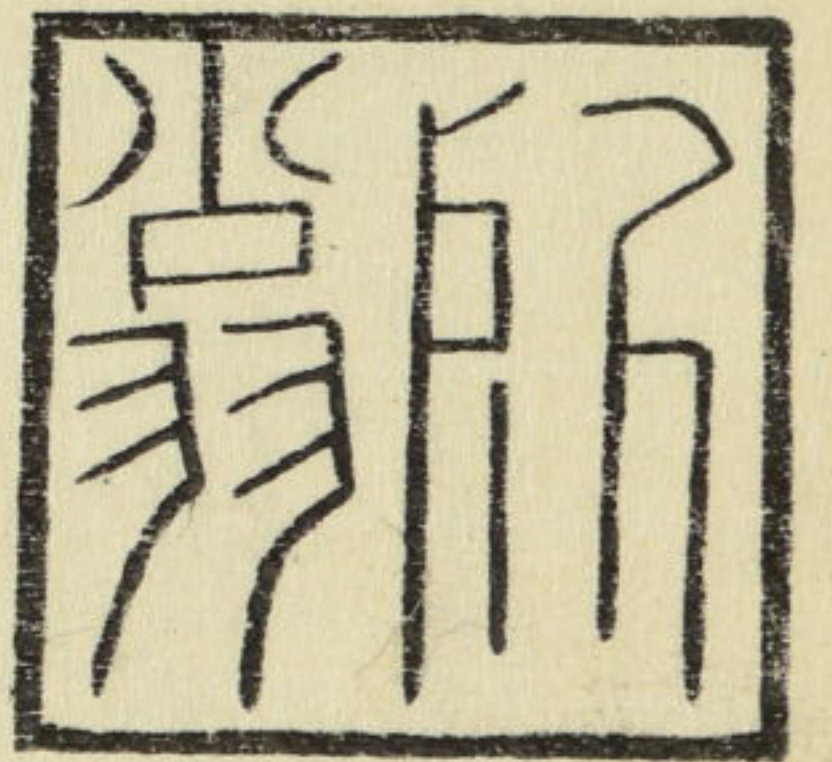


所翁



唐紙作印

三三三

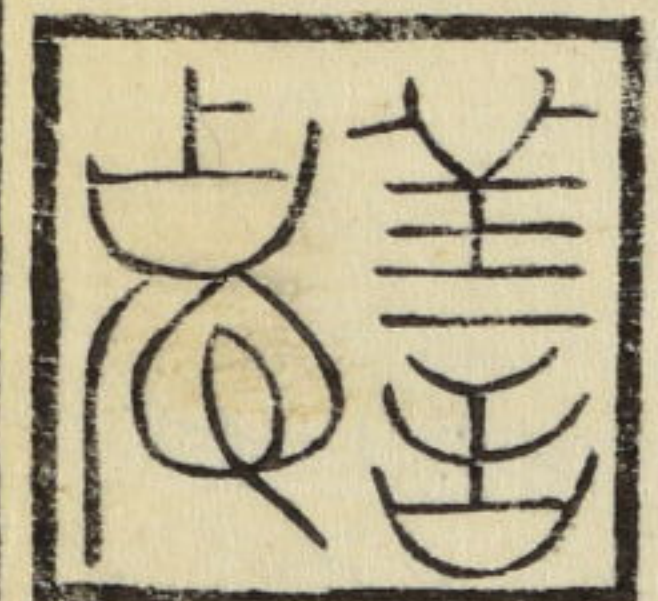
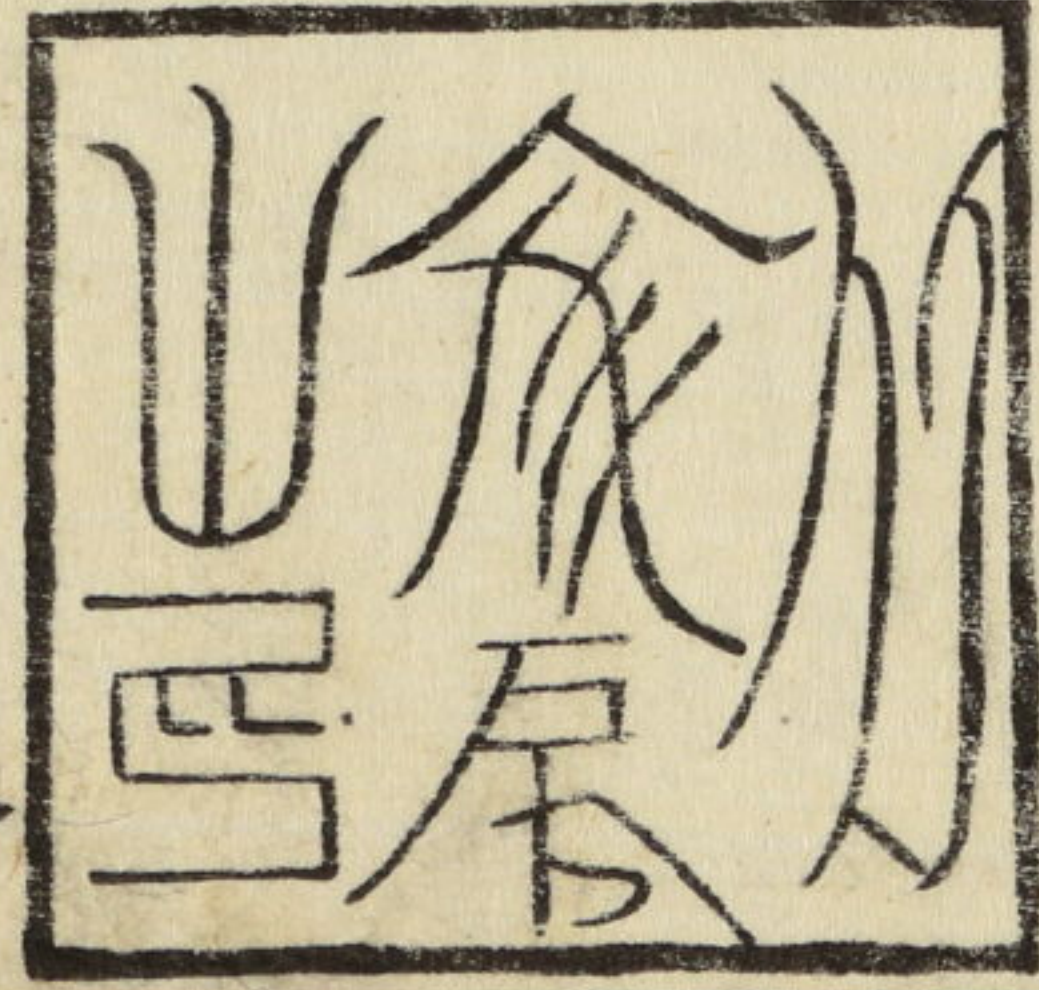
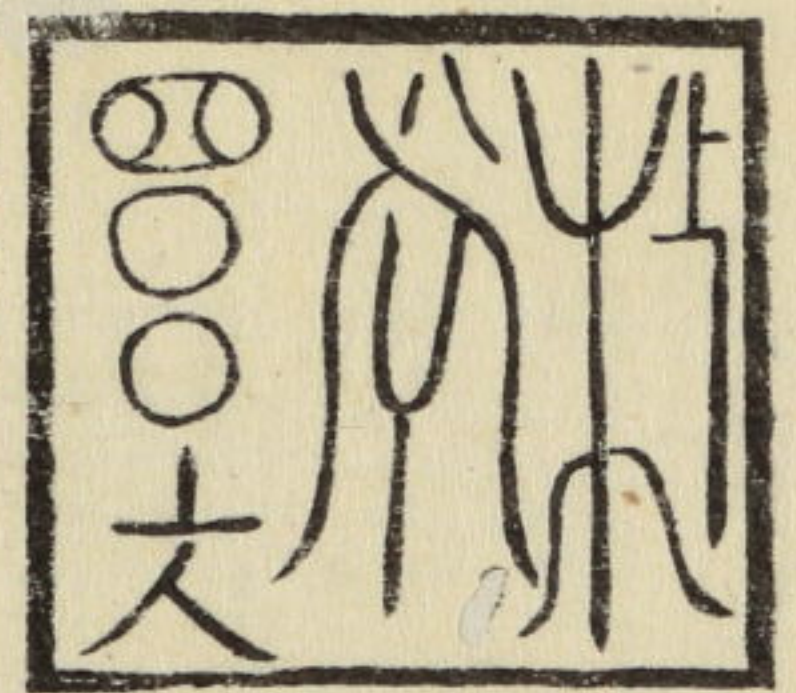
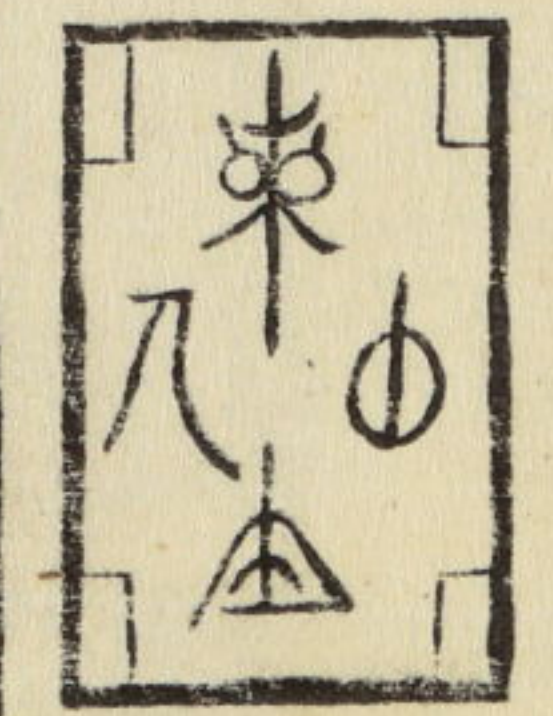
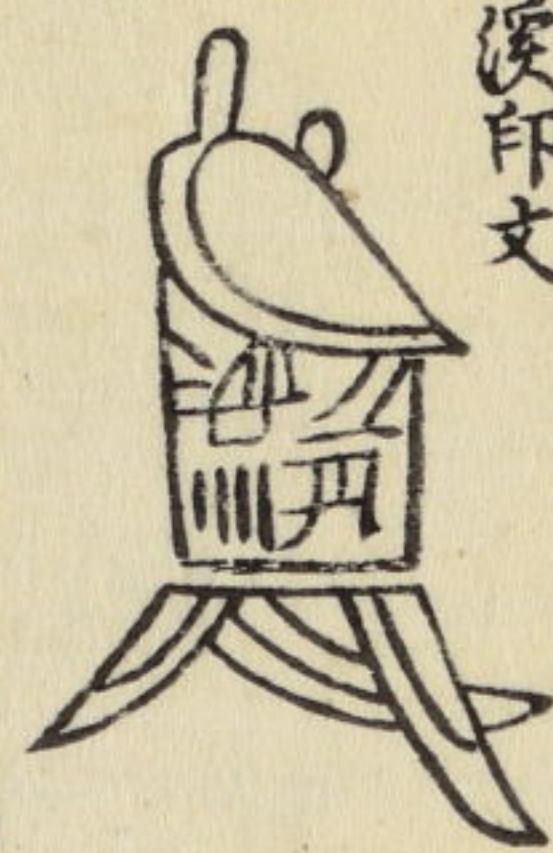


十二
僧法常

牧溪と号す
リヤコ
虎

猿鶴芦石山あり樹石人物と云く
三分の二は山水の趣を以て成ぬ
意思簡潔莊偉とほあはれ但し
筆墨の古法あり
あしづかりはたより
君墨官印ニ宋登
とくとと僧

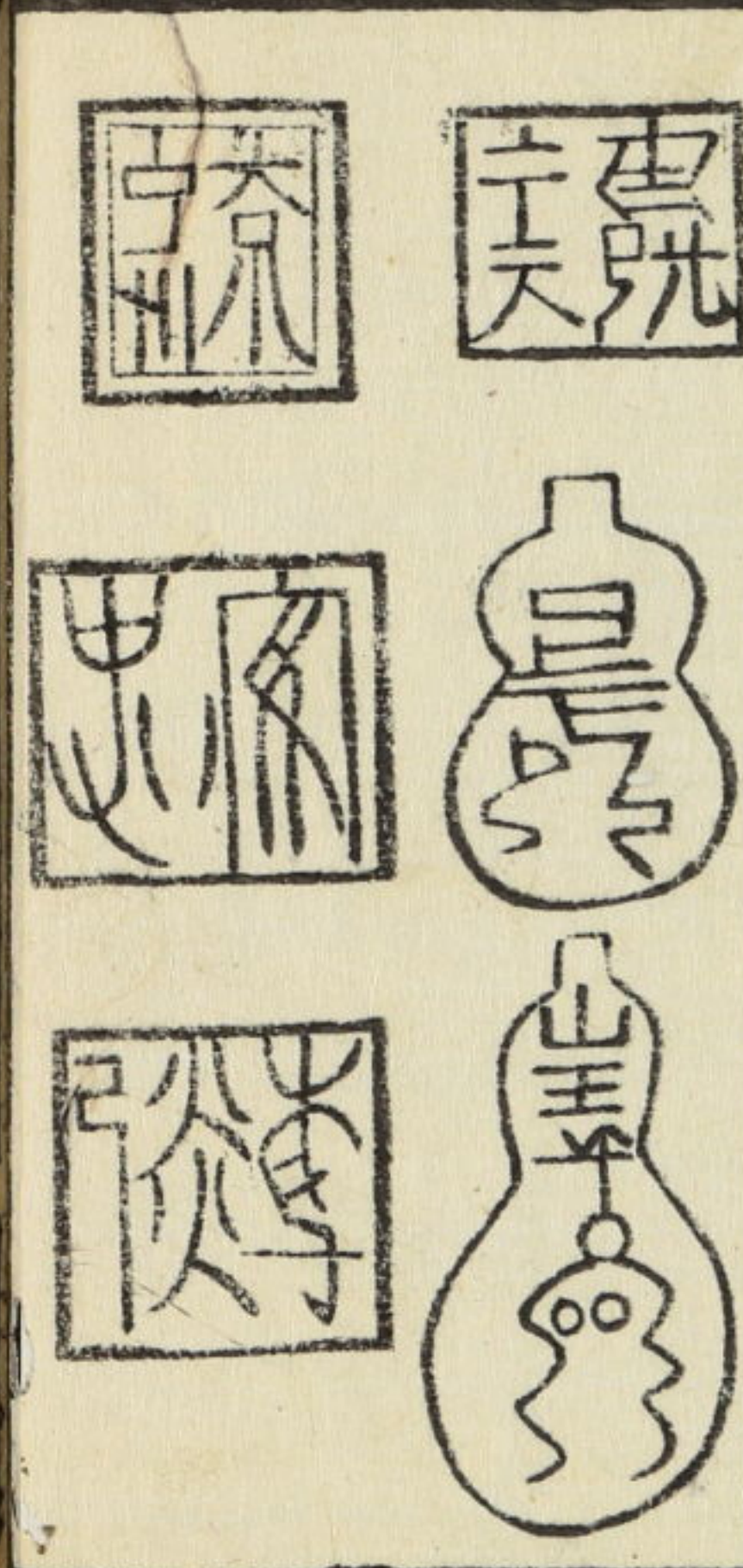
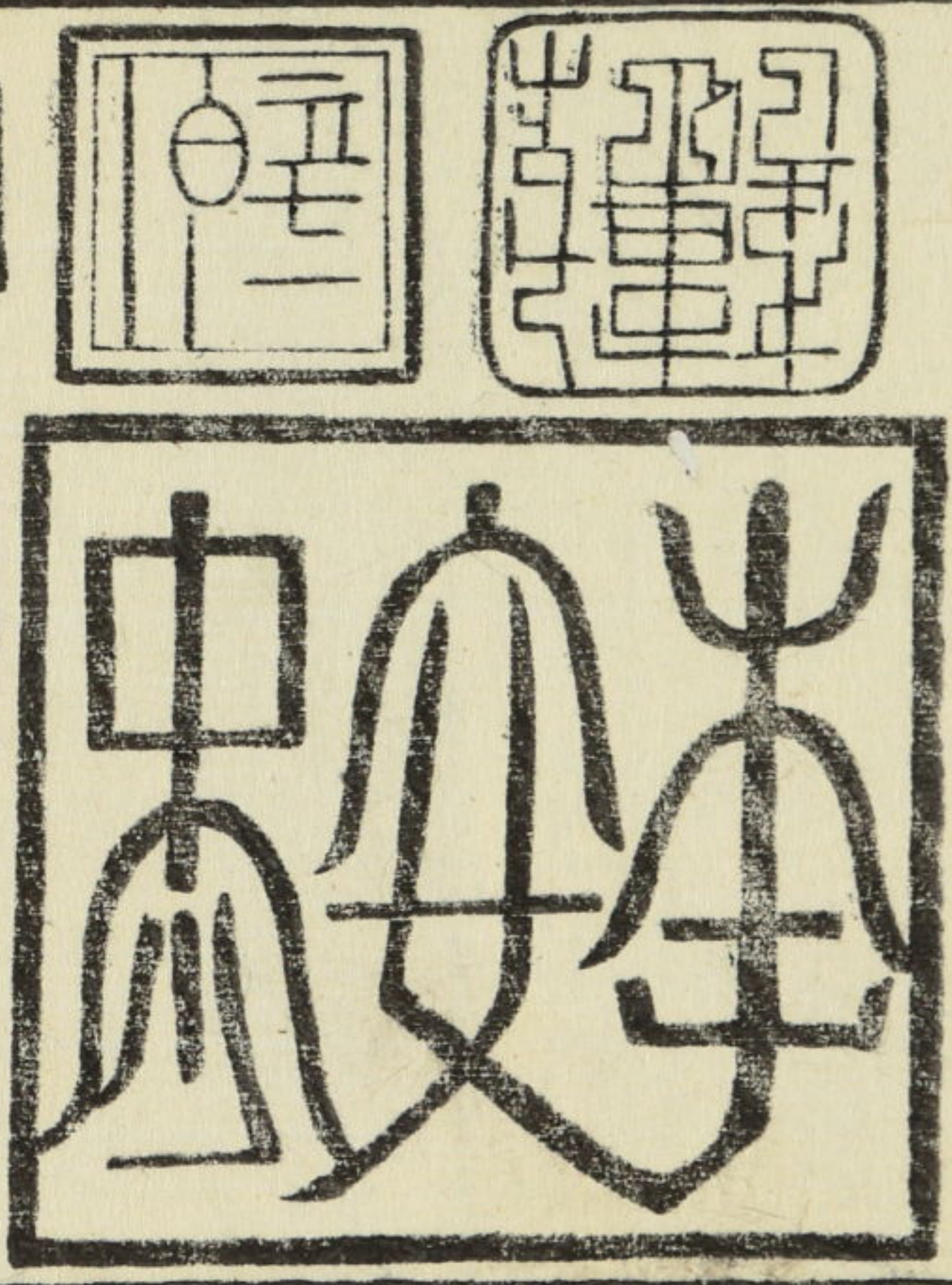
牧溪印文



〇 唐紙作印

三三三

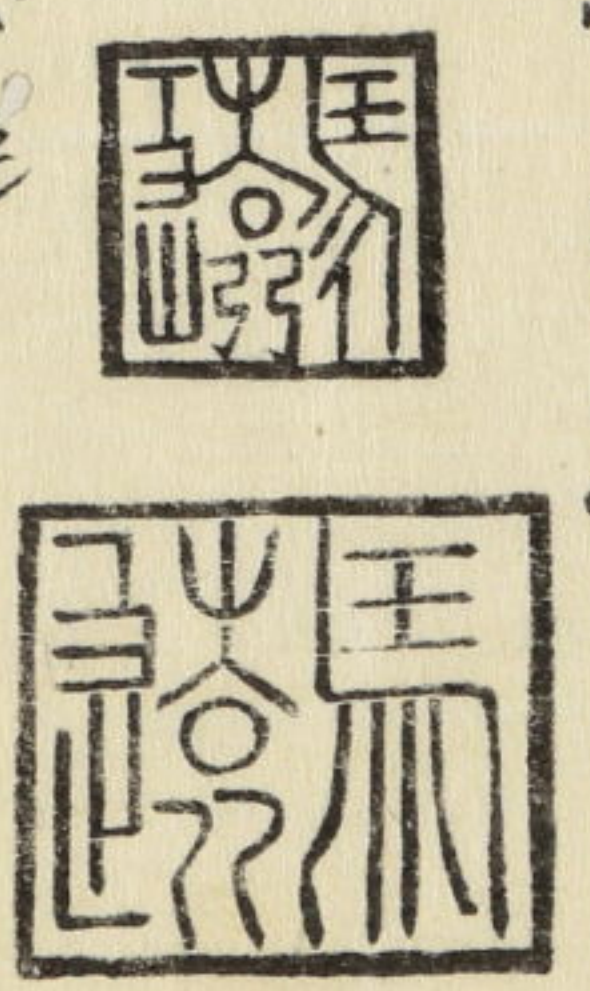
万の職登院揚金帯小後すよ
 花多毛獸とあぐ若事連より
 一は提勅山あり平くより
 丸くまかり



山あり
 山あり

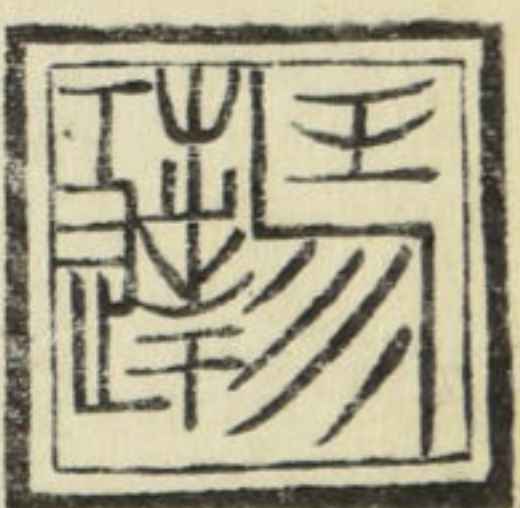
山あり物花念とあぐ種と母不
 ころ宣和院入中乃独歩あり
 光率帝乃相小皇院侍依
 宋皇乃とまゝとす

馬遠 印文



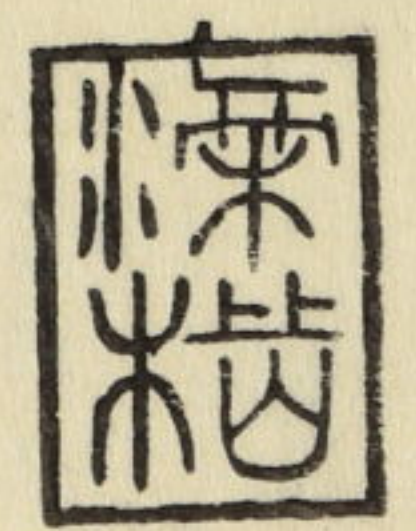
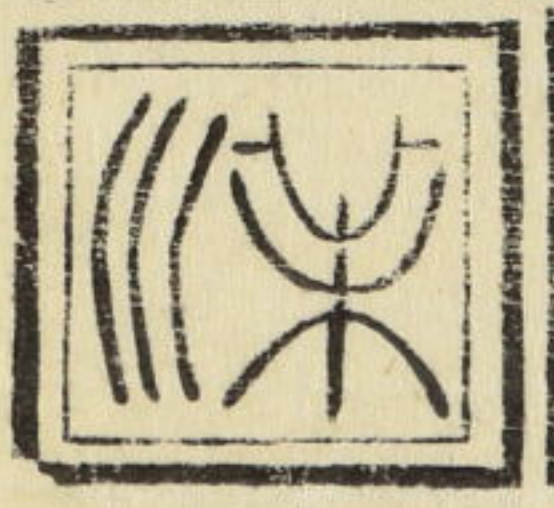
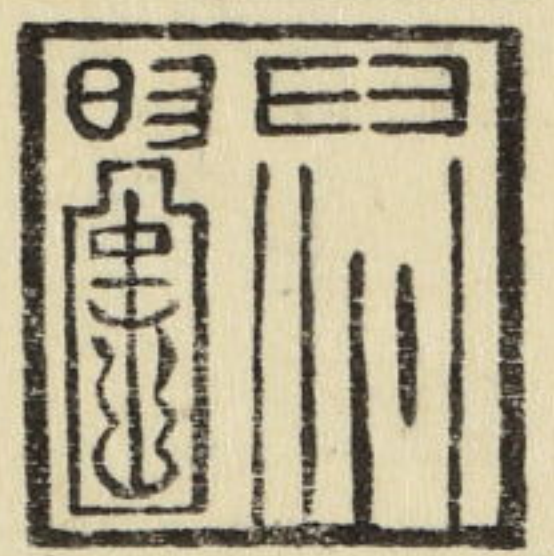
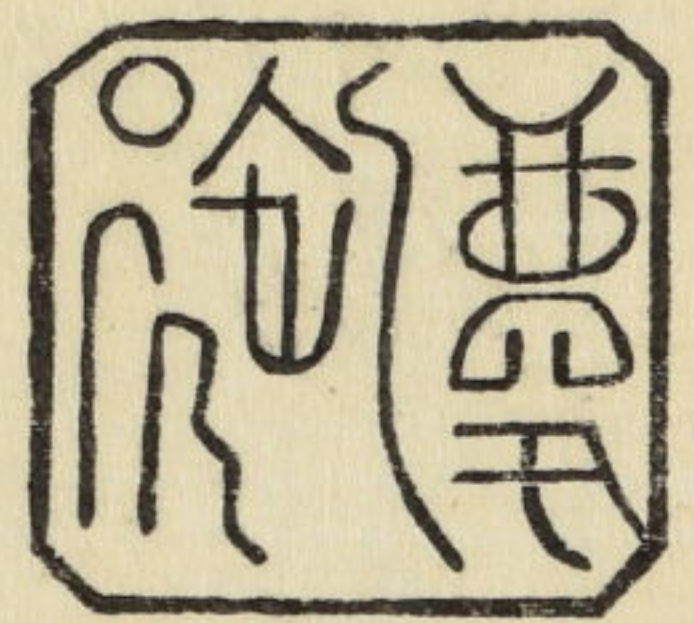
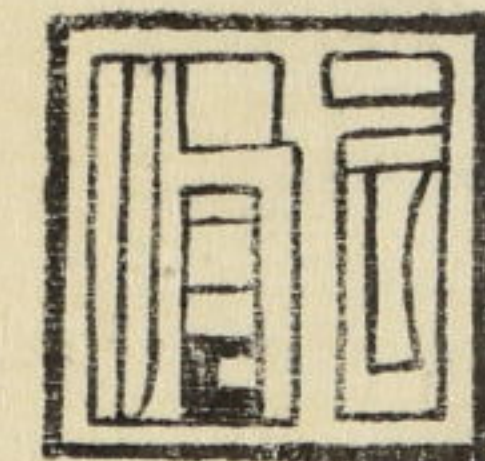
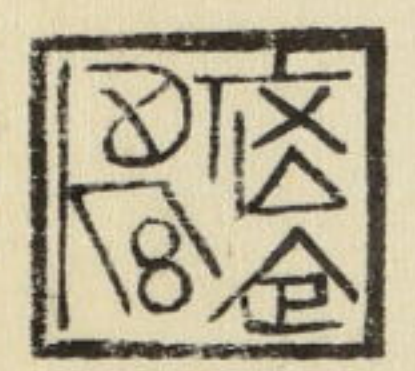
山あり物花念とあぐ種と母不
 ころ宣和院入中乃独歩あり
 光率帝乃相小皇院侍依
 宋皇乃とまゝとす

馬達
印文



梁楷
 人相山の釋道尼非と云く賞
 師と師とす家名乃上第と
 楊子相造りてまはるる
 たり嘉泰年中小意院小持
 せりて金帯と楊り梁楷これと
 へけず行これと院心ふかろ平
 生源とてそそ自くくみ
 号しく梁風子とい院人これ
 精妙乃筆とそそ致伏せすとい
 るちのしなご一せふつるあ
 物とあそくなりとれと減筆と
 たり

梁楷
印文

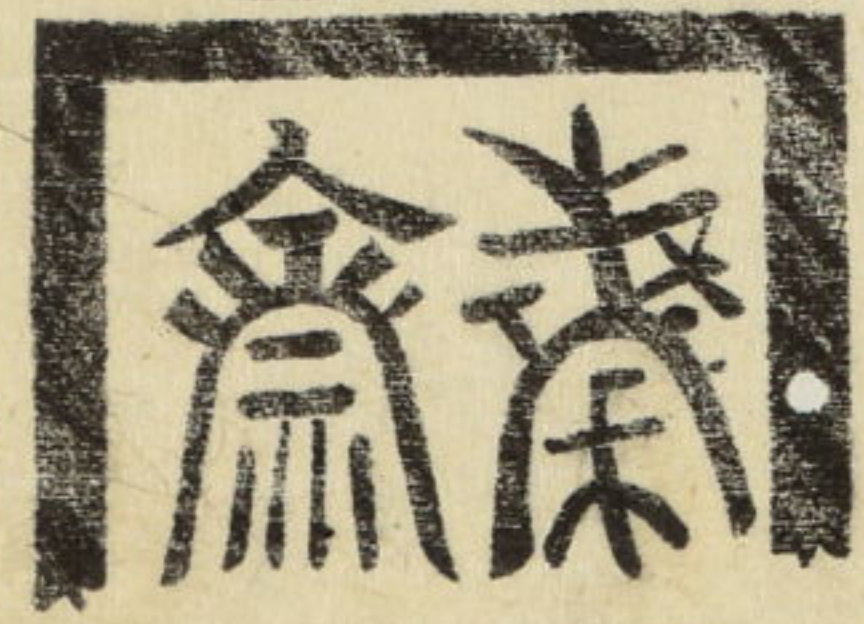
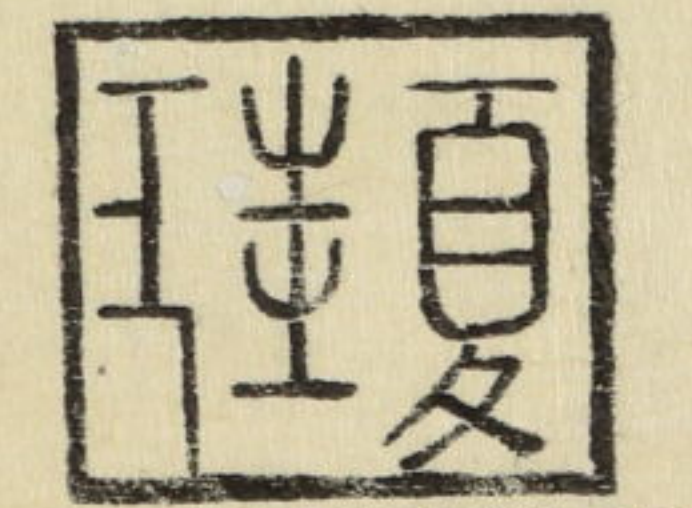
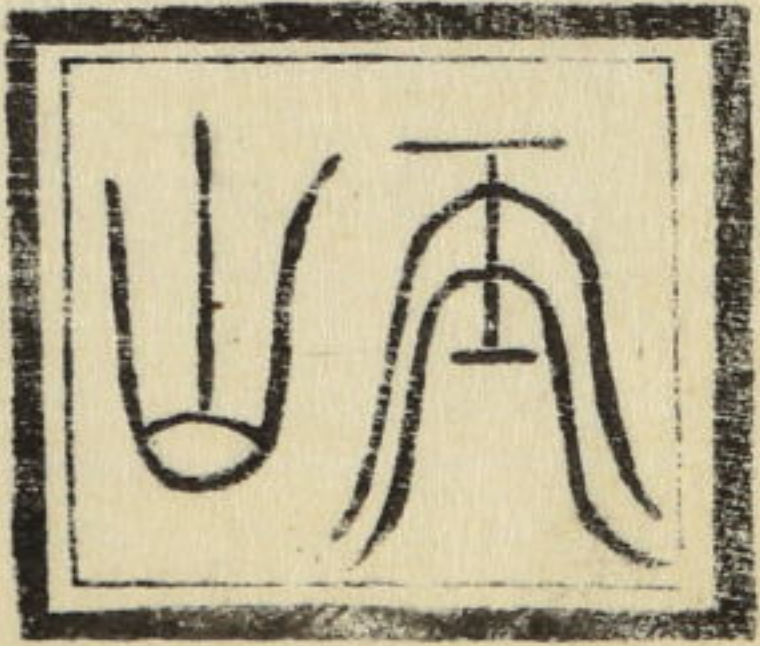
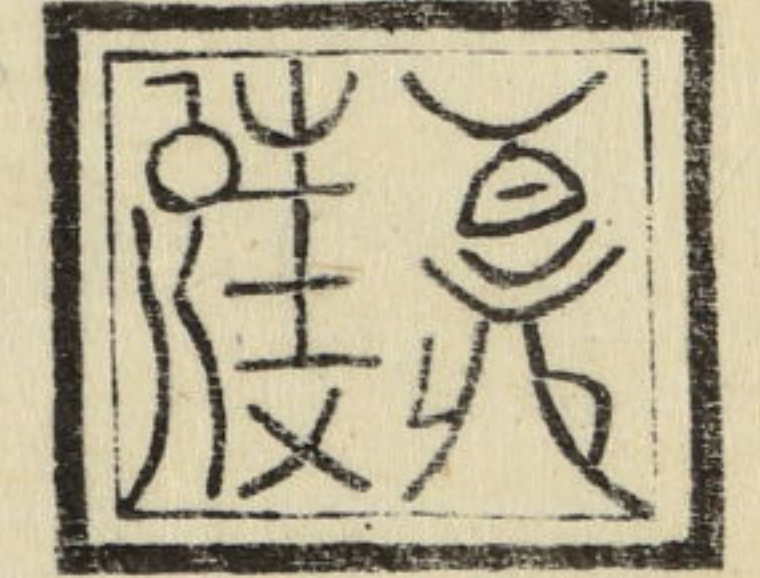
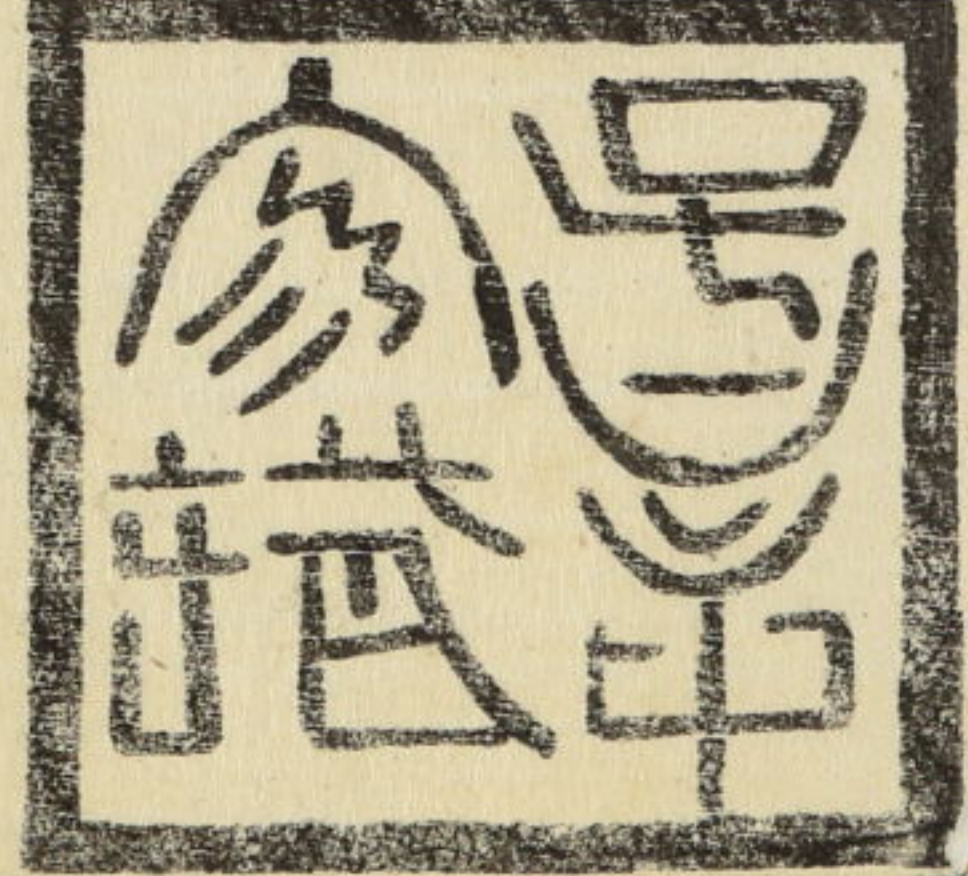
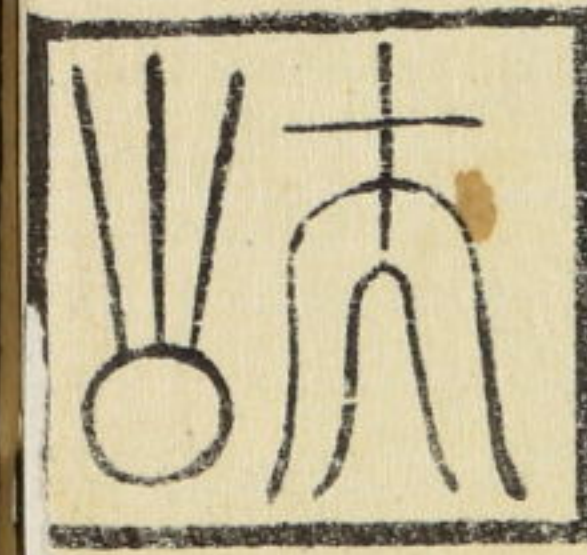
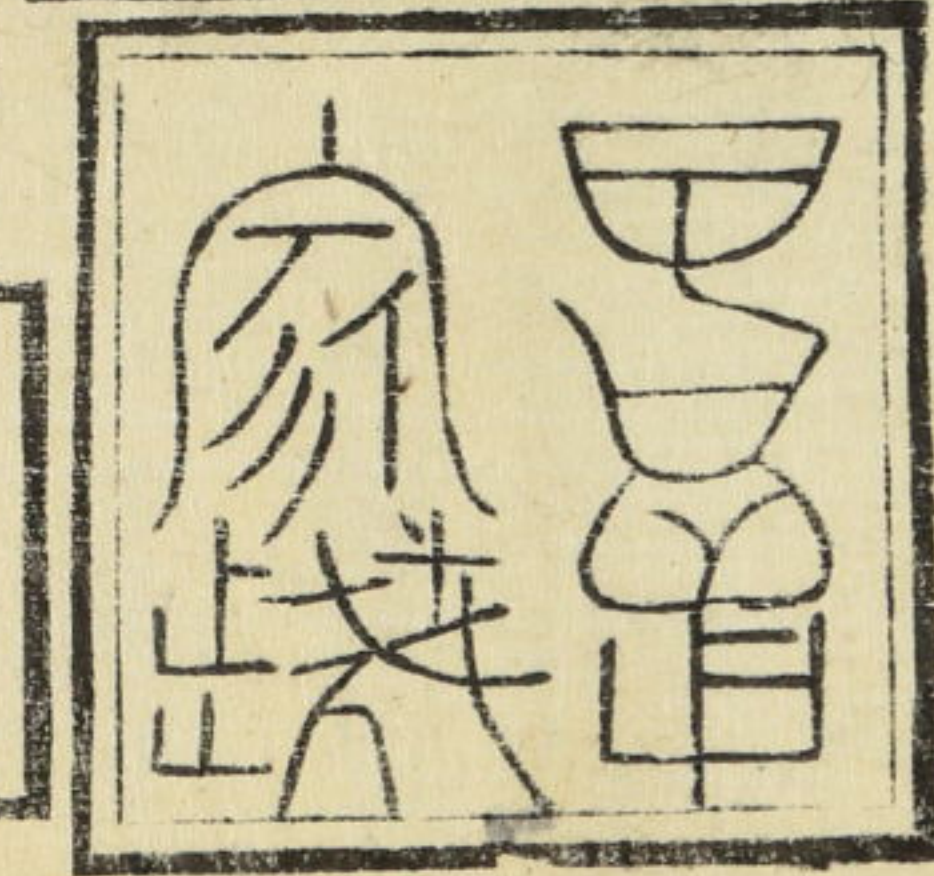
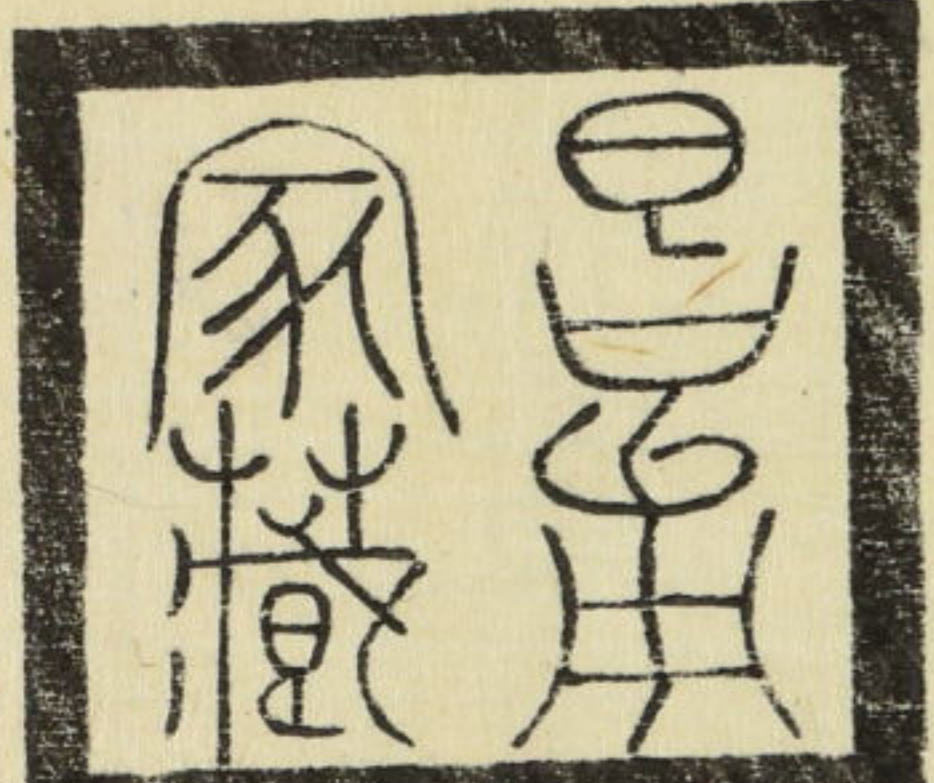
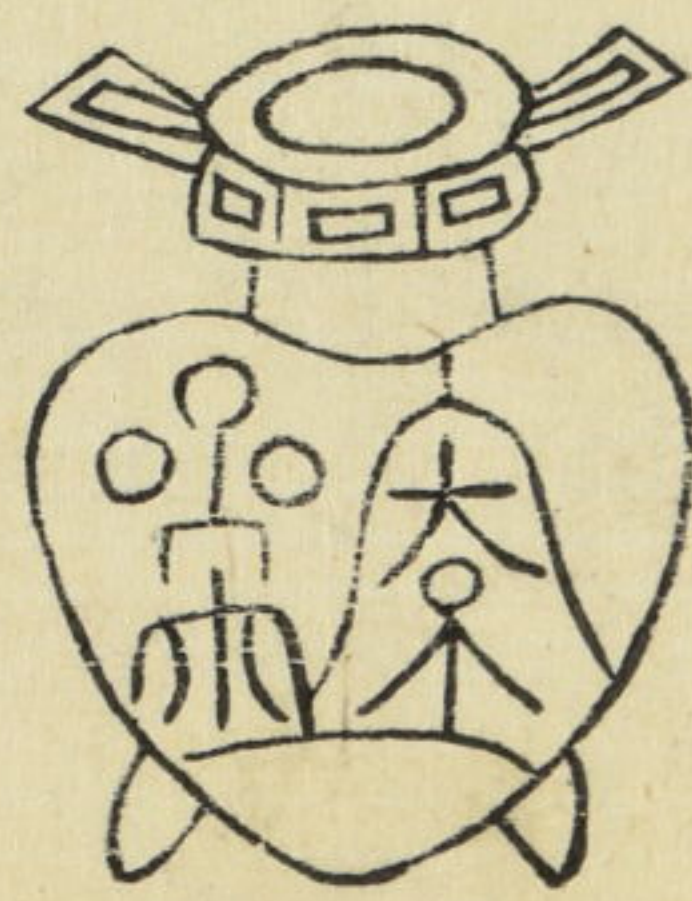


夏楮

字ハ禹玉續産乃人たり
 寧宗乃物は後せりて金帯と
 楊子く人物と急く言低腰
 たりと急く言楊乃又乃こ
 法茶むと墨汁淋漓又奇化

夏圭印文
 卷之十

勢を
 乃中
 つこ
 乃と
 夏圭印文
 乃とことせり



毛
 毛
 漸
 毛
 松
 子
 乾
 道

○上田繪師印

卷之十

年ぬ魚院小舟浪せし所く花
 多小糸とあつく家魚乃正守

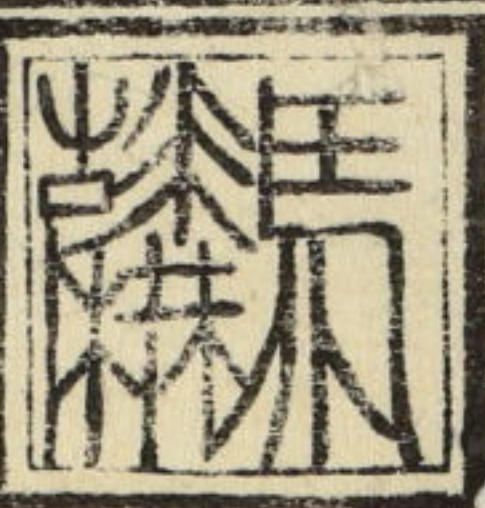
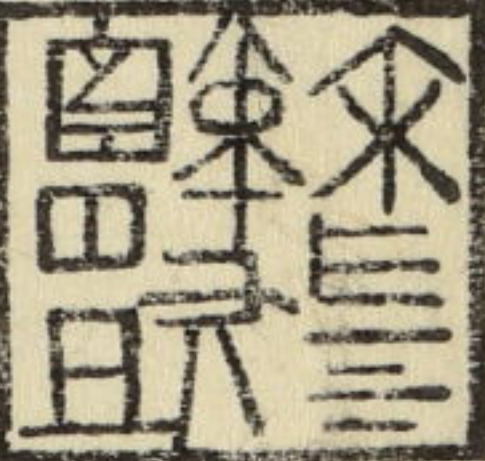
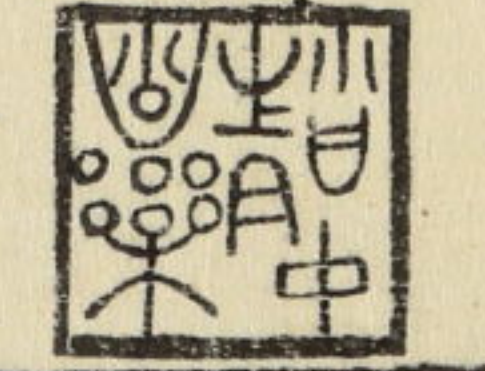
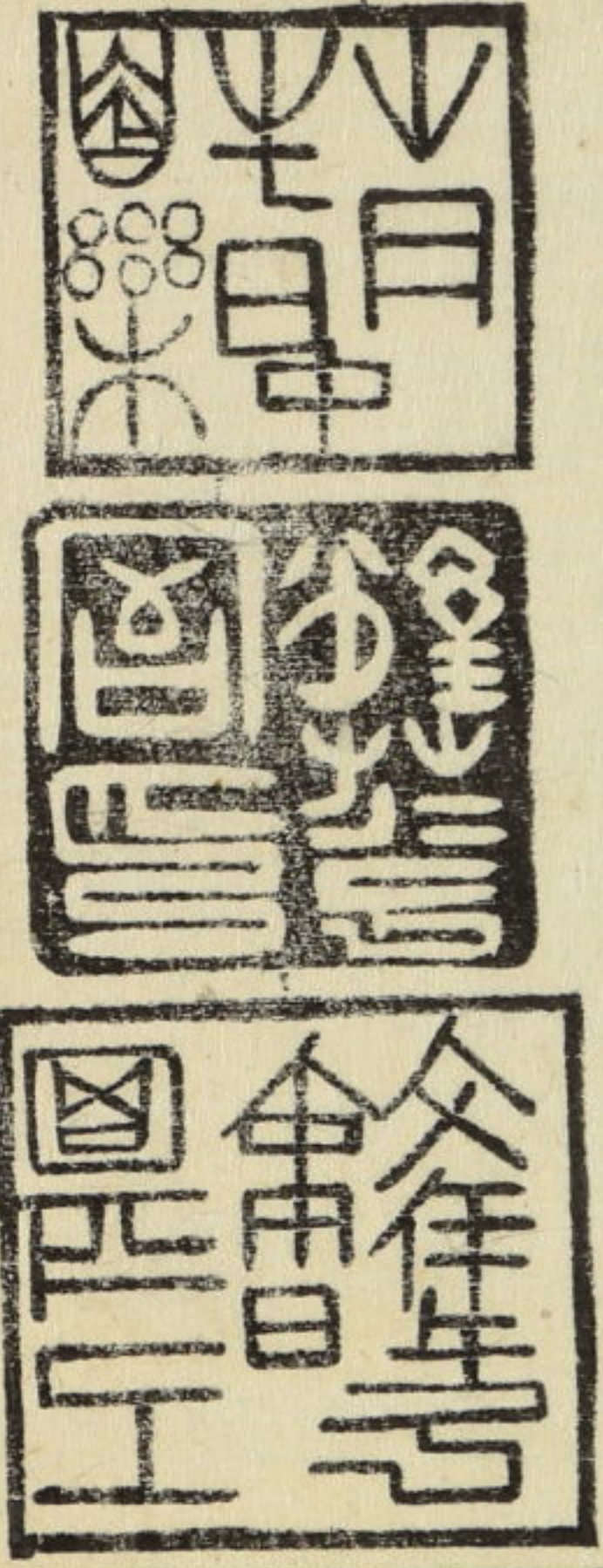
七益

印文

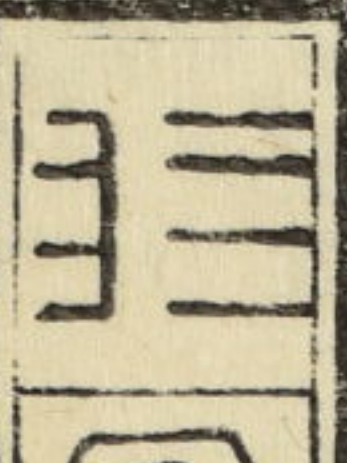
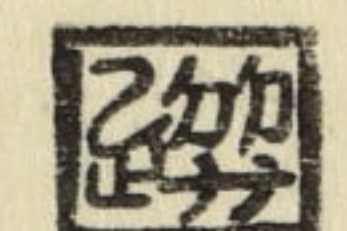
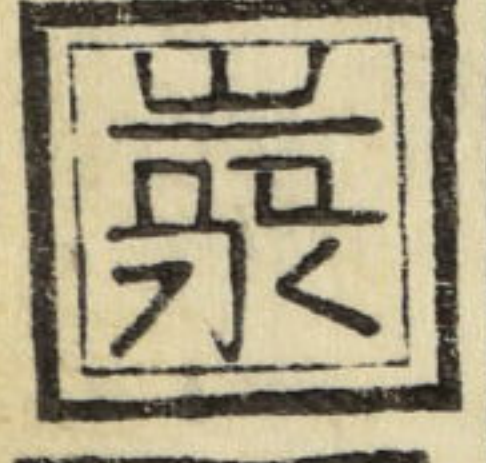
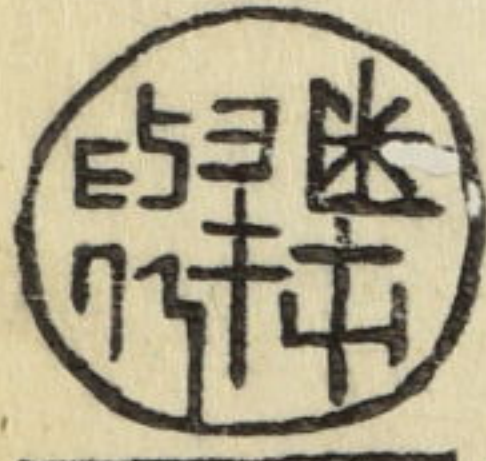
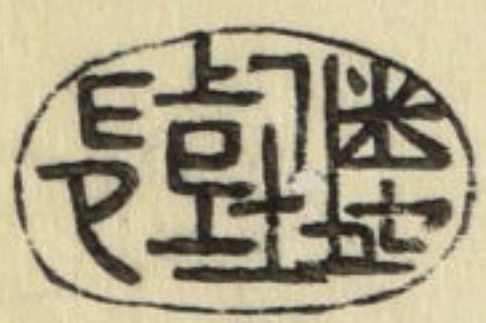


藤 ぶさう子なり能家子
 とはぐゆれた及ふ及守をこ
 子と愛しおろく已が益とよと
 藤くく藤と好すけし子
 乃益も家ゆん欲さるもけり
 官仕して益院祇儀と好り糸
 君乃とよととせり

鳥麟印文



雲川乃人なり能乃と結と守
 家乃糸定乃系御貴進士と
 たりく人ぬ山あり花本御と
 ぶく御思と原とすまの山
 あり結子つ家原とすおろく
 折枝とゆりそ意とゆりれり
 い折枝と紙とくこれ小題す



右唐後乃中傳ハ目ハ後傳ハ
秘記ハ乃名撰也
是と記さるる於此ハ乃傳と撰
括一とけ法ハ此に在り

曹弗興 兵具乃入中乃置也

今トて屏風ハあぐ一む温く
曇と爲一蠅乃くちとあす孫
撞それ夫と失せんよとて弗
興ハあからんよとてこれと
くじり時ハ兵具置入ハ終あり
弗興ハそれ一ふあぐけり又掌
て竊中乃系終とるる弗興これ
と孫儲ふもる家乃文帝乃罕腹
みとて弗興が終とてあてあさ

みとれ一ハ時ハ終トてあぬ
又南兵乃兵と去こととてす
弗興ハ一ハ弗興ハ置終とるる
まごんす秘圖乃内ハとるる
兩乃終頭わん又況や后も弗の
教百集とや又掌とて終付れ
と急ぐと終とてとるる
後傳記ハ終とて終一ハ時ハ
とて出さるるあてとて
はくまをたつて豊瓶とて
乃維厄ハ罪せられすとあり

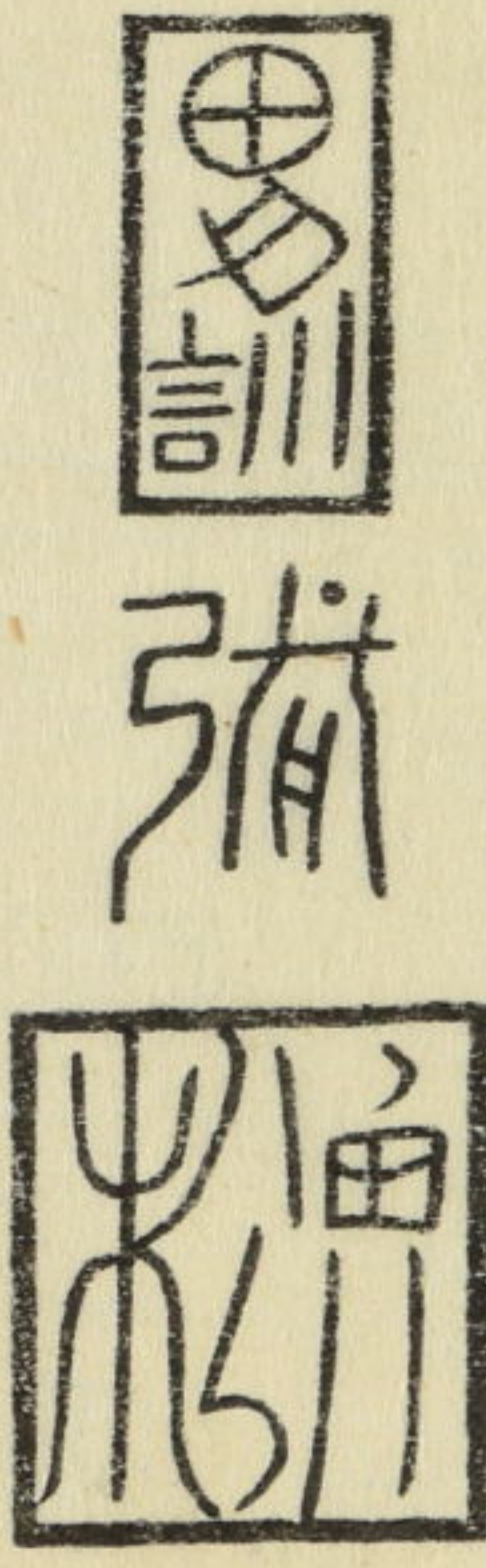


曹弗興



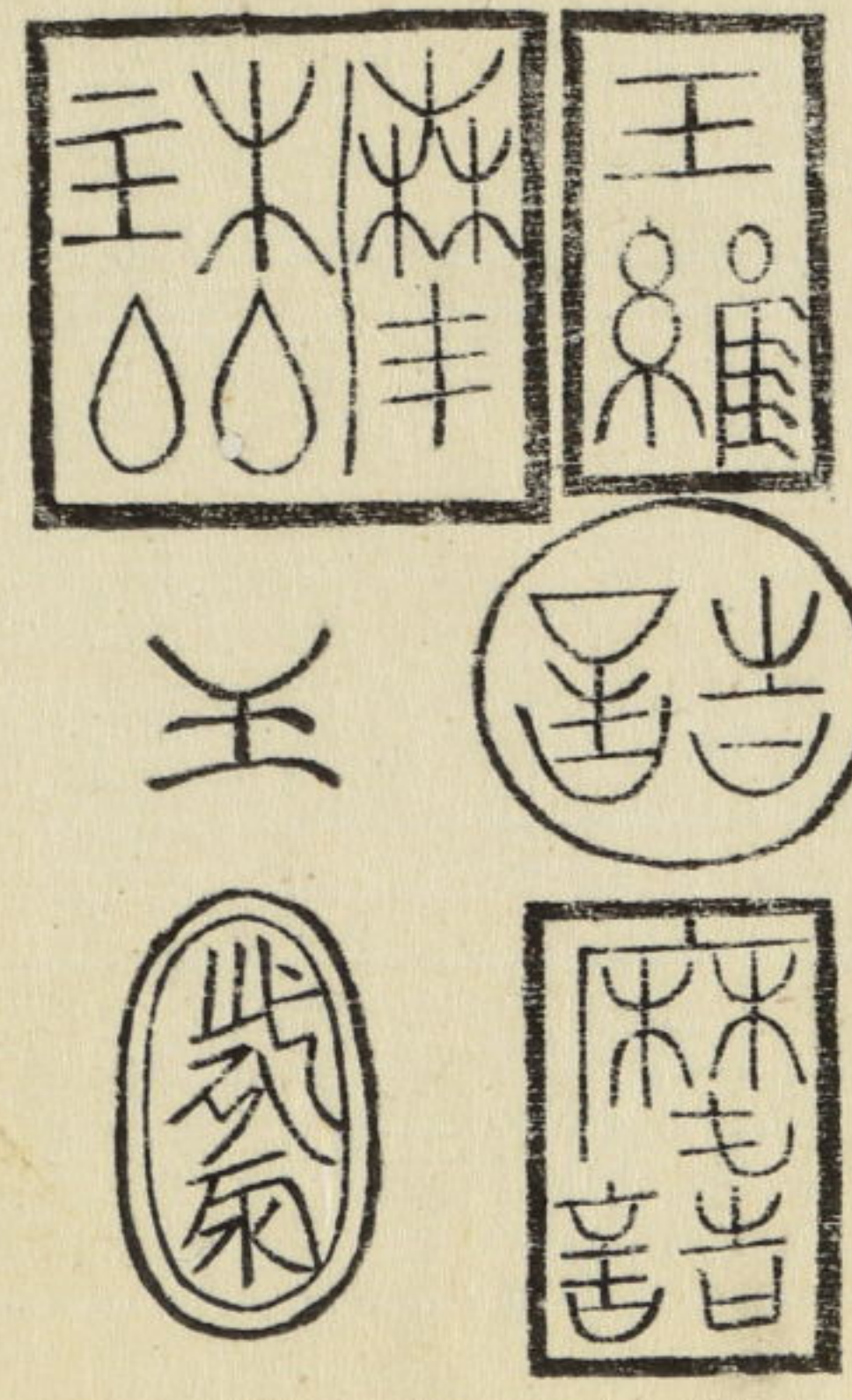
曹弗興傳

王子維 唐乃京兆人官者
武衛大將軍少時居
終方之山有林泉少
年格道鍾一
法とあす後人乃あぐく
山の佳ふこれとあす
これとあす乃起



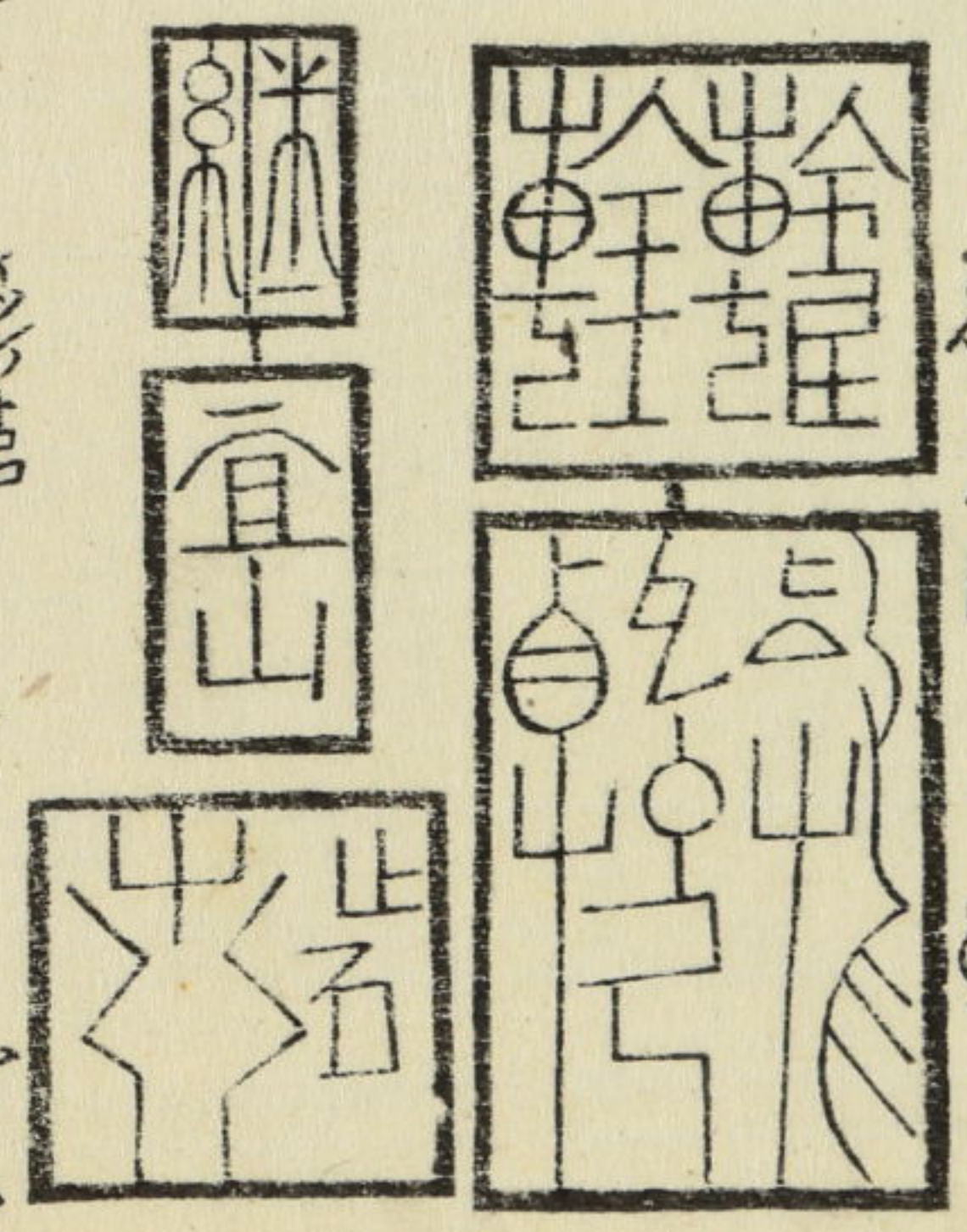
王維 字ハ摩詰ト云用元ノ神
進士ふぬさんず官ハ尚書右
丞ふりり藍田洞川ふあ居す
うくあぐく尤山あふり

思得るをと見り天性ふあ
くめ丹まど見ず樹と
乃中己ふ自り
けうこれ繪次漆画かり
と邦と成別ら扇史と目
しからず



韓幹 長安乃人たり王維を
と方り内陳周とあぐく
と方り内陳周とあぐく

一討ふあめめ皇これと師と
 心韓幹始とけいとい
 長み自くく陣あり今陸下内
 既ふるふ乃るまか長く陣あり
 明皇まましくこれと奇きす後
 曹肖朝と師とてまもと勤忠内侍
 自乃法と坊より傳深達ふ
 入弟子孔家始るま法といり



世三
 李漸 何許乃人といふと
 寸官惟列乃刺史不任す

潘人相とあぐ年松気洞
 高時盛情といふと
 李仲和 漸が子なりうく妻
 を人相とあぐ文乃速風あり
 但一筆力及いざ所あり



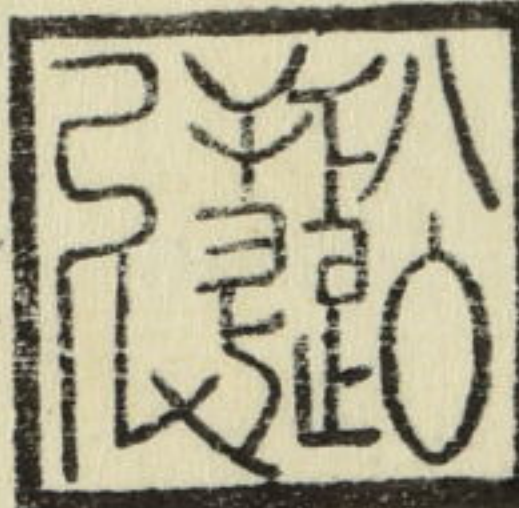
世五
 藤王元徳 藤乃系氣なり丹
 まふうくはんく時様といふ
 紫系元尊とそれ終かといふ
 終巧乃外委曲小経理といふ



姜道隱

漢州綿竹乃人

新亂少く至成好む本を
及く産業とすやとす惟
乃と是とくす布衣香
か華業而已たり嘗て
ちにおいしく山あ松石と
庭邊に十經と箱と衣と拂
とあつらふと代乃内下後とす

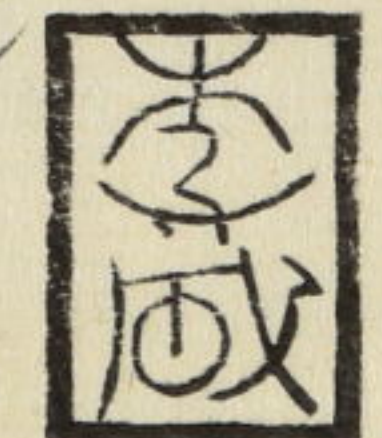


李成

字ハ威感唐乃家

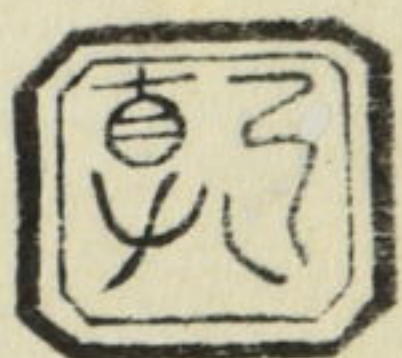
世に儒業と文とくす
志あり才命乃不偶
因て志と情酒ふと
不禽す関公と師とす凡そ
愛滅石崖困樹木蕭森山
川映陽はふらぬとつ
といふなりと魚とく
り山乃狝豹とほらる
才一とす子又彼園と
蹴り光採魚とつ
乃上後とす

郭



郭温
河陽温線乃人なり
登院乃養父とわう山
とくす李成が法と
煙出沒筆曲原乃
星布並筆法一付
蚕年不巧履と

ますりくさうんちり 宗室はとこ



易^供え吉 字ハ慶之と云長沙の

人たり初く花を紙にす緒

昌が縁とんらに及くはわく世

人小らりわす遠小荆湖小遊

希とさり古へ成さるふかん

梅^モ松^{ソウ}麻^マ糸^{イト}とく同くわさぶ散

小^コ信^{シン}心^{シン}攀^{パン}乃^ノ妙^{ミョウ}あり一^{イチ}ハ^ハ豪

嬌^{キョウ}小^コのす又^{マタ}長^{チヤウ}波^ハ乃^ノ今^{イマ}後^ゴ小^コ終^{シュウ}く

圃^ボとひくさ波^ハとやり 亂^{ラン}石^{シキ}叢^{ソウ}管^{クワン}

梅^{バイ}菊^{キク}庭^{テイ}華^カとひく地^チ多^タく各^{カク}各^{カク}

山^{サン}獸^{ジュウ}とひれや一^{イチ}ハ^ハこれとひく

これ初^{ハツメ}初^{ハツメ}此^{コノ}勢^{セイ}とくはひ^ヒ是^{コノ}是^{コノ}

たさく故^コ小^コ初^{ハツメ}植^{ウヅ}とひすこれ夜

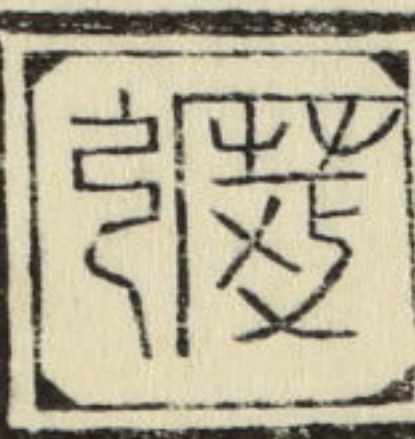
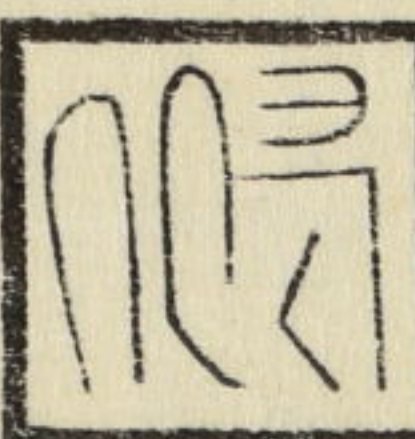
小^コ出^デりれなりか^カおん^{オン}で^デ様^{ヤウ}

と多^タく^ク意^イと^ト伴^{バン}さるるは^ハ田^{テン}徐^{シュウ}無^ム

が^ガ後^ゴひ^ヒと^トり^リえ^エ吉^{キツ}一^{イチ}人^{ニン}の^ノと^ト意^イの

上^ウ小^コと^トり^リ自^ジく^ク長^{チヤウ}沙^{シャ}助^{シュウ}易^イ

え^エ吉^{キツ}と^ト書^{カキ}す^ス宗^{ソウ}室^{シツ}乃^ノと^トと^トす



精^{セイ}令^{レイ}穰^{ヤウ} 字^ジハ^ハ夫^フ年^{ネン}仍^{ニョウ}く^ク穰^{ヤウ}人^{ニン}

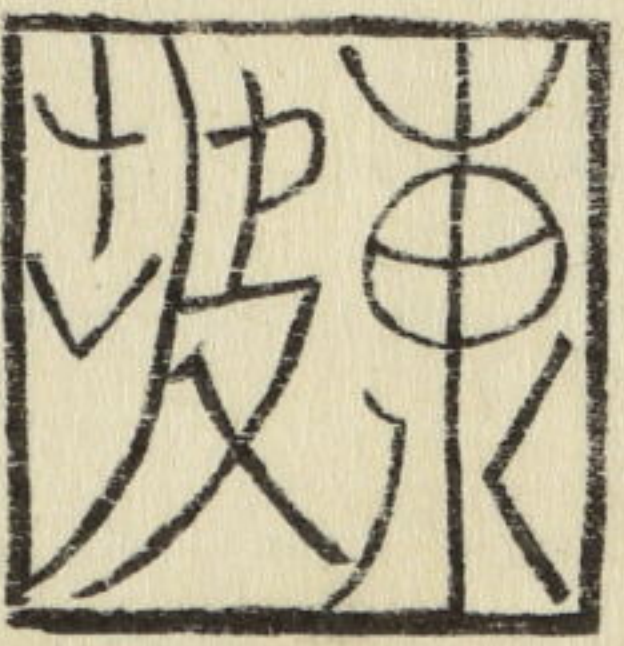
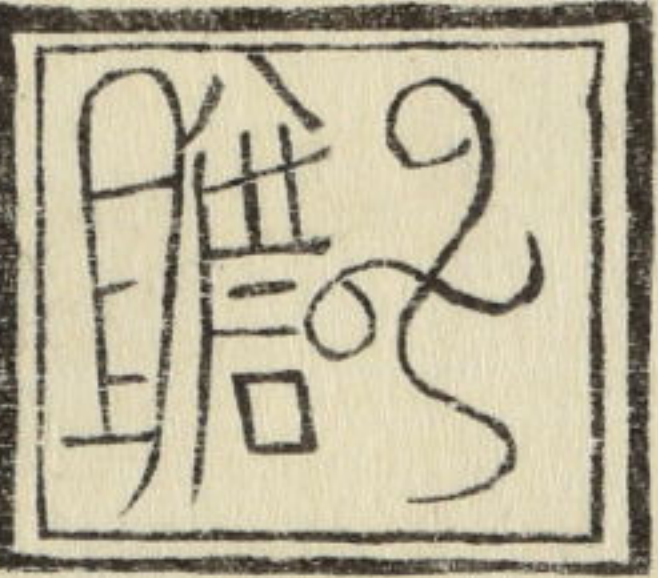
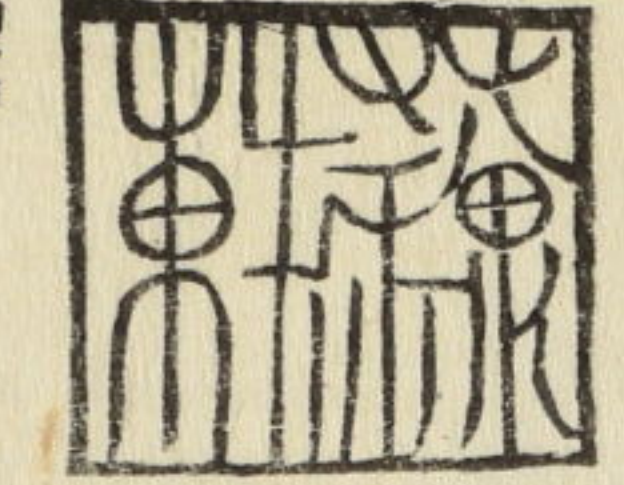
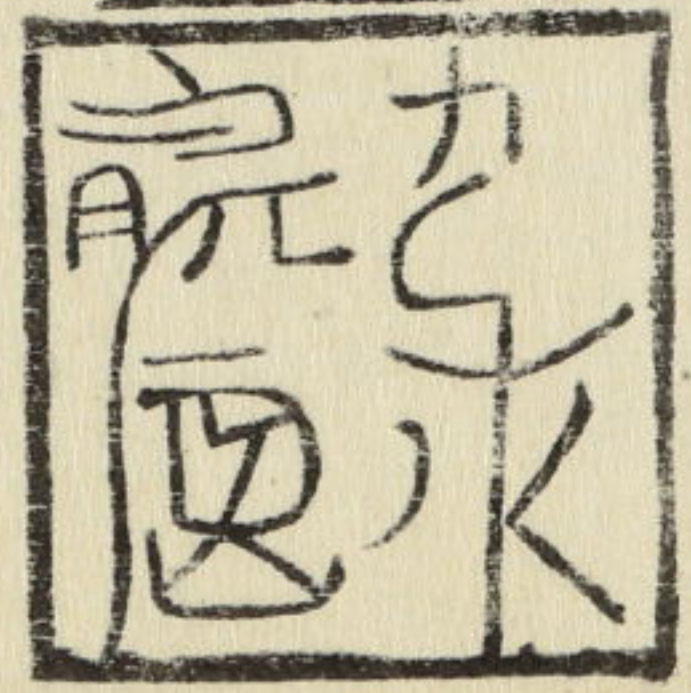
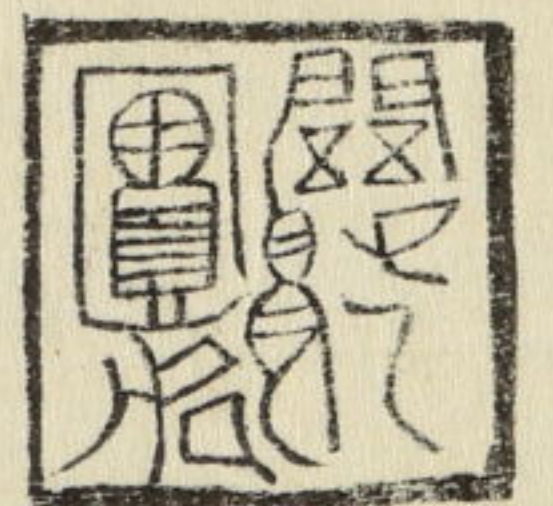
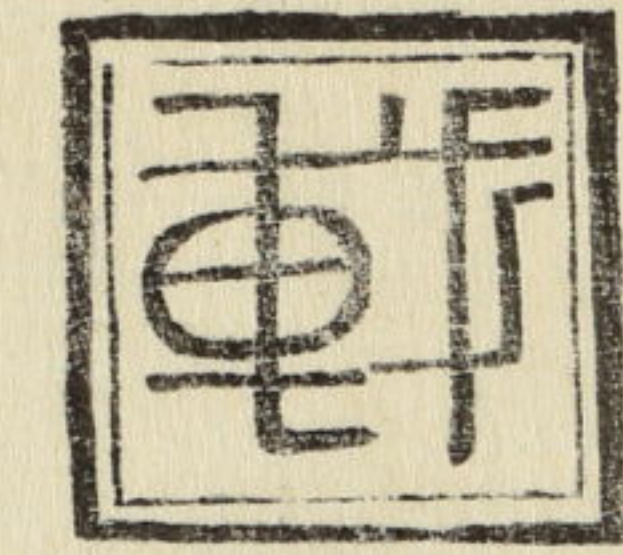
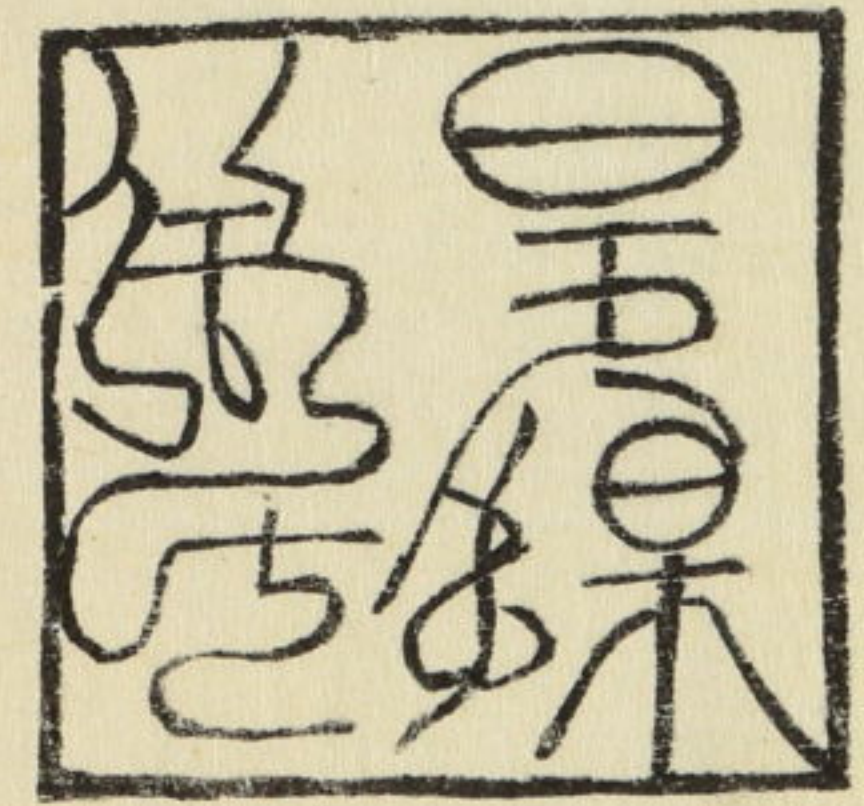
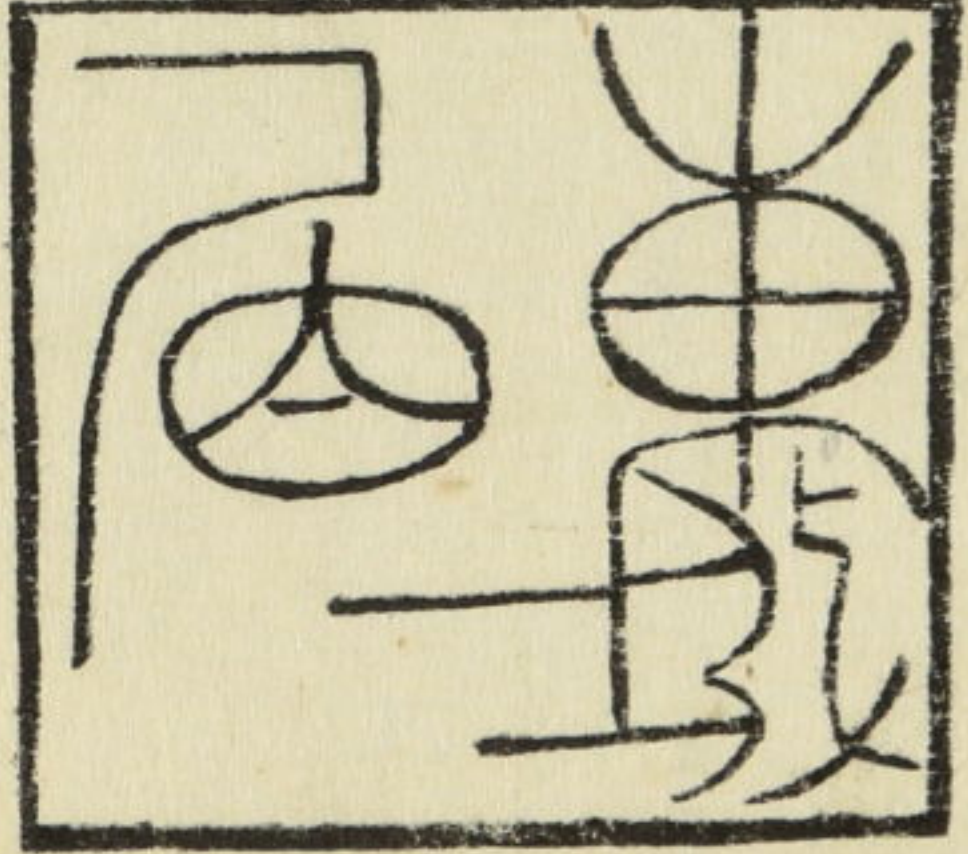
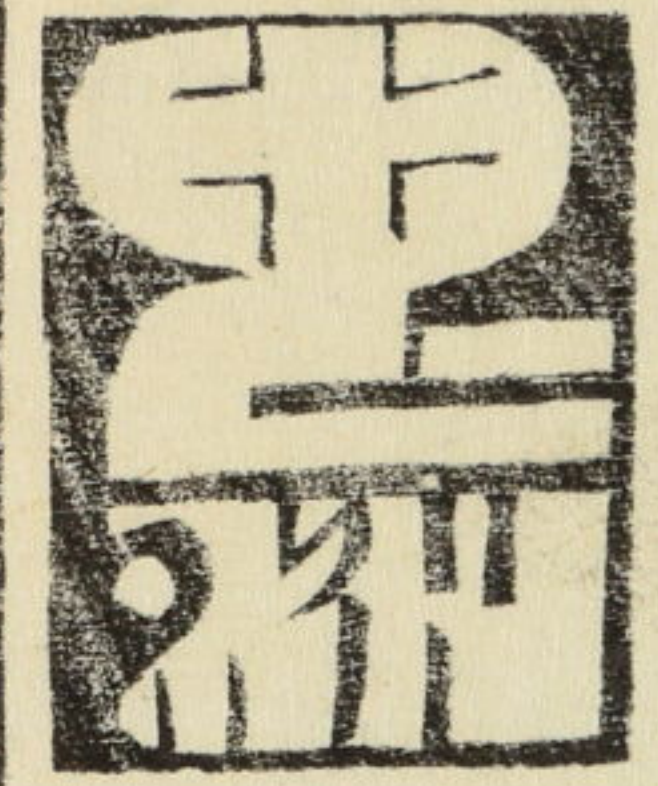
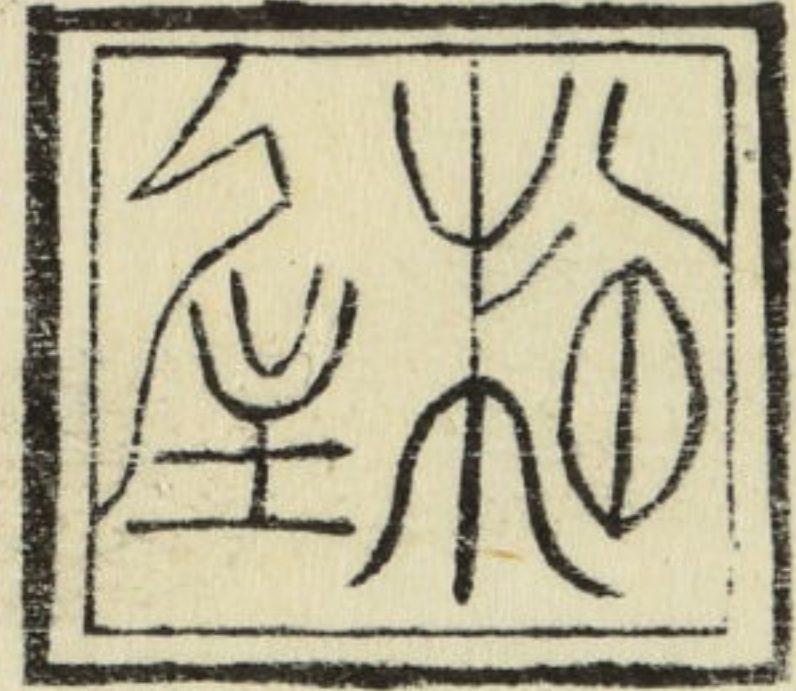
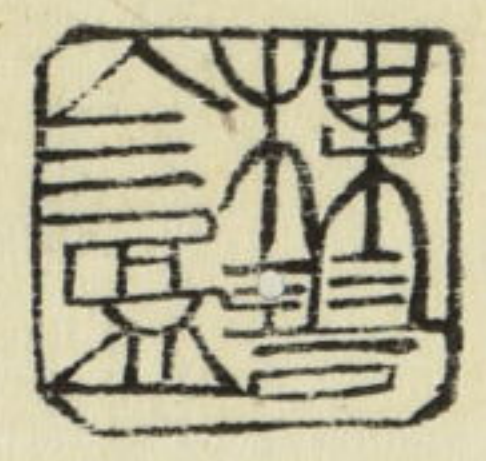
年^{ネン}と^トり^リ宗^{ソウ}の^ノ宗^{ソウ}室^{シツ}乃^ノと^トと^トす

と^トり^リ心^{シン}と^ト史^シ史^シ小^コ遊^{ユウ}り^リめ^メ朝^{チヤウ}雲^{ウン}派^{パイ}

戲^キ弄^{ロウ}と^トか^カ丹^{タン}ま^マの^ノあ^アと^ト好^{コウ}り

は^ハら^ラる^ルお^オと^トと^ト清^{セイ}藤^{テイ}乃^ノ名^ナ素^ソ

石ノ木ノ行トシテ文興可ト陳
 早ク枯木奇石時不新念也如
 可木枝幹乾枯之石一石散
 石散大振念と云ハす然り似
 子と云ハす宋高祖中とす



朱帝 ^{ベイト} 字ハ元章ト云ハり天災 ^{テンシ}
 高遠ナリ書法ハ新小又云ク
 畫と云ハす兵んで右賢乃像瓜
 之門す山ありとみかりと草源よ
 己出り天災 ^{テンシ} 象 ^{ゾウ} 象 ^{ゾウ} 象 ^{ゾウ} 象 ^{ゾウ}
 枯木松石 ^{コホク} 奇 ^キ あり

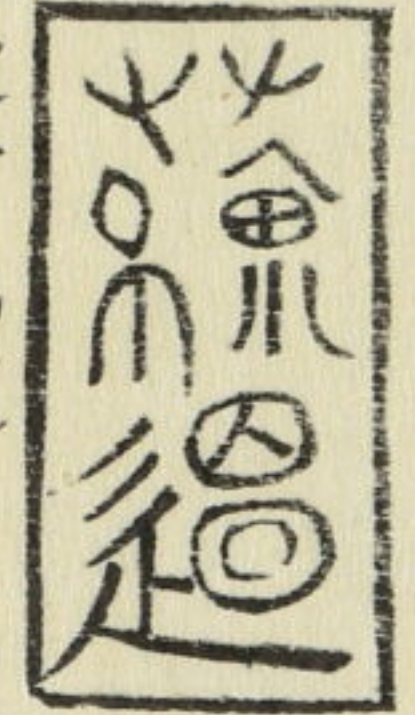


唐繪傳印

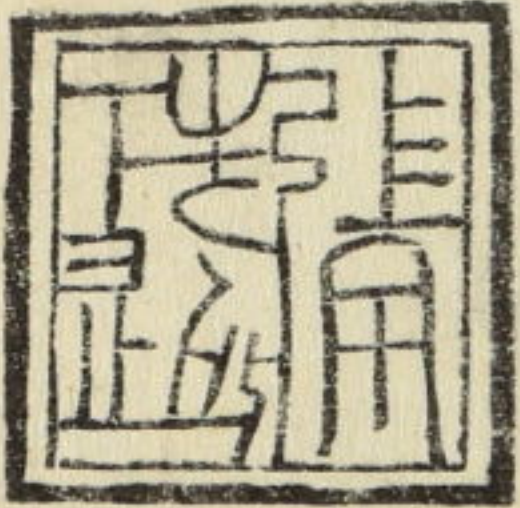
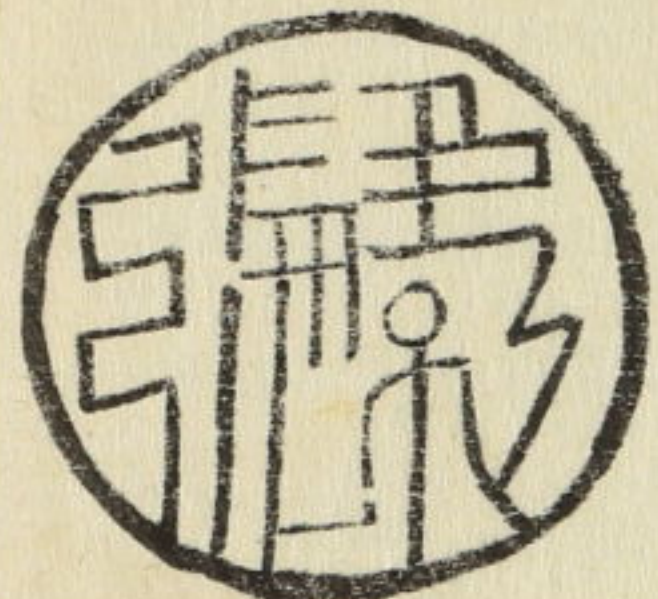
全九

唐書卷一百一十五

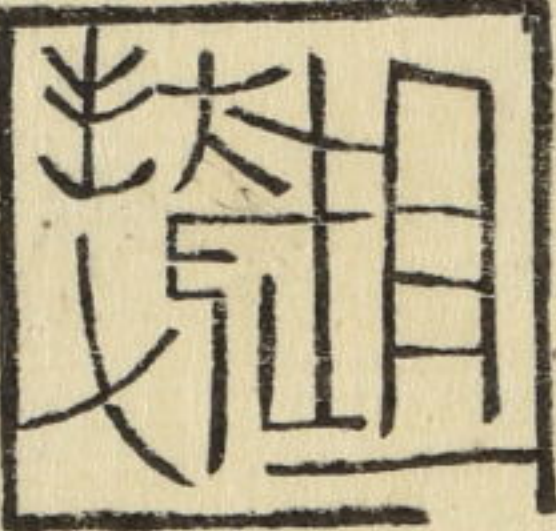
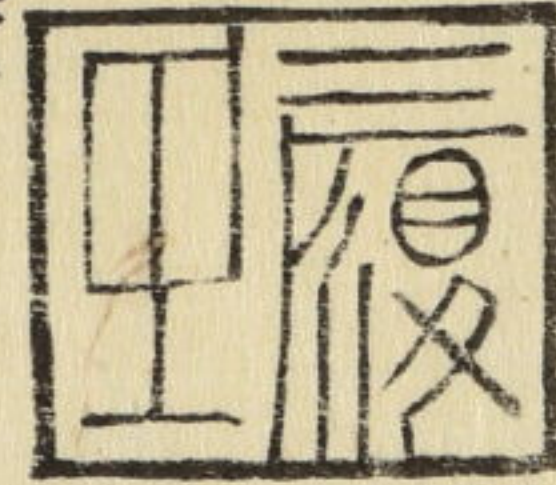
趙過 字の五 字の叔蒙 東坡先生此書
ふかりふんで性不履像とつる
ゆとして海にせまゆ又山ありと
あぐくをあ級あり一若ふれを
を本坊り一か人然の二のり
ところなり集雲とゆくとれと
匠らこれか奇なり出官の仲
山俾ふの所系益のトとより



張彦 字の六 字の仍之 大系掄決のふり
山河の險最すよく山ありとあぐく
印文



劉復中 字の七 字の地然 汗人あり能
人抱とあぐくを海燈坊あり他
人似像のたそれもさるなり能
一なる久抱いさるこ之氣と院取



趙伯約 字の八 字の千里 山あり能
念竹石とあぐくを人抱ふ也す
精林清澗絶然貌とこり人
てあそも伴ありのよと知し言ふ
極て是と雲をすはて形東のる
珍懐ふりる泉の中と

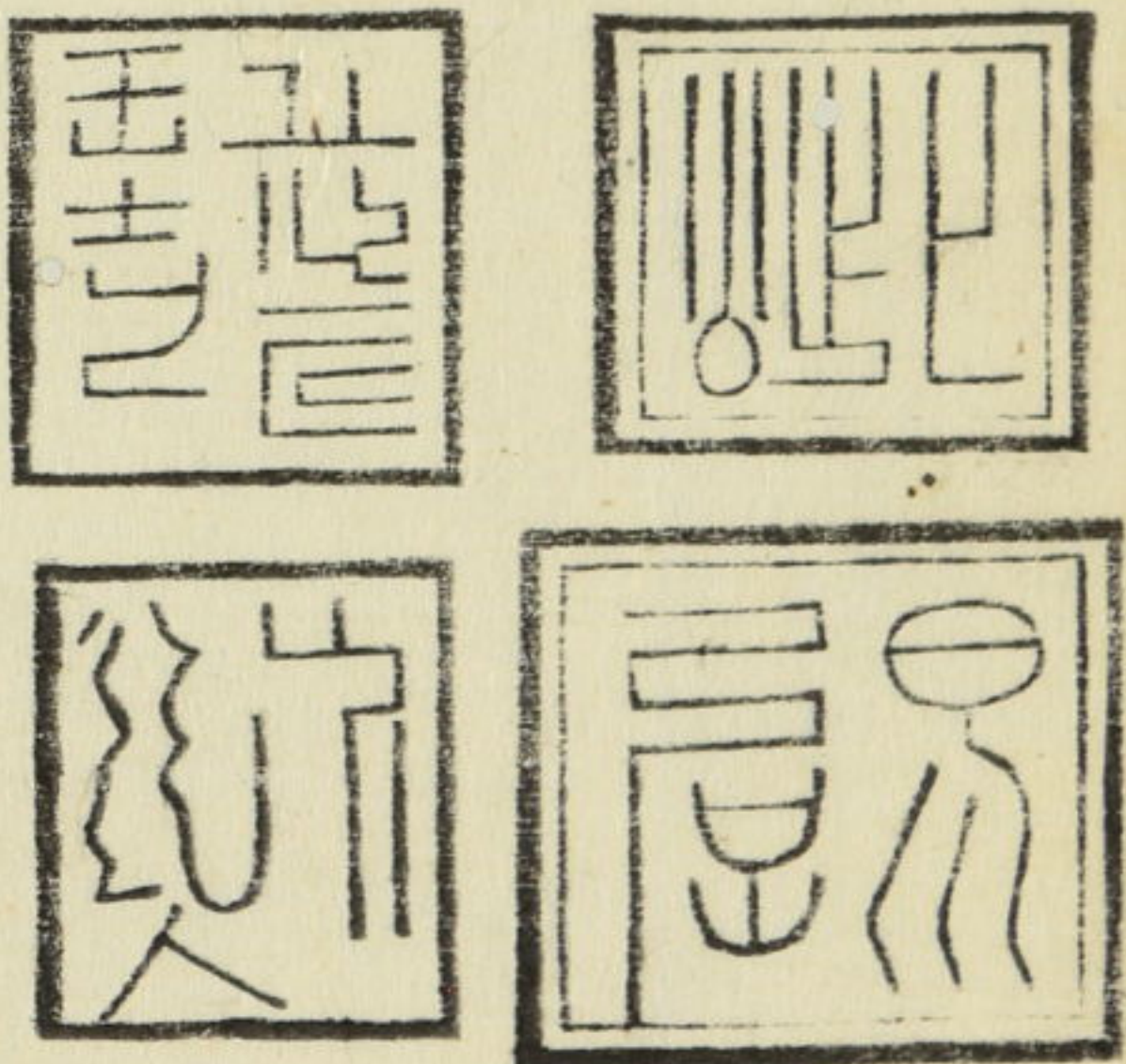
趙千里 印文

趙千里



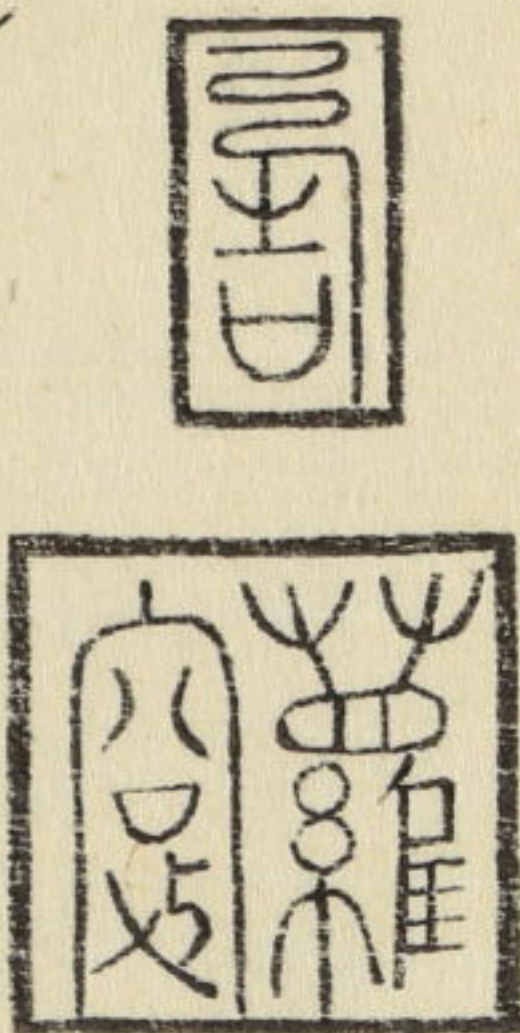
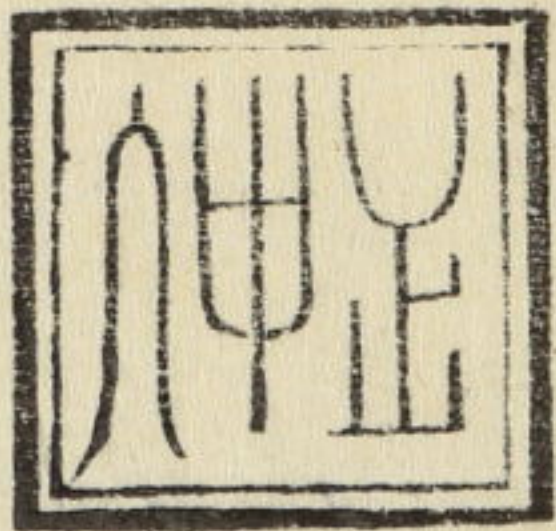
唐書卷一百一十五

唐書卷一百一十五

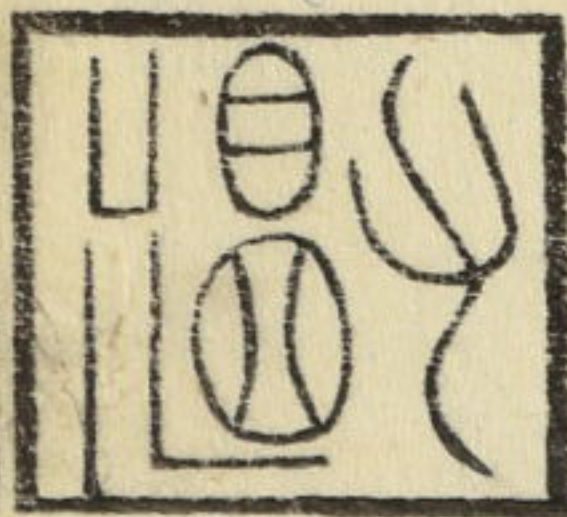


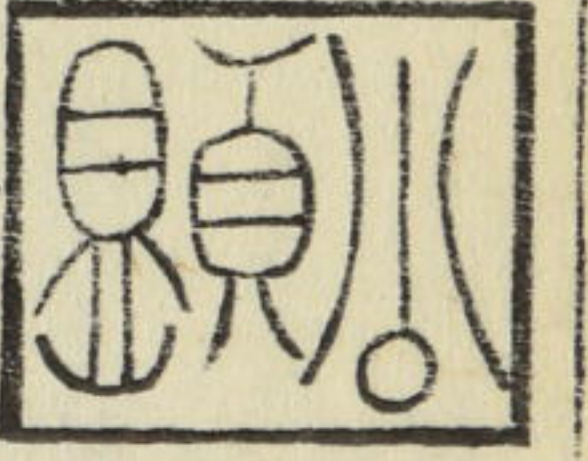
湯タウ正セイ仲チュウ 字ジ八叙ハシヨ雅カク江カク南ナン乃ノ命メイ
 楊ヤウ補ボ之シ甥シヤウ方フ乃ノ後カク不フ羨ケン若カク不フ
 居キす同ドウ房フと号ケツす西シ裕ヨ年ネンの
 貴キ仕シすク梅メイ竹チク松ソウ石シヨクと号ケツす
 凌レイ雅カク僧ソウ於オ乃ノ多タ之シ乃ノ一イツ乃ノ仙セン
 蘭ラン之シ又マタ德トク方フ乃ノ久ク比ヒ乃ノ獨ドク之シと
 宗ソウとす別ベツ乃ノ叙シヨ之シ乃ノ出シュツ乃ノ湯タウ
 氏シ叙シヨ雅カク乃ノと号ケツす乃ノ下カ
 後カク乃ノ下カ

僧ソウ雅カク定テイ 名ナと号ケツす乃ノ西シ湖コ乃ノ六ロク
 通ツウ乃ノ居キす牧マク溪シと号ケツす乃ノ相ソウ造ゾウ



儒ニウ子シ温オン 字ジ八叙ハシヨ仲チュウ乃ノ三サン乃ノ月ゲツ祝シヨクと
 号ケツす乃ノ云ウン乃ノ南ナン乃ノ他タ乃ノ自ジ乃ノ
 一イツ乃ノ法ホウと号ケツす乃ノ又マタ知チ乃ノ子シと号ケツす

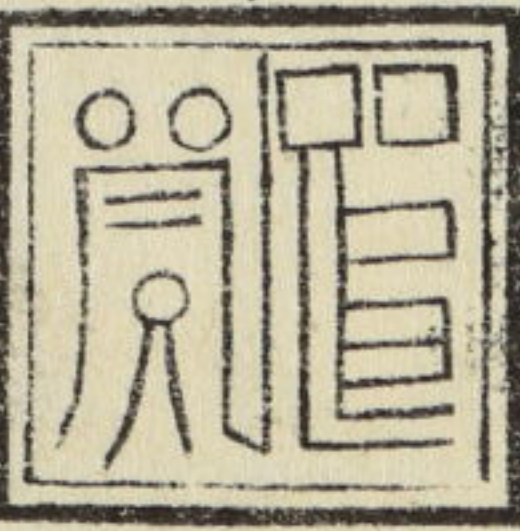
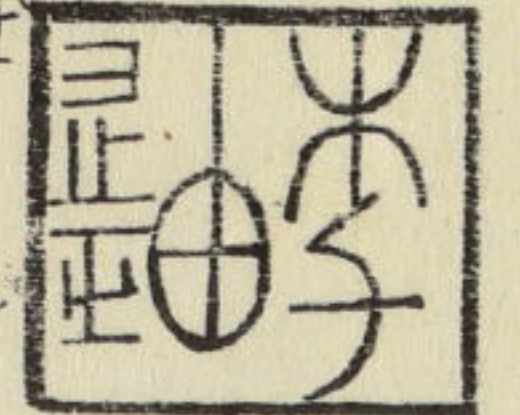




李迪 リテキ

河陽乃人たり宣和中

不職を院にのぞき成忠之節不
授らる紹興乃る不職を院副使
不復一金幣を賜ふ孝光の節
不廢るゆと云ふに死を竹石と云
く頗る生志あり山あり小泉又
ゆひせまらざる氣勢乃よと云す

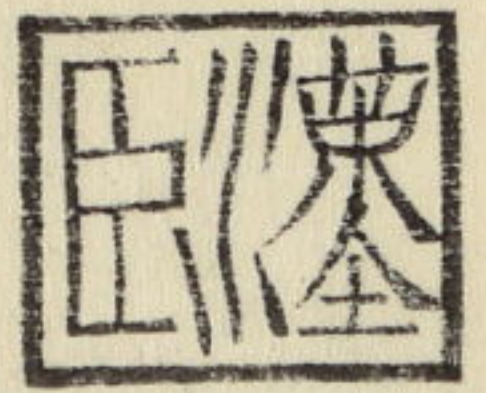
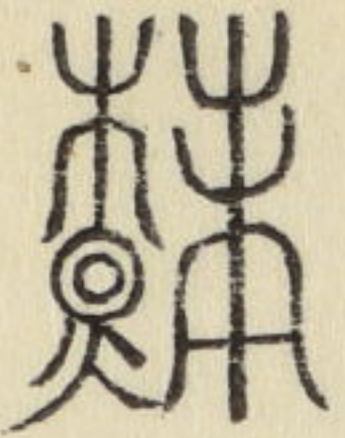


葛漢臣 リカニ

用封乃人たり宣和

不職を院にのぞき成忠之節不
授らる紹興乃る不職を院副使
不復るゆと云ふに死を竹石と云
く頗る生志あり山あり小泉又
ゆひせまらざる氣勢乃よと云す

不職を院にのぞき成忠之節不
授らる紹興乃る不職を院副使
不復るゆと云ふに死を竹石と云
く頗る生志あり山あり小泉又
ゆひせまらざる氣勢乃よと云す

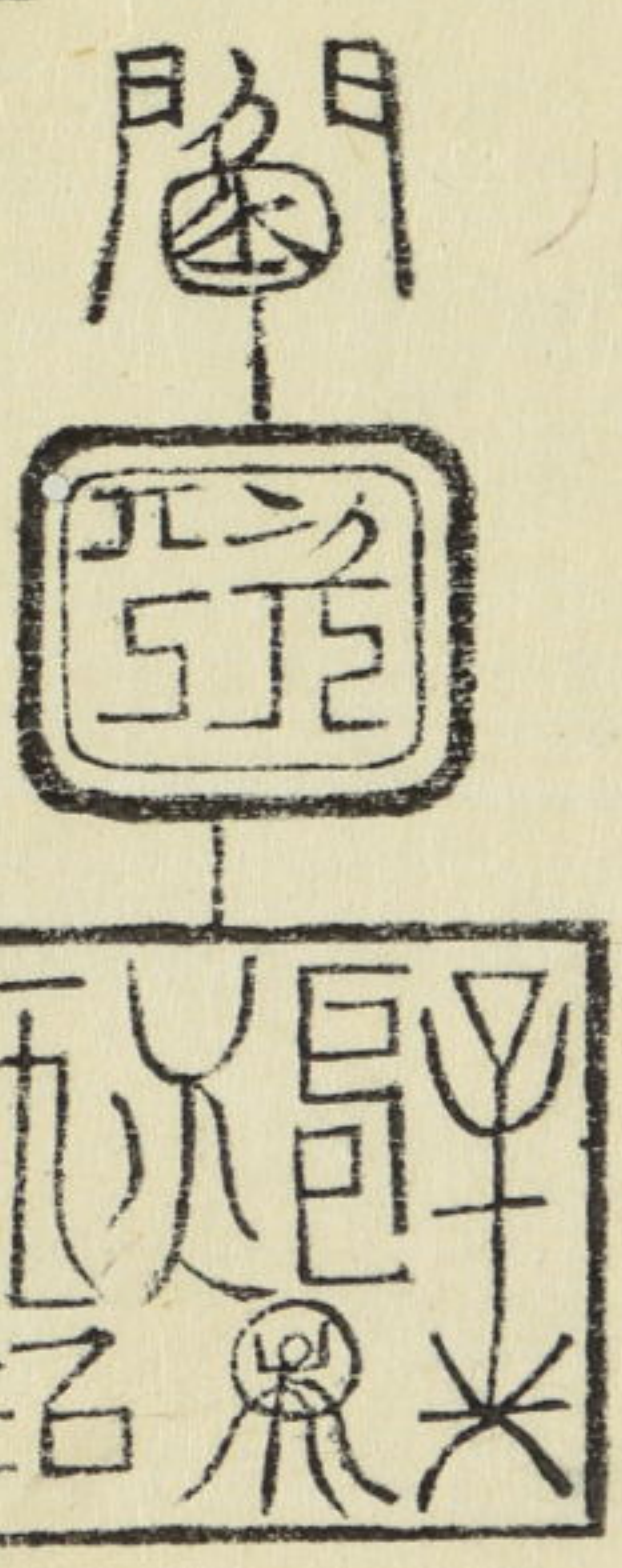


岡次干 リカニ

才乃次干之介仲子

才乃次干之介仲子
才乃次干之介仲子
才乃次干之介仲子
才乃次干之介仲子
才乃次干之介仲子
才乃次干之介仲子
才乃次干之介仲子
才乃次干之介仲子
才乃次干之介仲子
才乃次干之介仲子

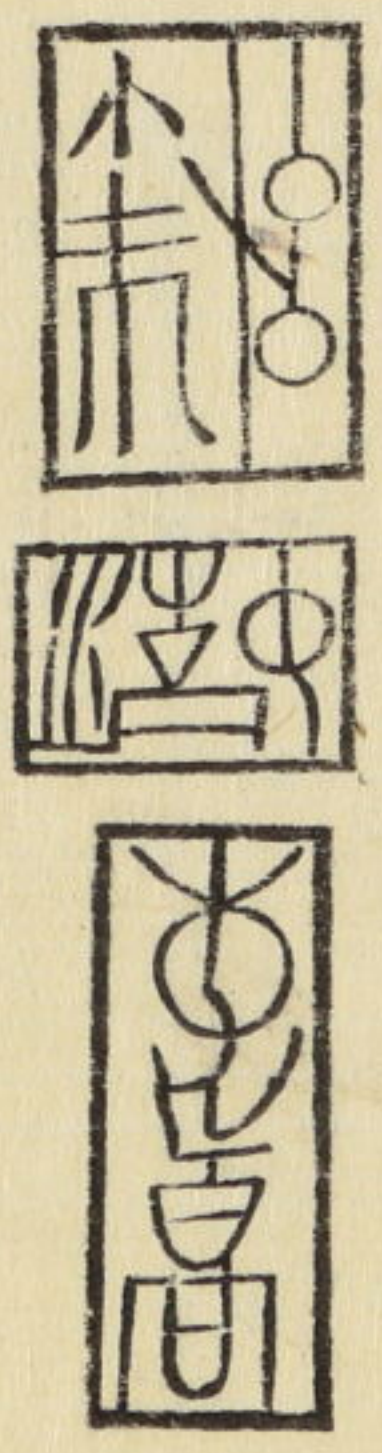
ふかあふ次平ハ將仕那ふ捕せり
内次平ハ承旨前魚院住持と
なり金幣と稱ふ



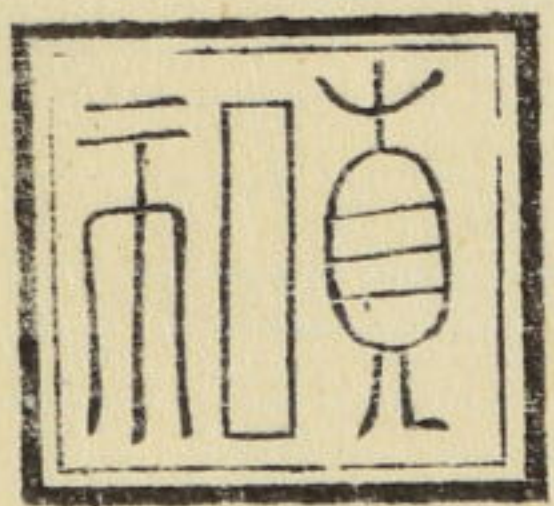
肩件 宣和ふ百と云ふ捕せり
る關次平が父なり云々ハ人物
色山あどあぐら子と云々

ぐね奥のらふ官小後す魚
即小捕一を懐ふ捕せり金
幣と稱ふ法顯の座傍あり
李忠の 後唐人なり本そ
ある處の繩臺と云々ハ捕小
後朝の事なり云々ハ人物

とあぐらと云々宗洲がまこと
尤東屋小長ず先寧理ハと
小島院小法住と云々宗の中後

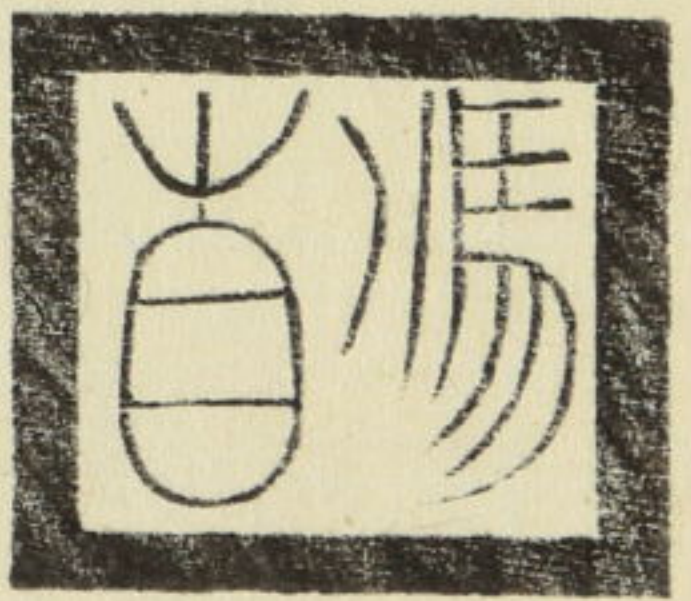


る興祖 何中の人賣らばあり
船奥のらふ侍作と云々ハ
と云々云々云々云々云々
物成ゆと云々云々云々



毛松 麻人なり或ハ異山の人
たかりよく花を口付ハ素と云々
毛並う文たり宗並乃と云々

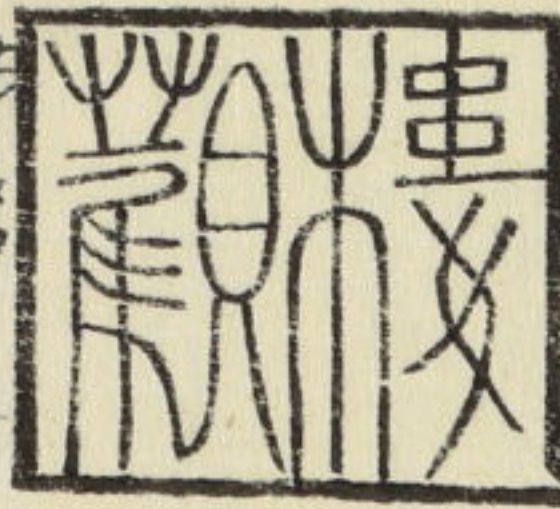
格飛と号す吳門必富居す
遠新と号ぐ持好捨入



樓觀

鐵磨凡入なり

人物と号ぐ山あり遠と号ぐ
舟法物と号ぐ細網をす威
薄乃年益院小紙儀と末と

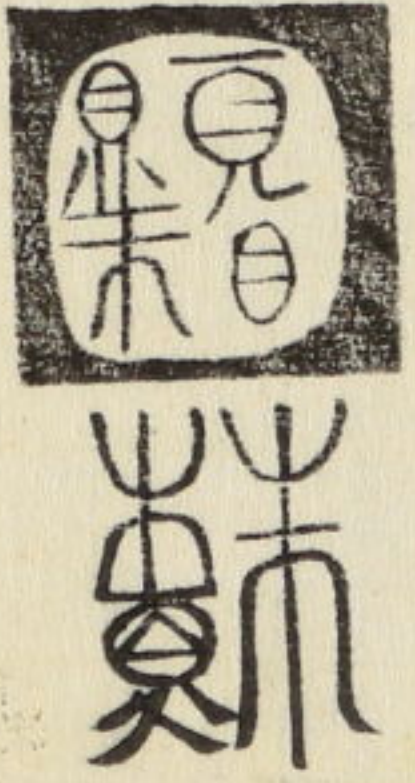


生

鐵磨凡入なり

山あり人物と号ぐ遠と号ぐ
舟法物と号ぐ細網をす威
薄乃年益院小紙儀と末と

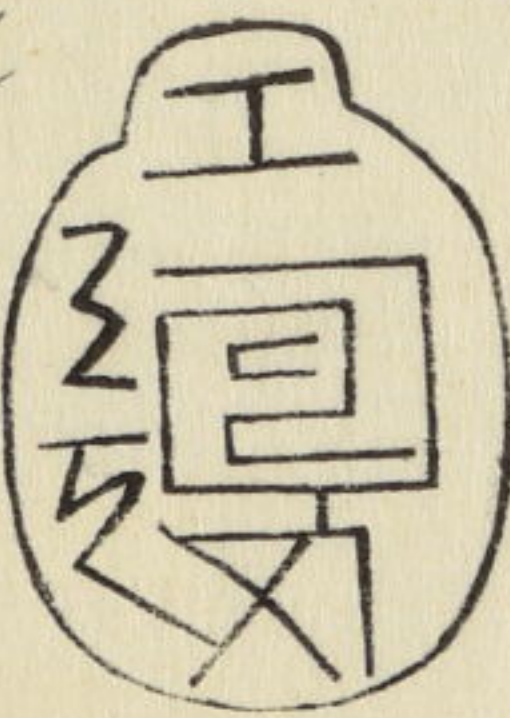
ら舟法物と号ぐ細網をす威
薄乃年益院小紙儀と末と



凍修波

鐵磨凡入なり

湖乃全と号ぐ舟法物と号ぐ
薄乃年益院小紙儀と末と



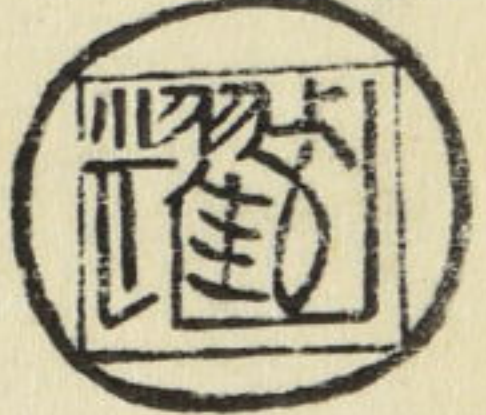
危安仁

鐵磨凡入なり

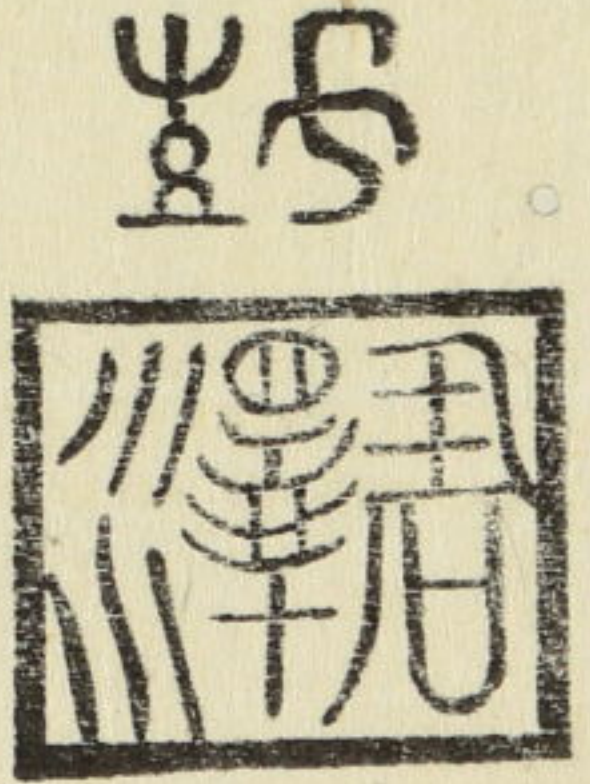
危安仁と号ぐ舟法物と号ぐ
薄乃年益院小紙儀と末と

周新傳 卷之四十一

山ありてそぐくも遠夏越とまなり
耀卿印文



孫君冲 抗人なり山ありて抱きた
くもすくも夏越とまなり

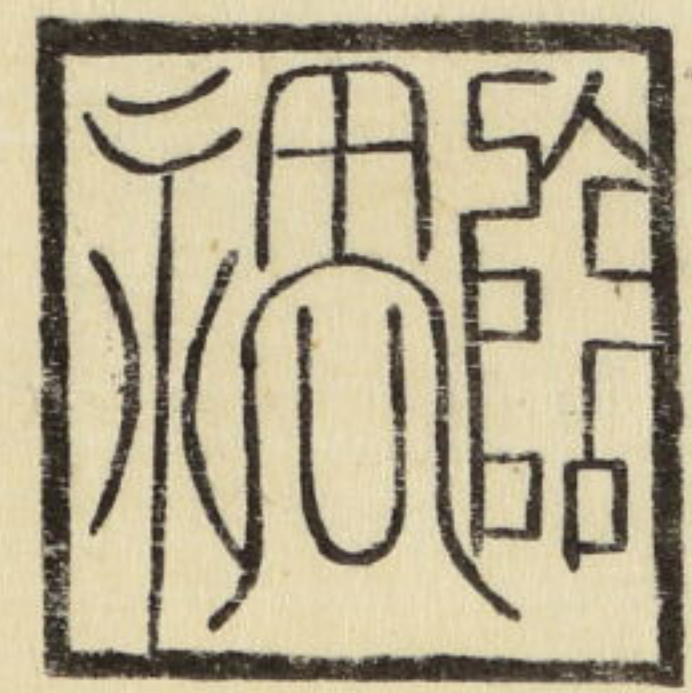
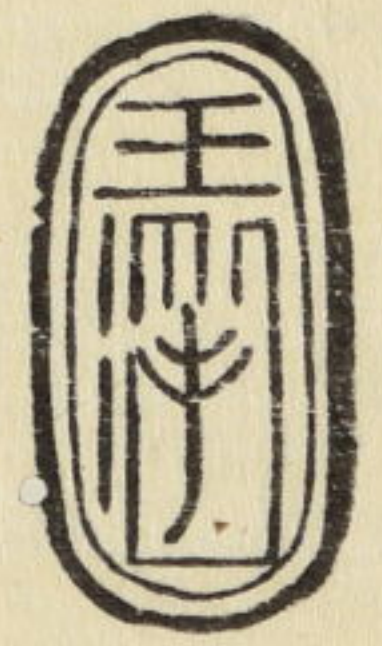


揚月洞 花を新虎とまなり



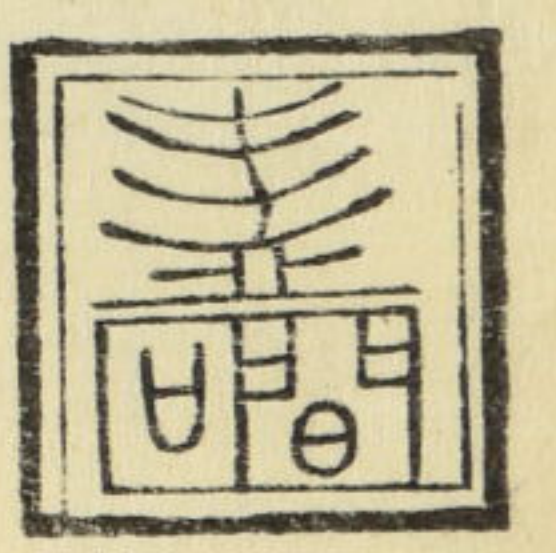
王剛 字ありて云漢軒と号

抗人なり初ありて丹書とまなり
趙文敏初ありて小指とまなり
京く而皆古人と師とす一孝院
神なり山ありて郷と師とす
花を新虎とまなり人物の
皇と師とす一精妙ありて書
花を新虎とまなり高代の経書



五玉洞 吳彦暉字ありて
精氣ありてのたふとまなり
氣とまなりす同対小娘とまなり
とありてとまなり

書會傳印 全八四十二



吳彦時

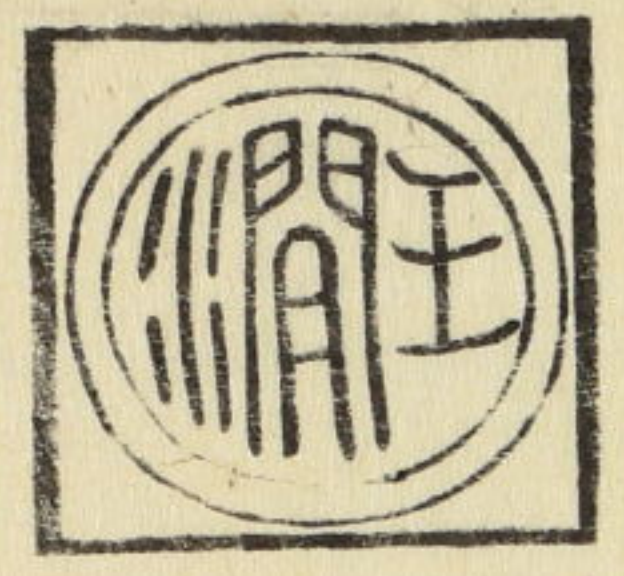
吳彦時字子時



蒙玉相

西胡譯名

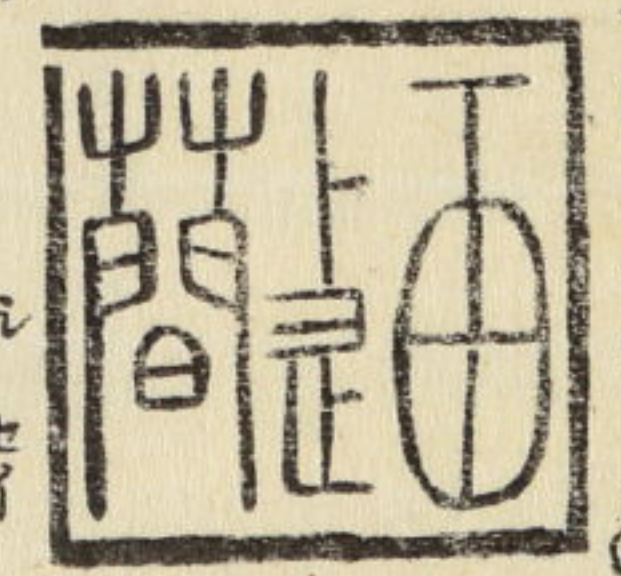
蒙玉相乃下とせり蒙乃惠崇と
師としてゆゑと云く



王迪翁

字ハ彦吉藏と号す

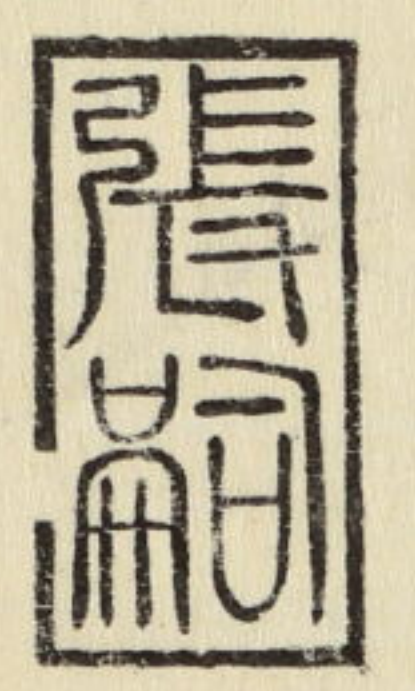
然人なりと云くあると云く



天師張

嗣成志と号す

終と云く又の終と云く亦
庐山乃終と云く



道士蕭

准人なりと云く

道教人物と云くは字月丹



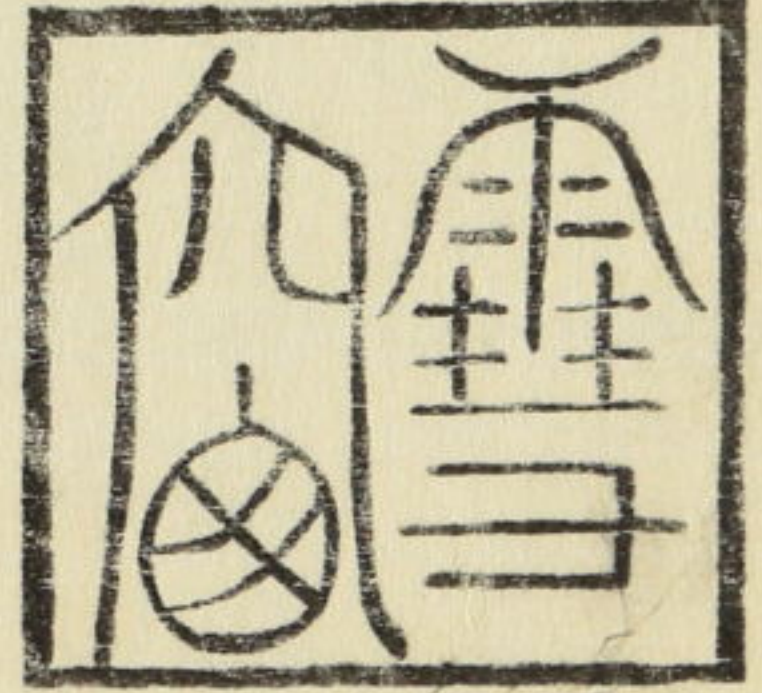
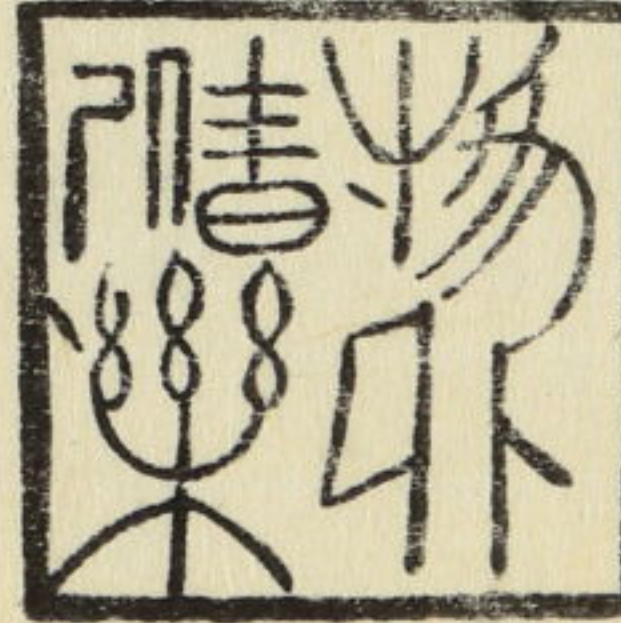
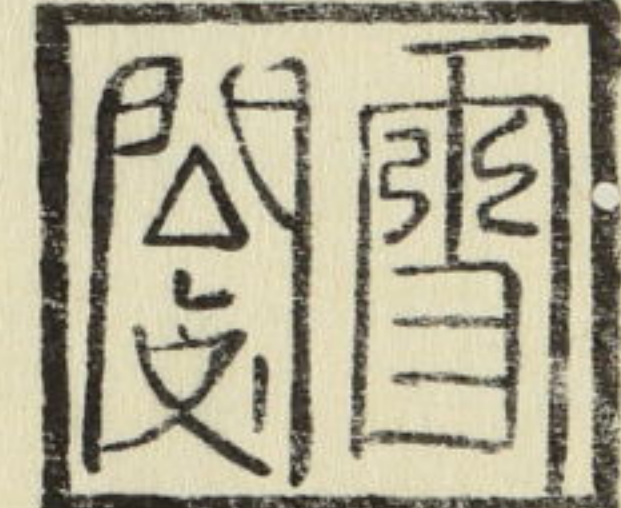
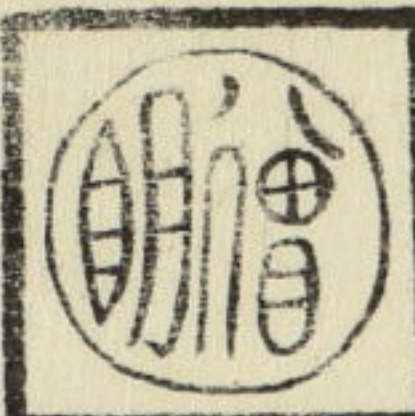
僧的

系と云く振子庭

振木高僧と云くは字と云く

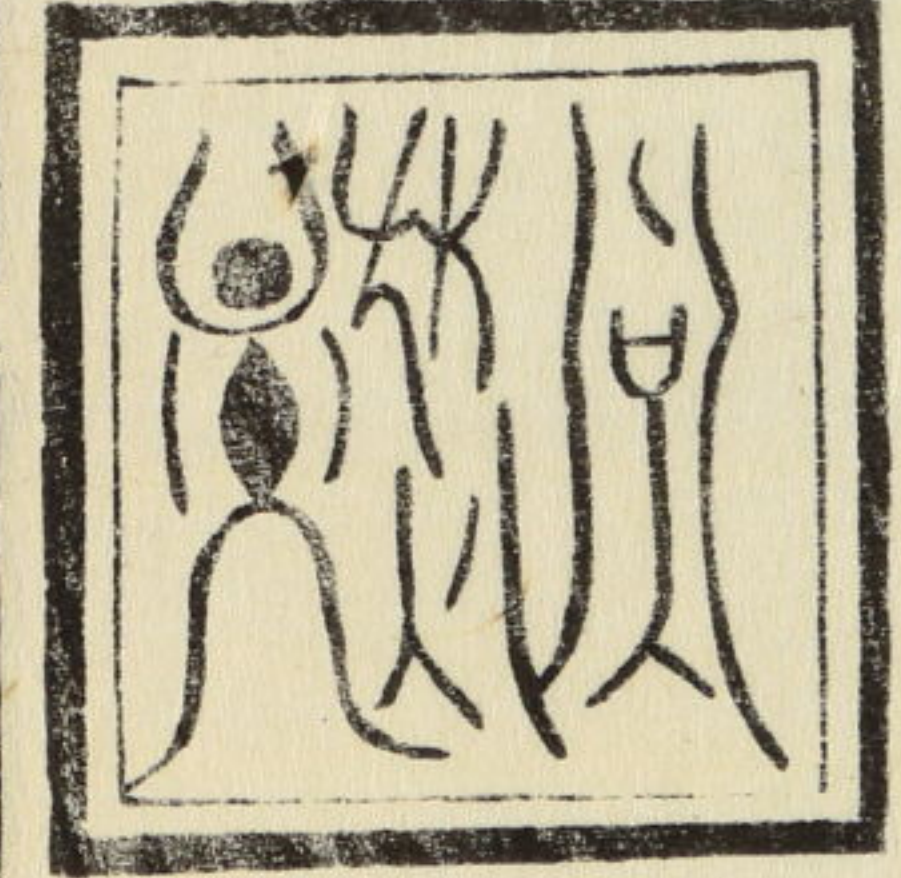
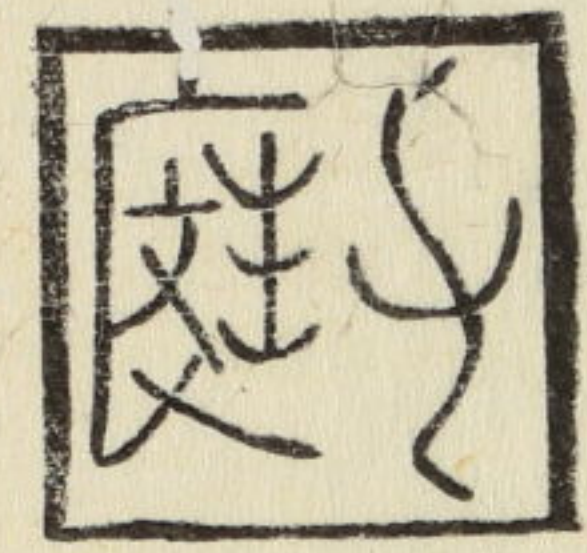
坊小部... 文房乃... 諸君...

僧



栢子庭

傳記...



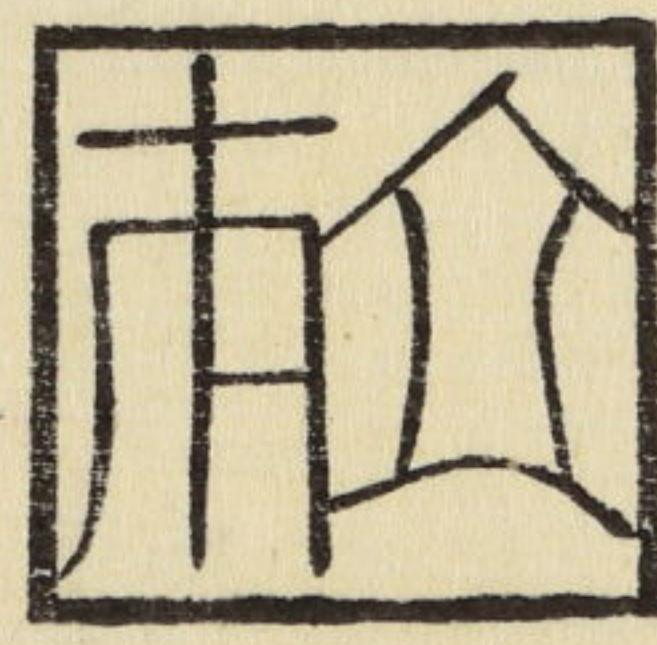
ツエ... 一子二百...

七人乃外...

これらに...

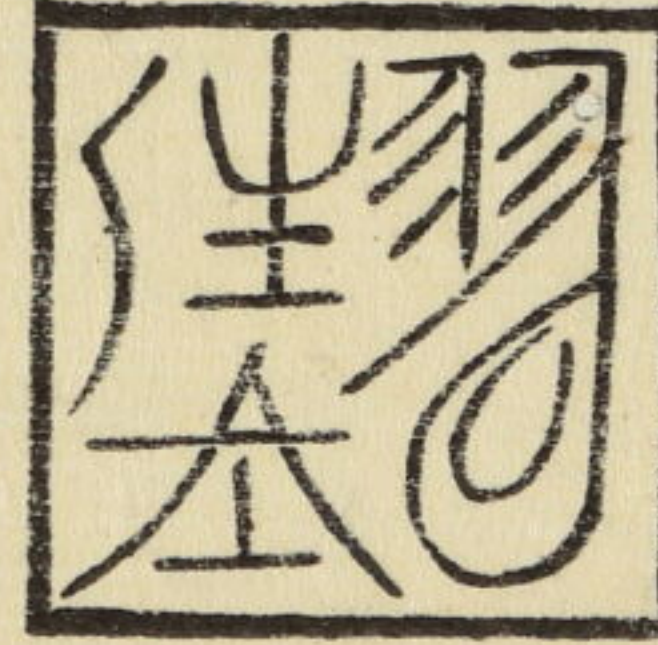
王立

牡丹と...



字新

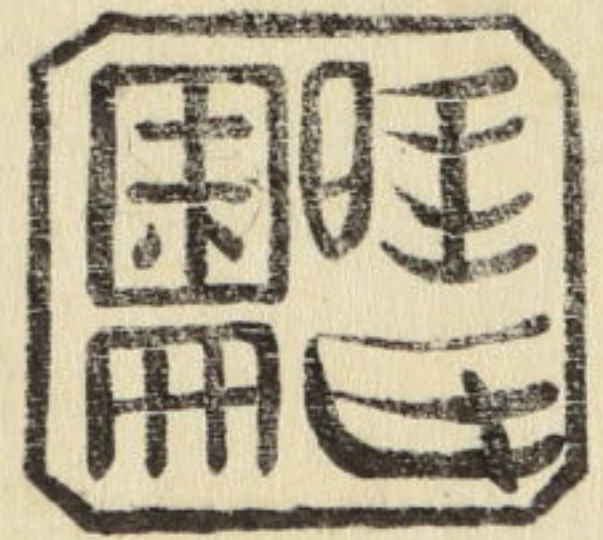
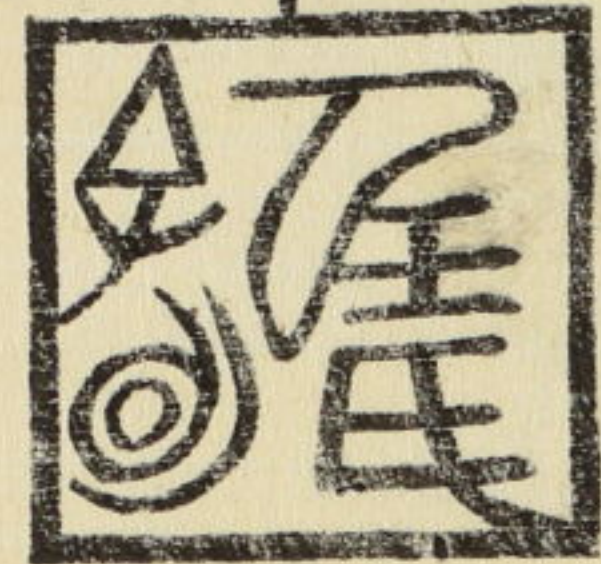
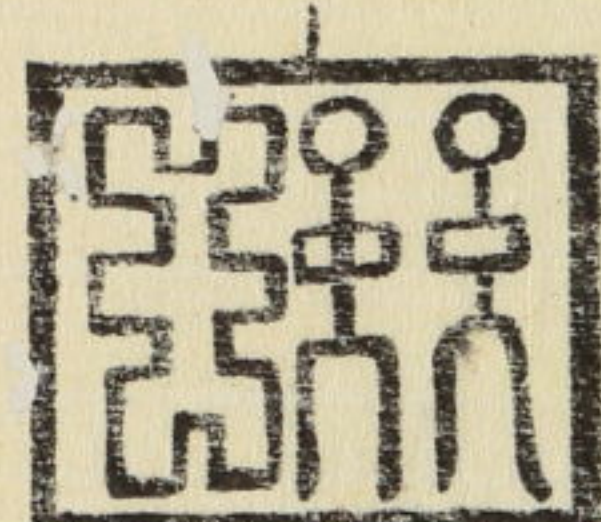
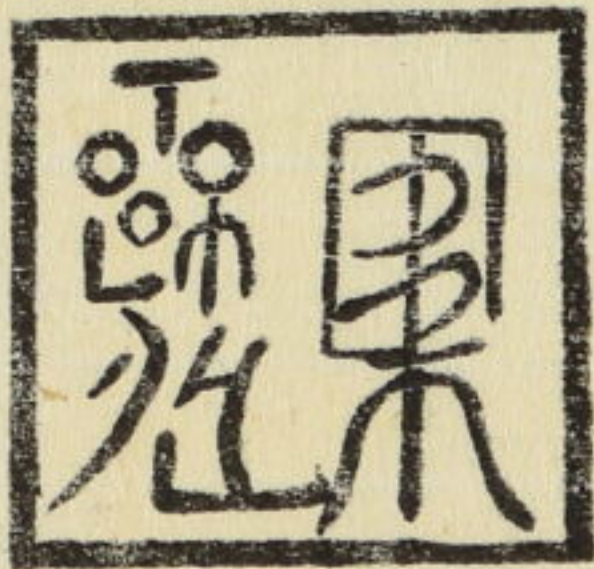
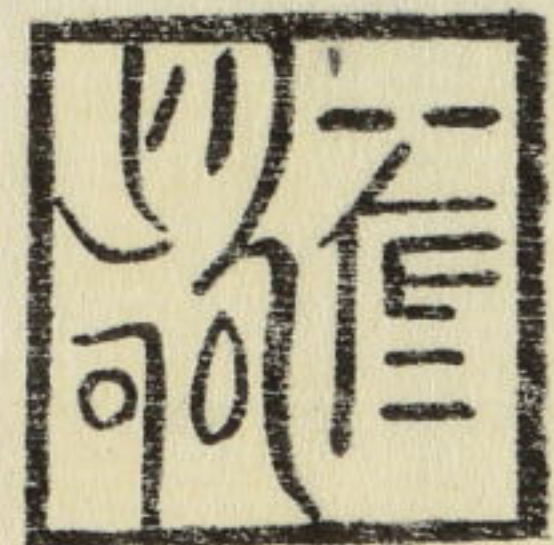
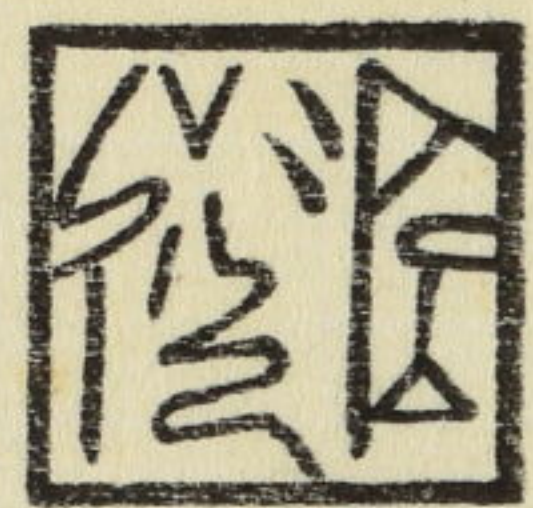
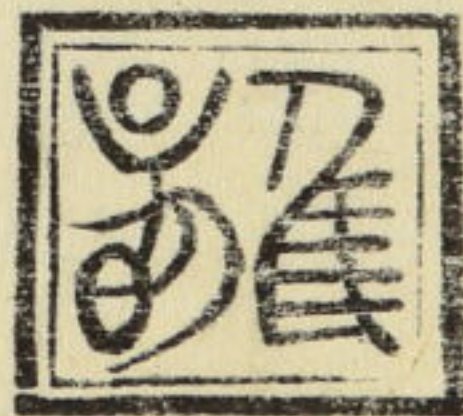
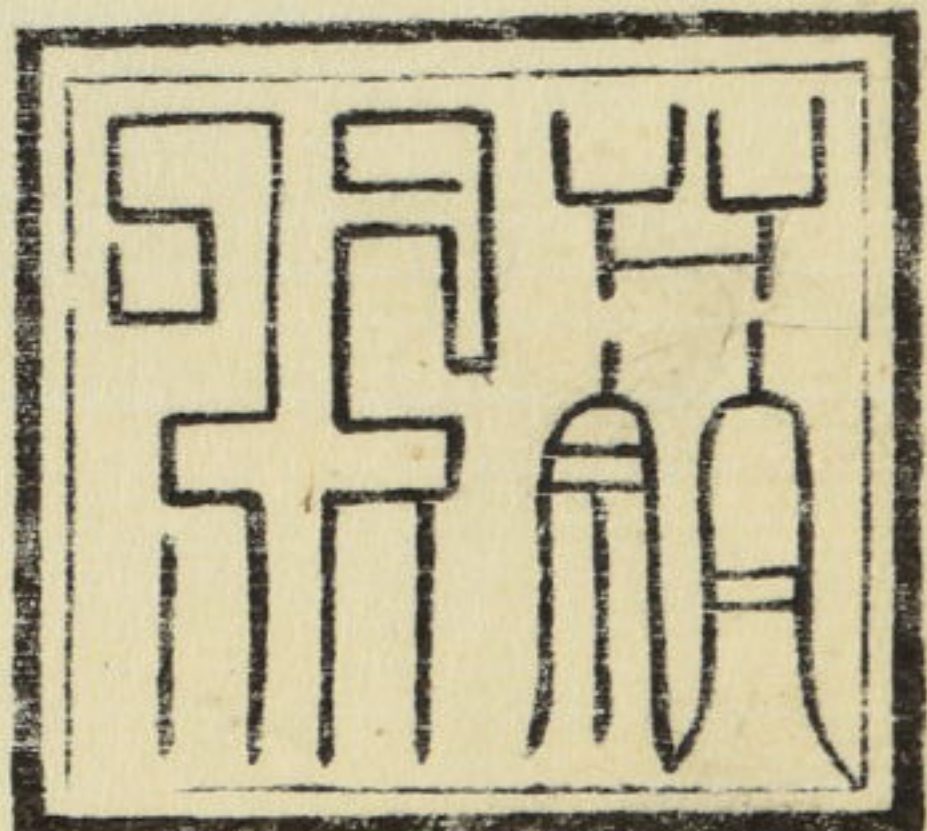
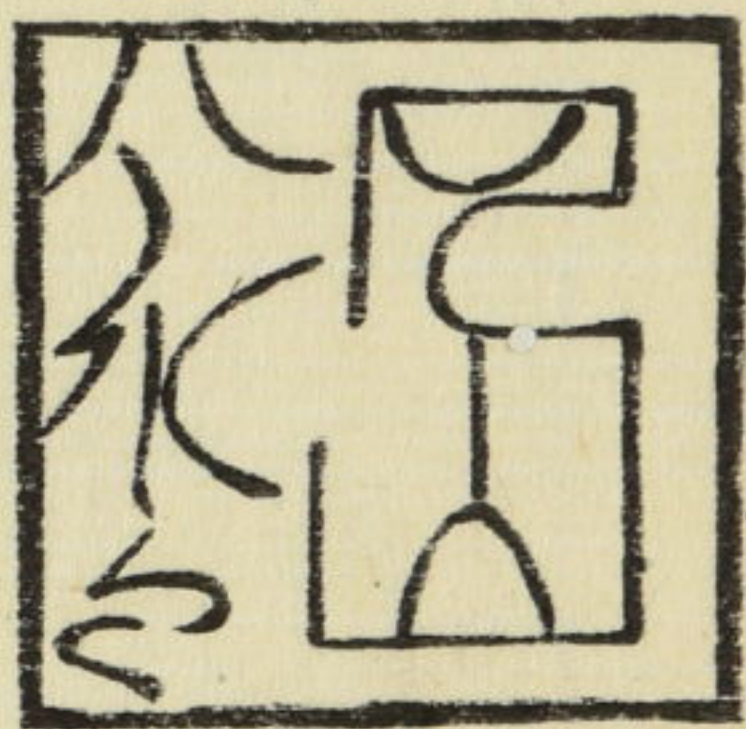
字ハ文進...



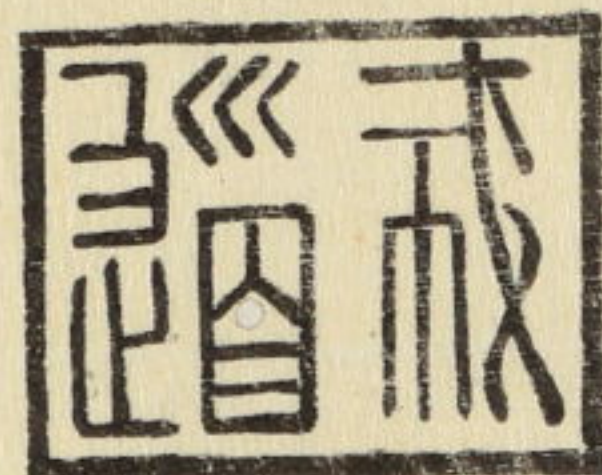
任仁

字ハ子...

と号す...

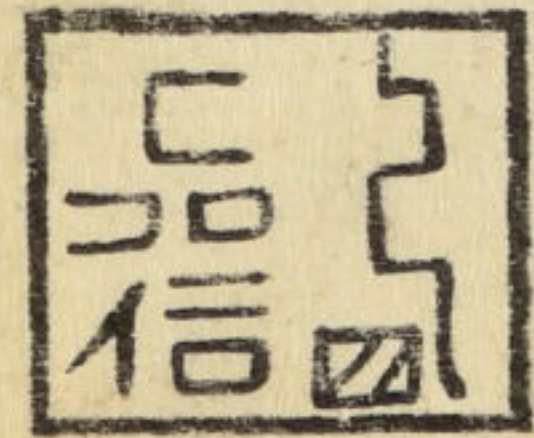


是より以下 矣澄 傳紀不竟
成系道 下 多 矣 出
下 多 矣 出
下 多 矣 出



月壺 式

下 多 矣 出



廣雅釋名
卷五

品
品

車

車

使
九
上
後
九
九

車

王

備
安
準
百
車
上
後
王

西
工
師
師

金
木
調

車

車
車
車

車
車
車

車

車

車

車

車

車
命

車
車

車

張
恩
恭
巨

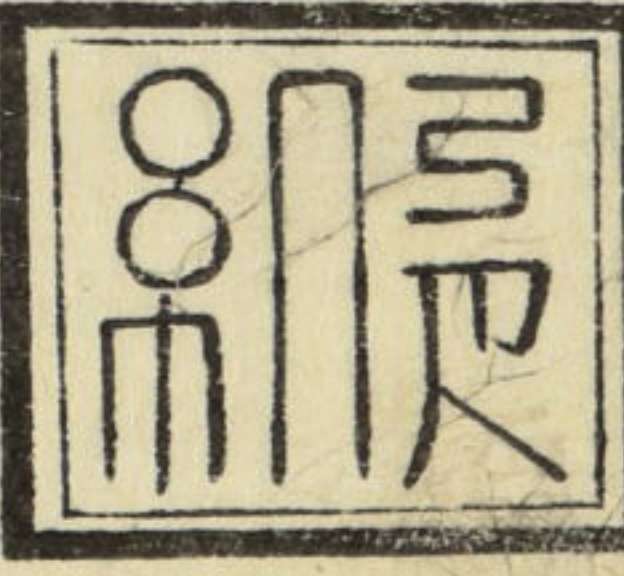
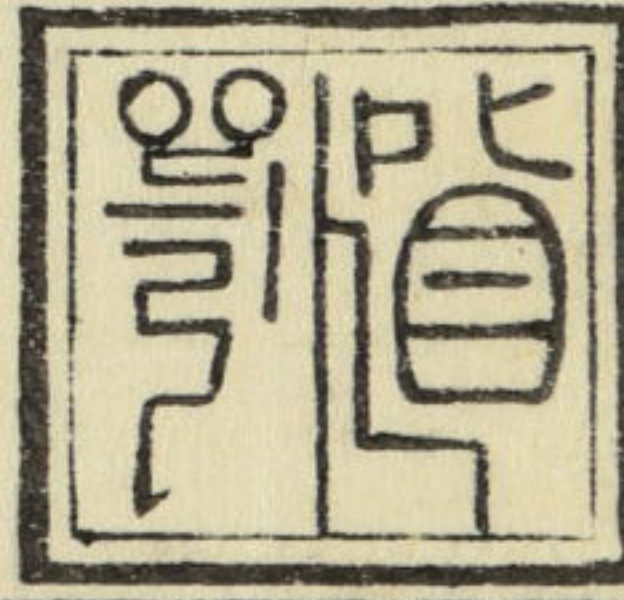
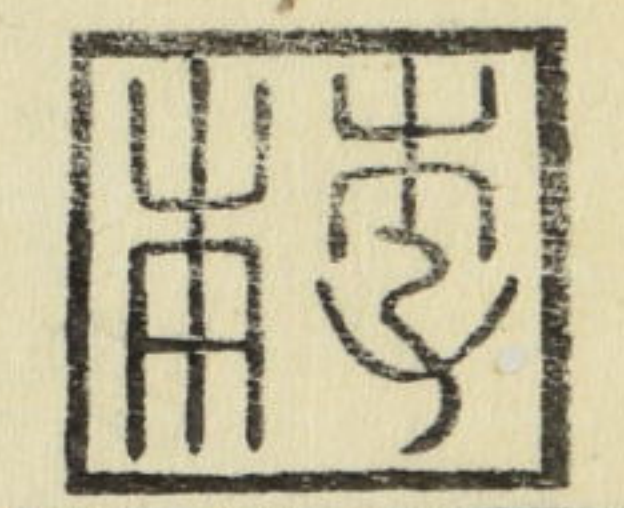
張

車

車

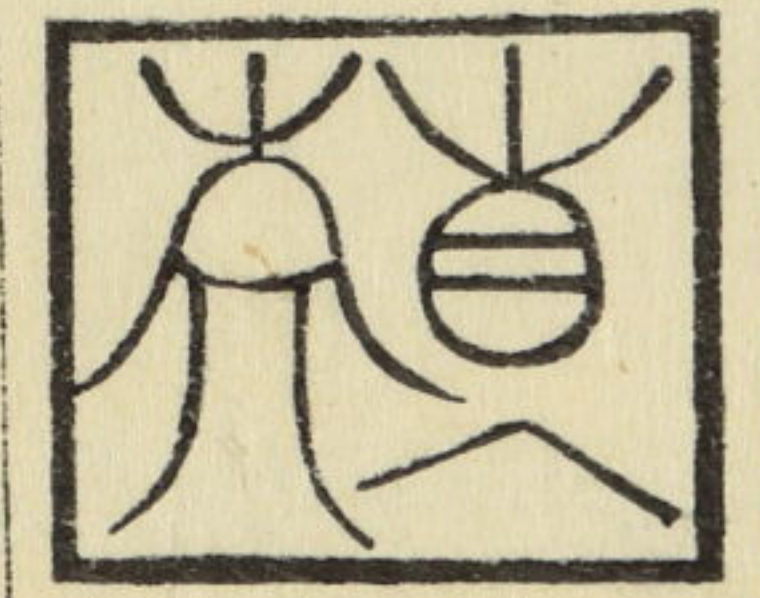
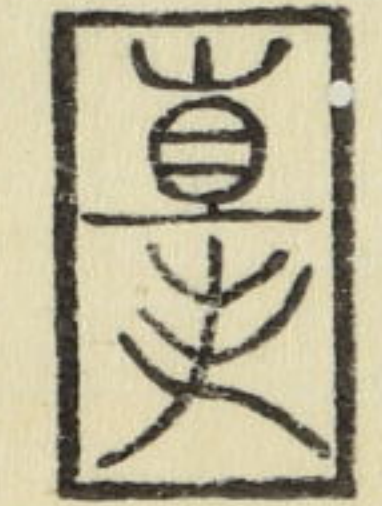
廣雅釋名
卷五

王李千 百三

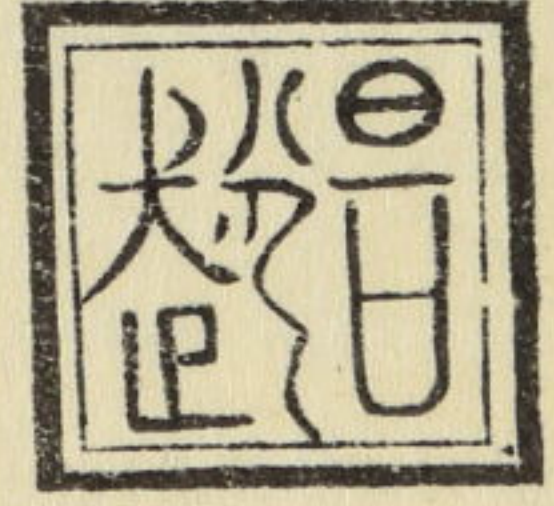


叔 百三

叔

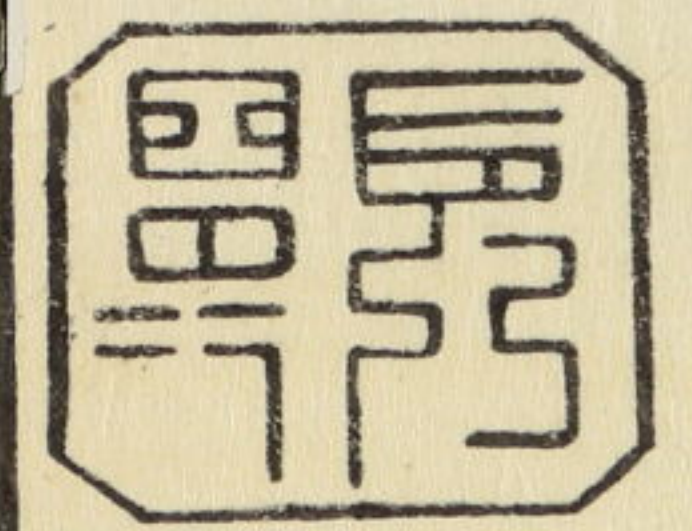


柯山 百四

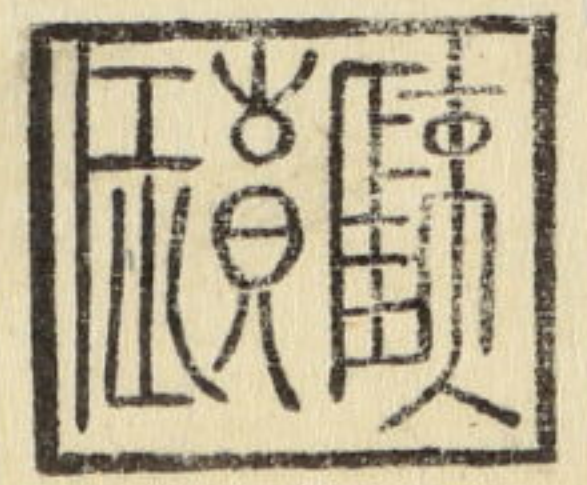


張 百五

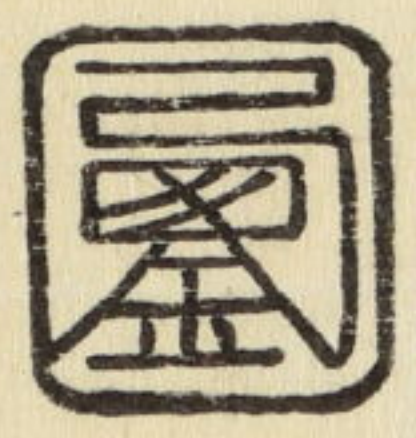
張



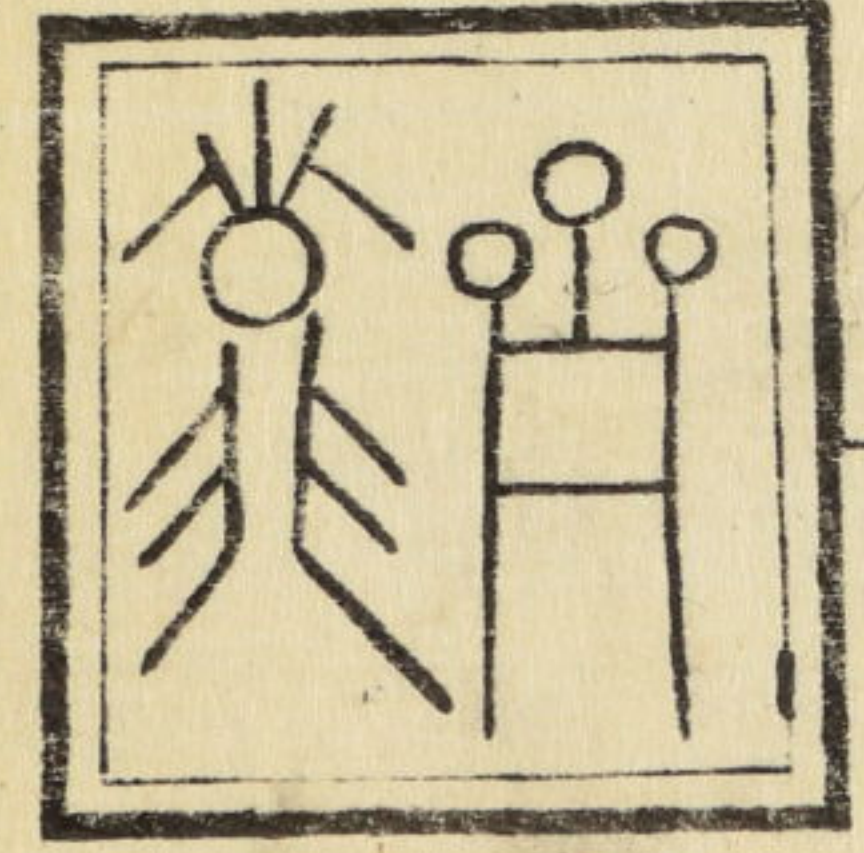
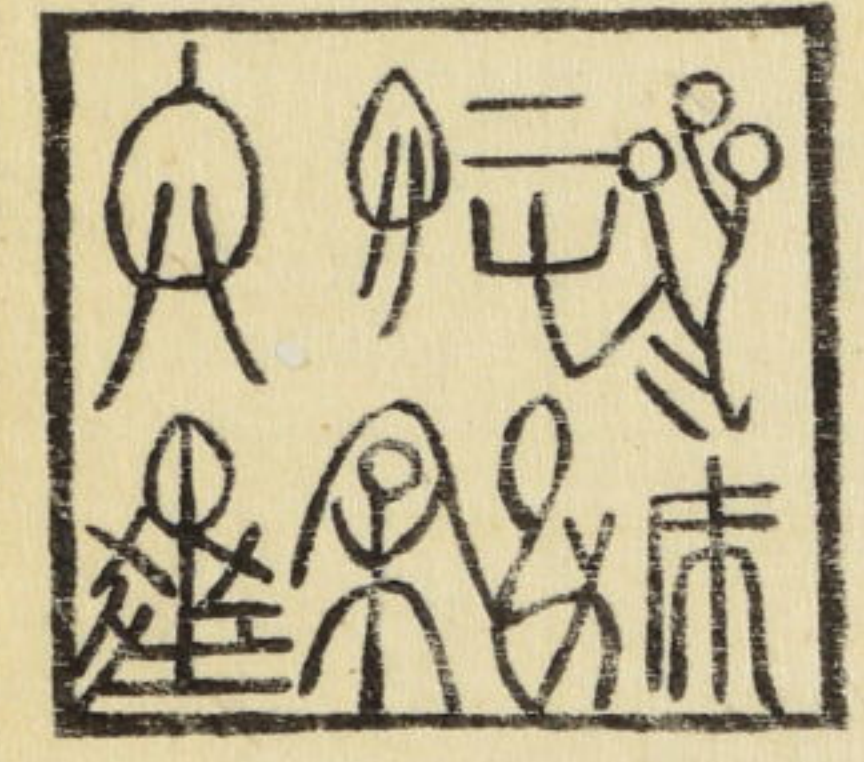
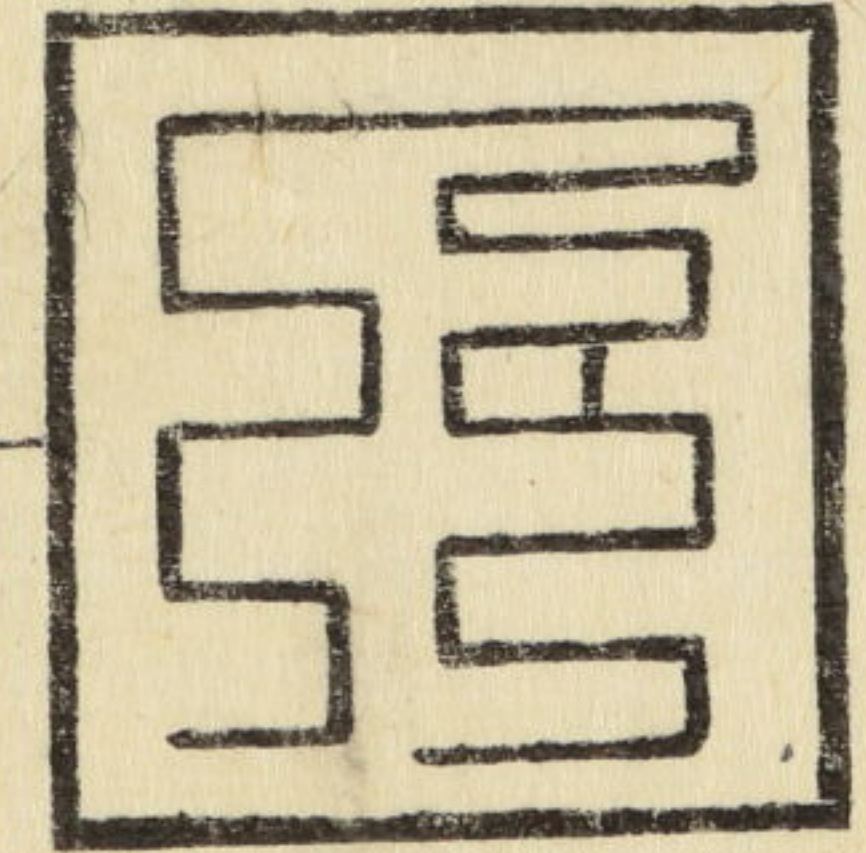
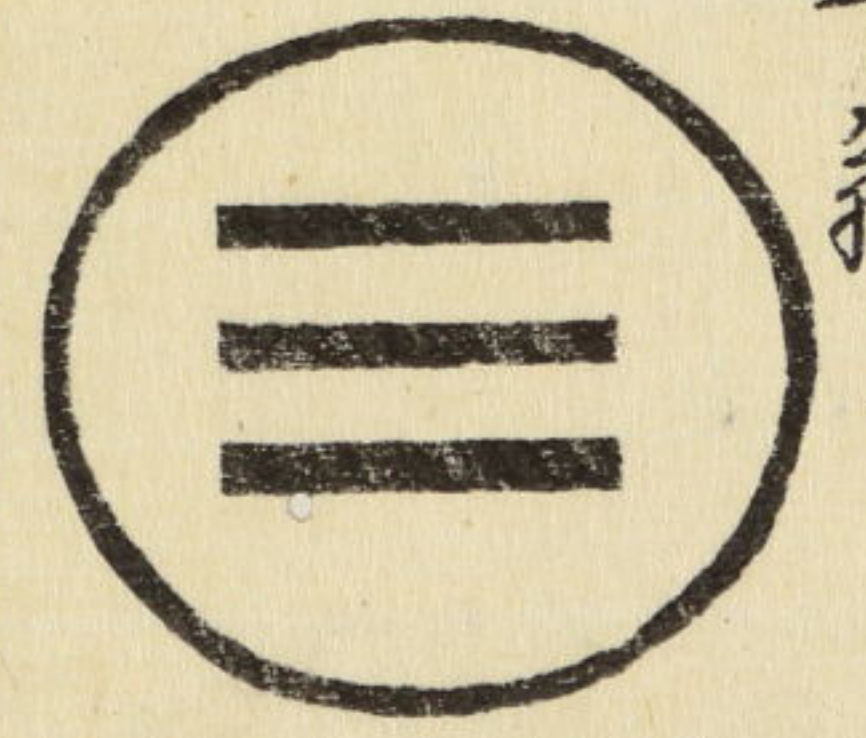
明鏡 百六



西金居士 百七



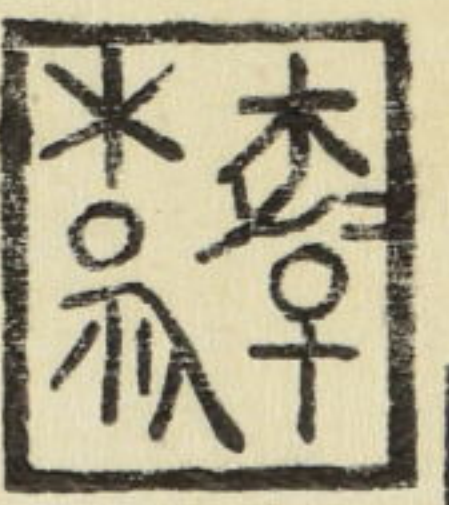
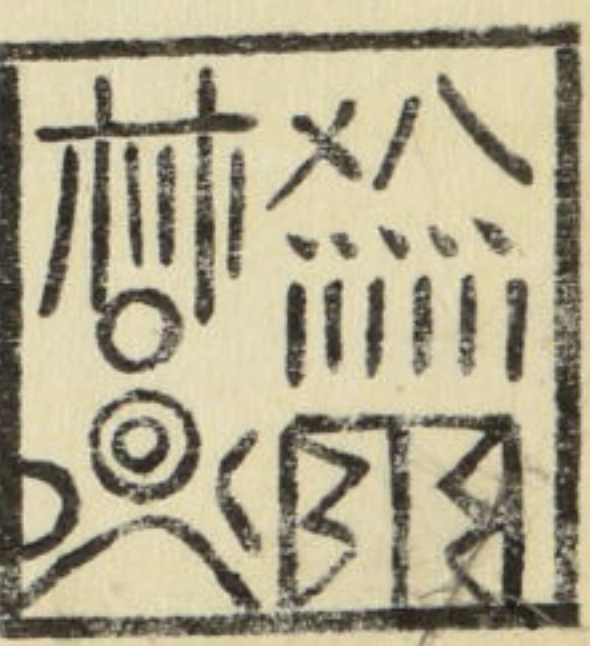
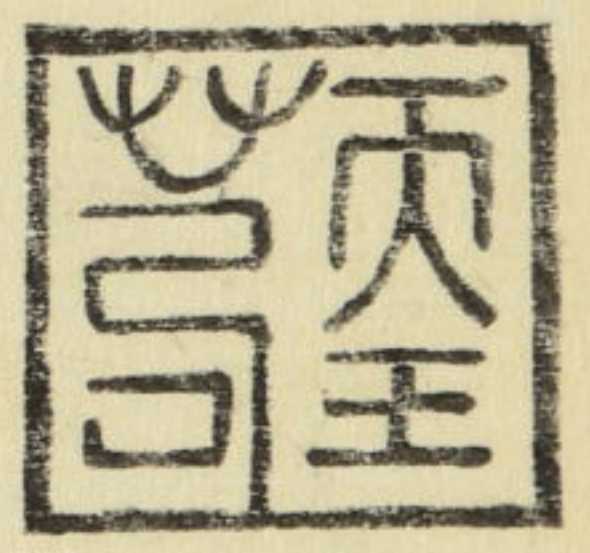
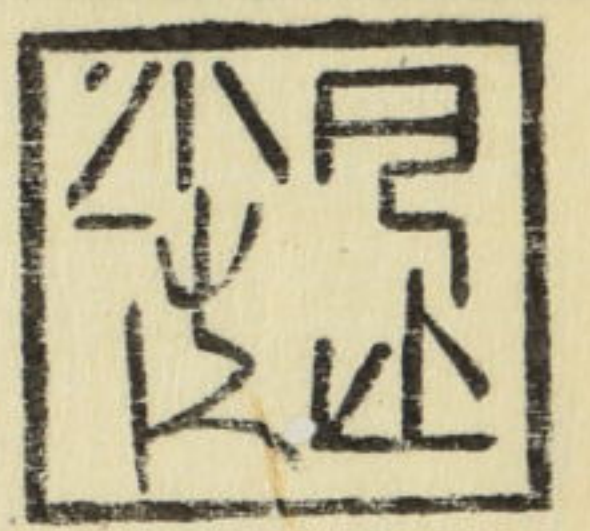
華 百八



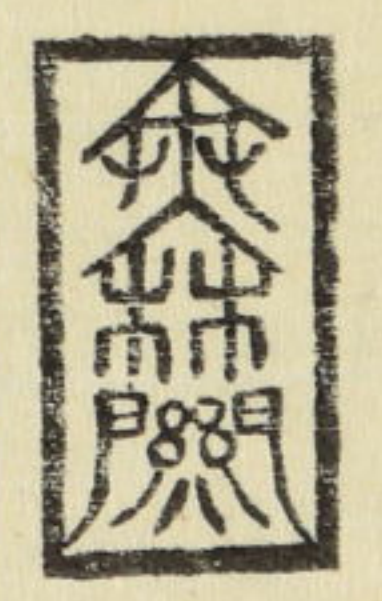
五言繪傳印

四十七

周系作
...



門無國 モシムクニシ百九

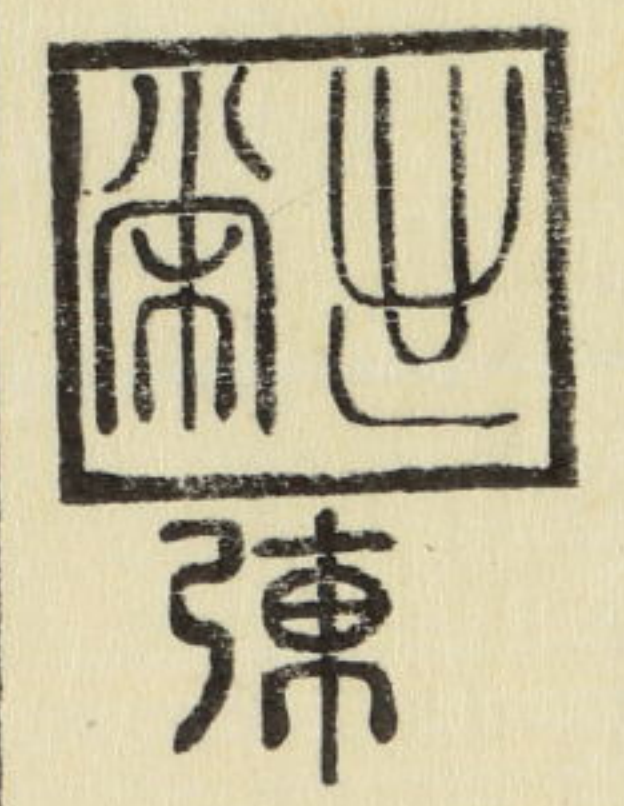


草

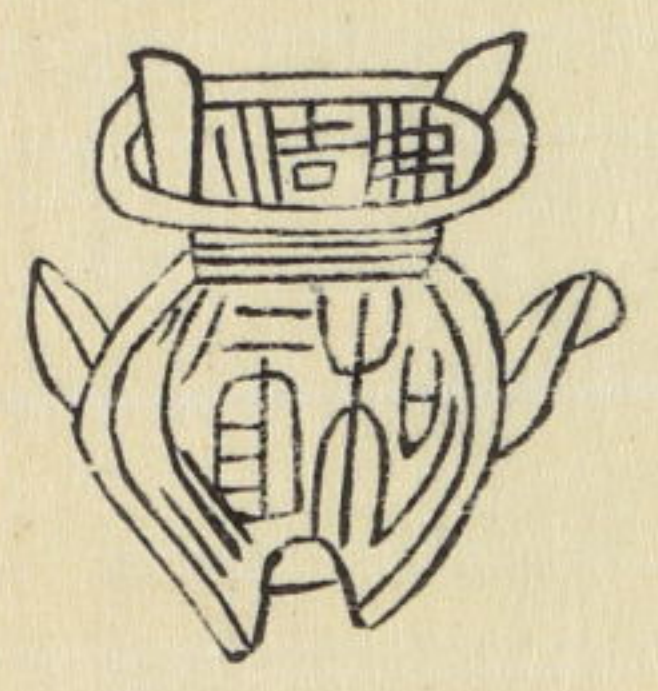
陳世英 チンセイヤイ

右と終終

中法



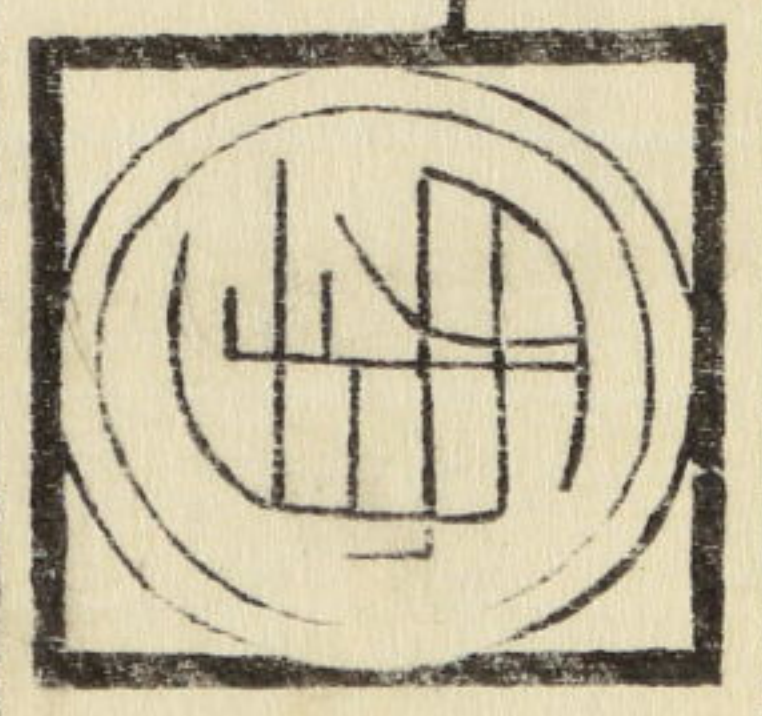
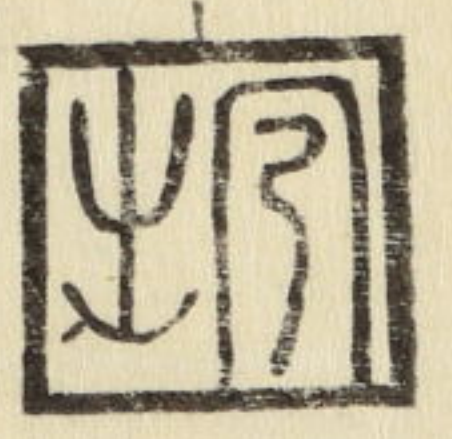
柯澄 カコウ



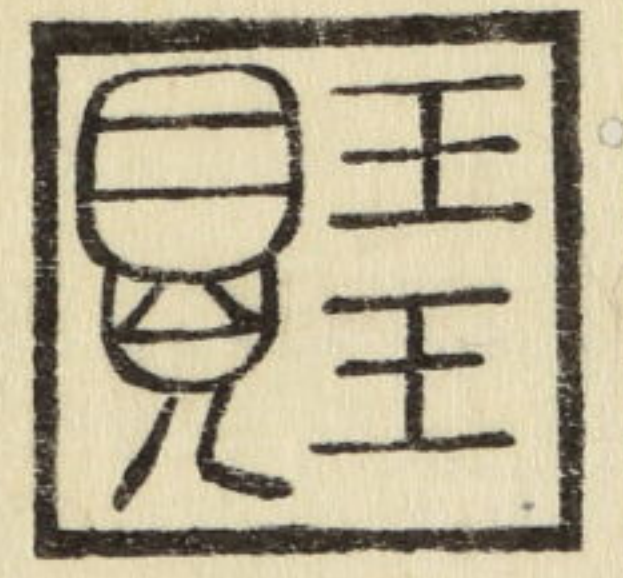
禪月 チンゲツ 草二



関丹士 クワンタンシ 百十三



王元章 ワウゲンシ 草四



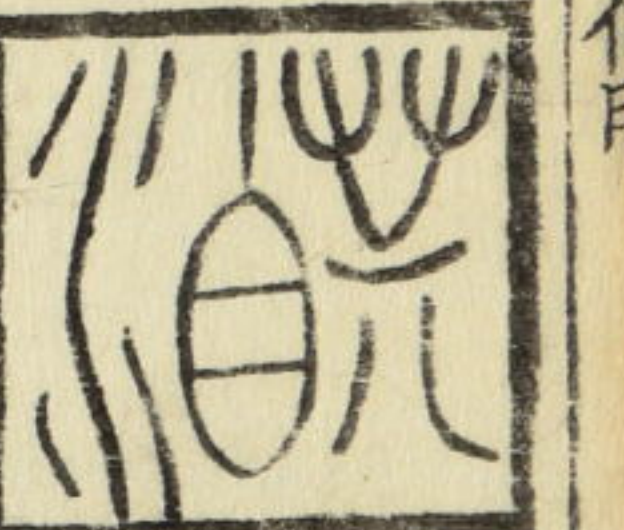
元章

高然暉 カウゼンキ 百十五

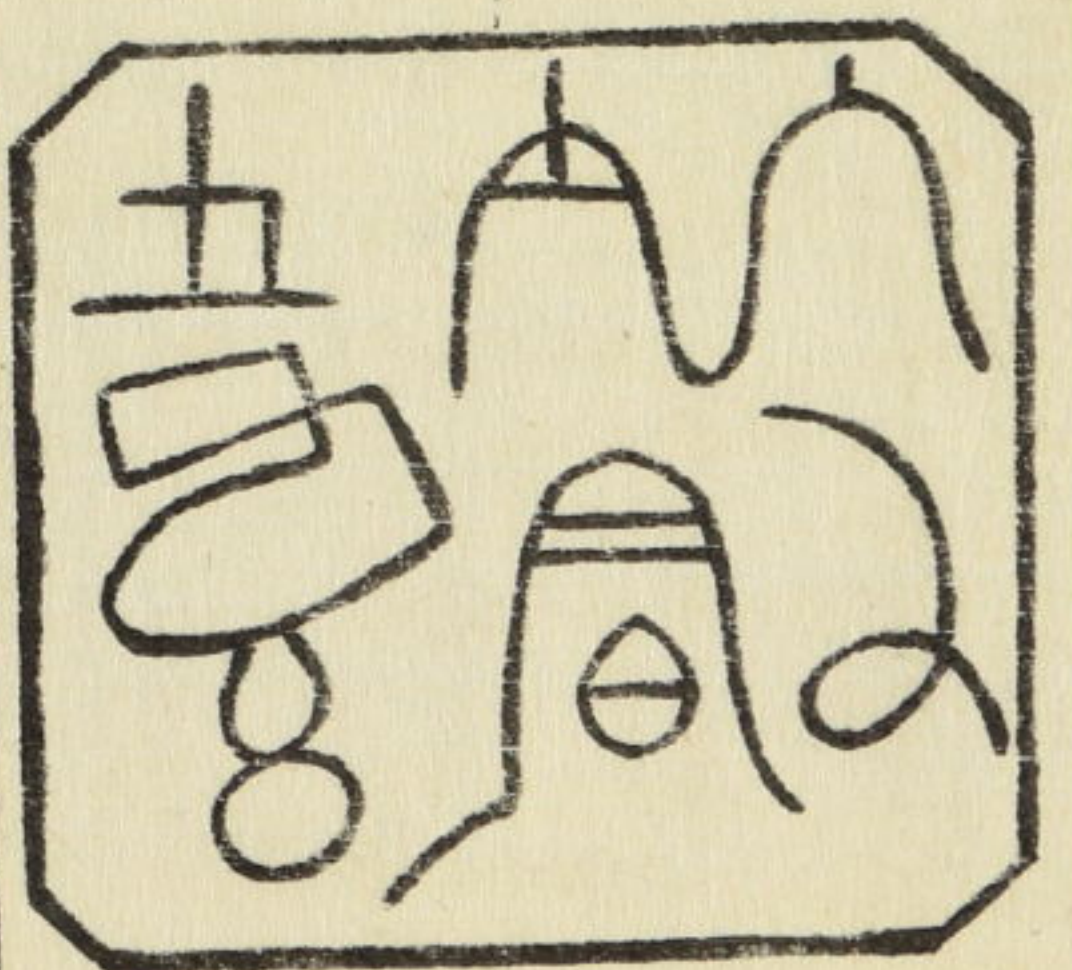


...

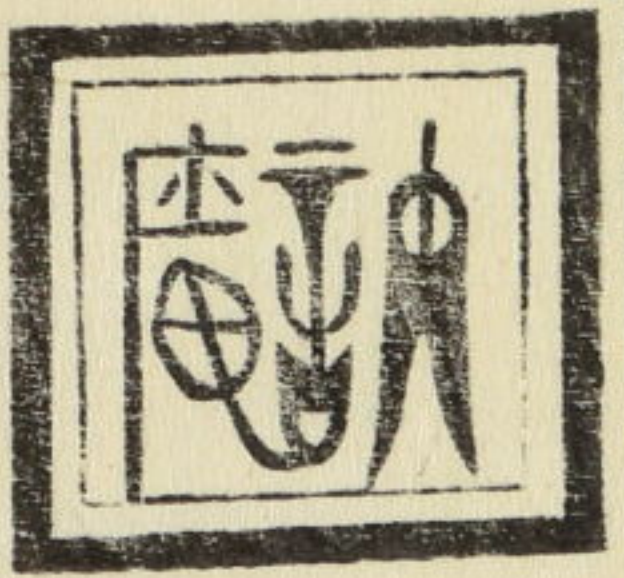
張伯洪 百六



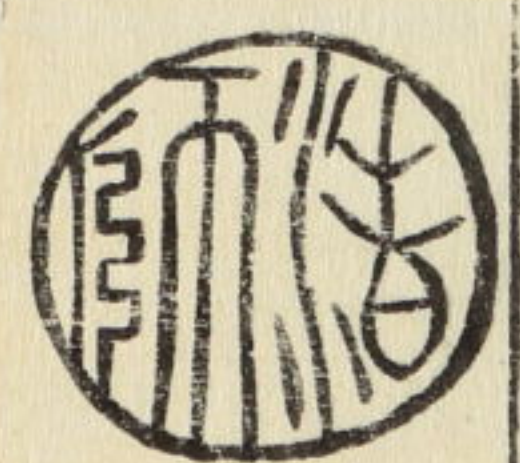
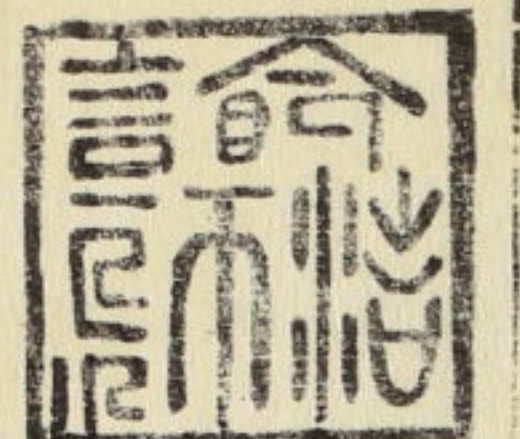
中宣山 百七



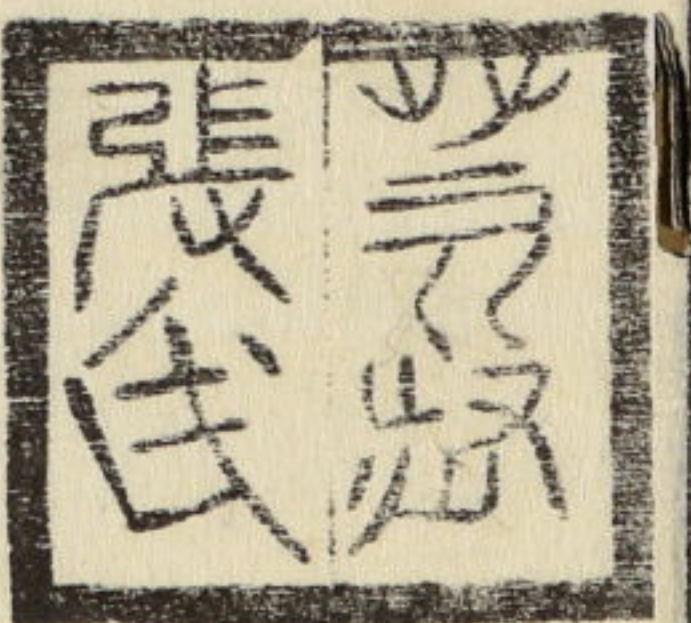
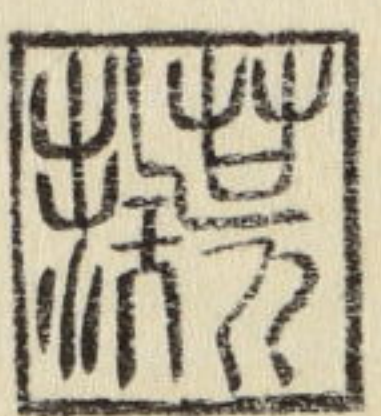
賴房 百八



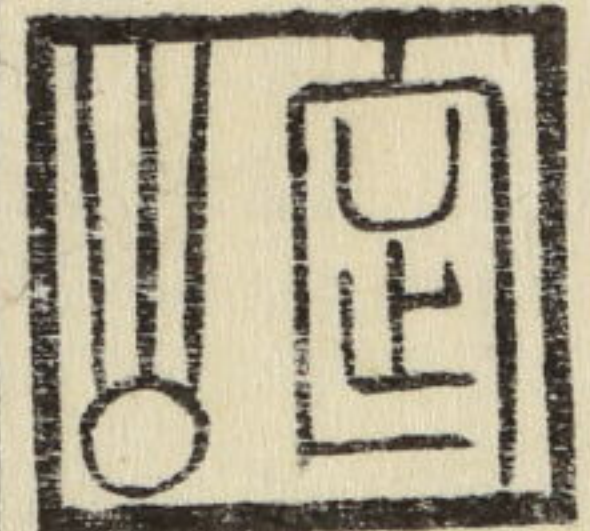
論法師 百九



張芳叙 百九



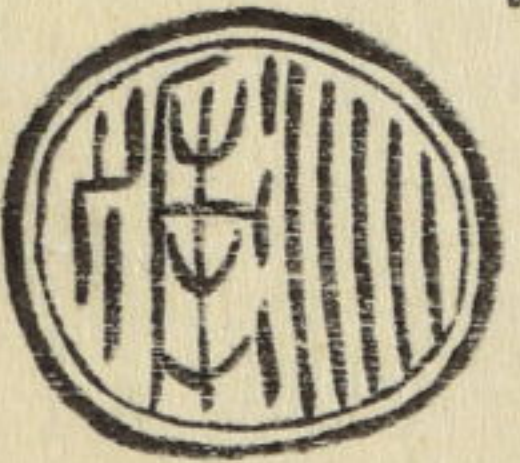
下後山 百一



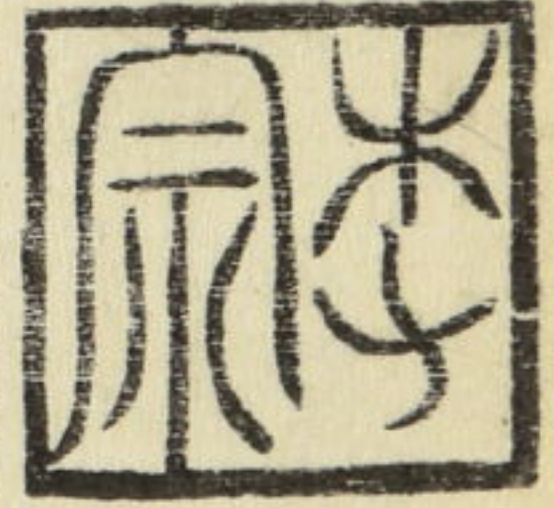
徐澤 百二



張水涯 百三



李家皇帝
百廿四



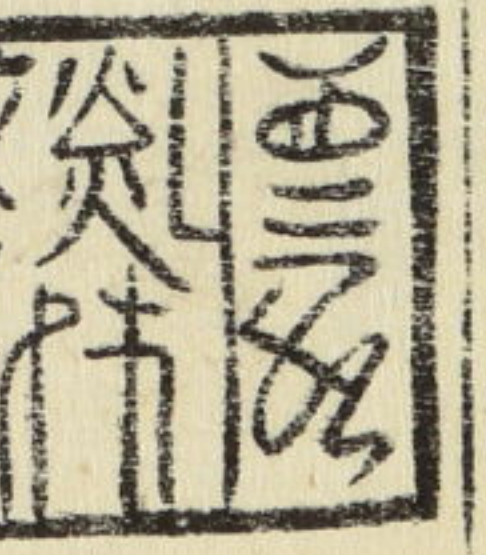
李光武
百廿五



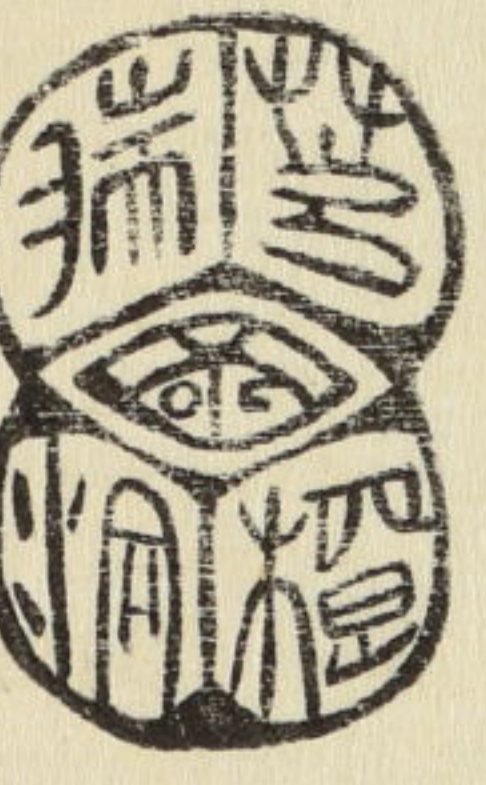
夏明帝
百廿六



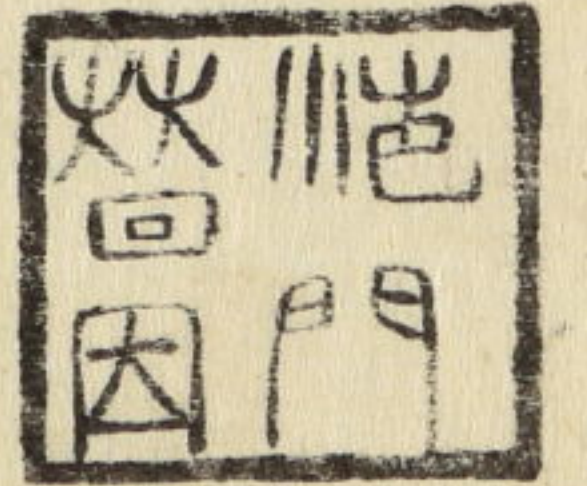
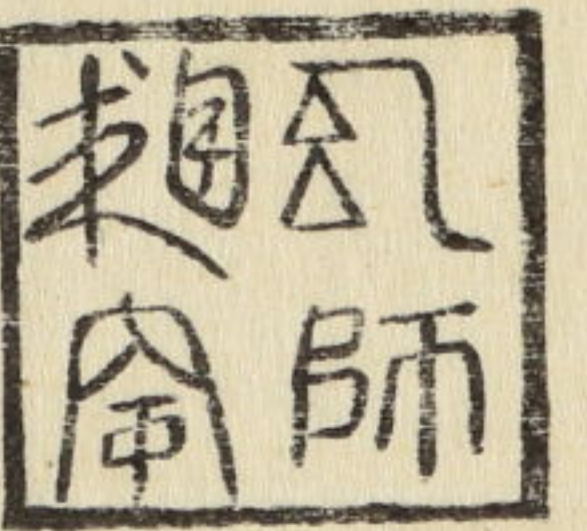
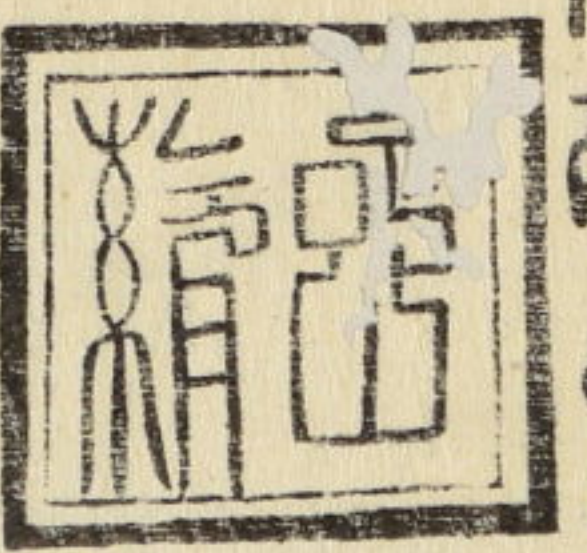
張猛
百廿七



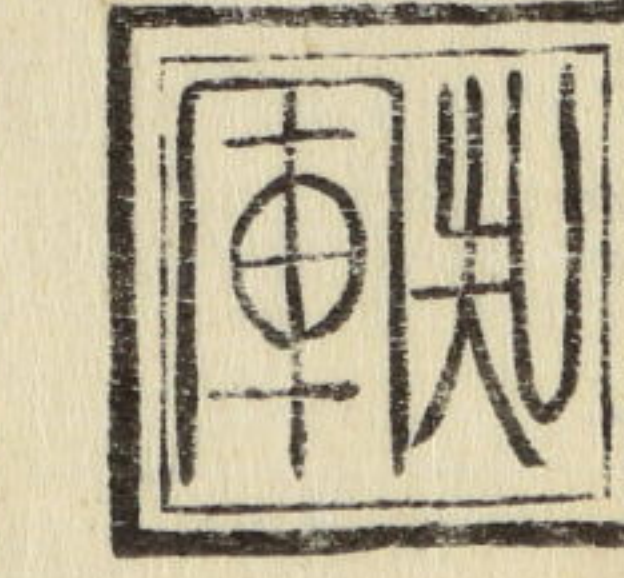
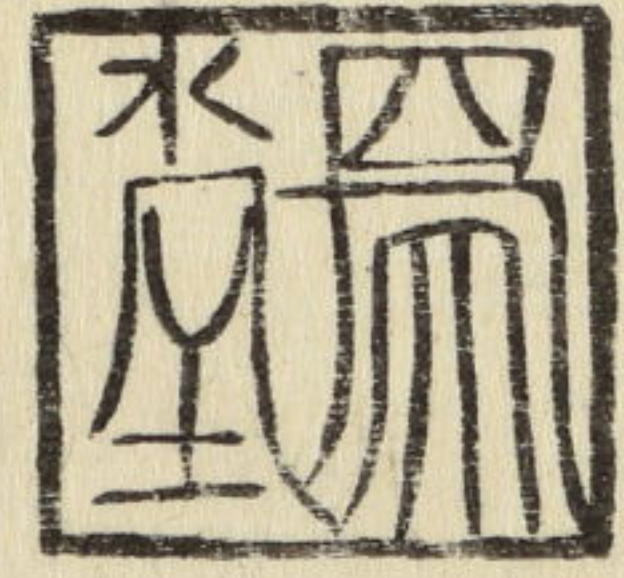
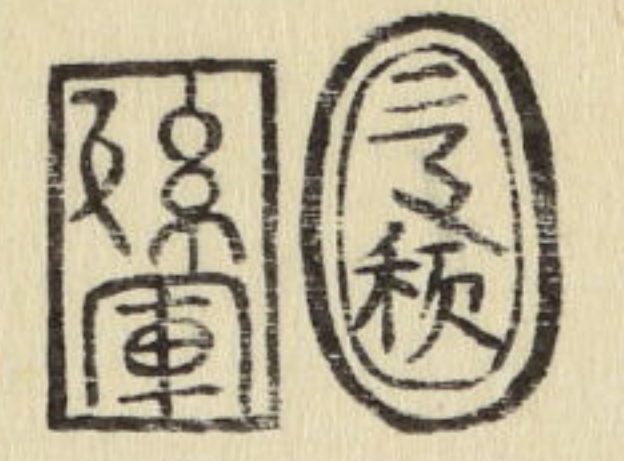
柳公權
百廿八



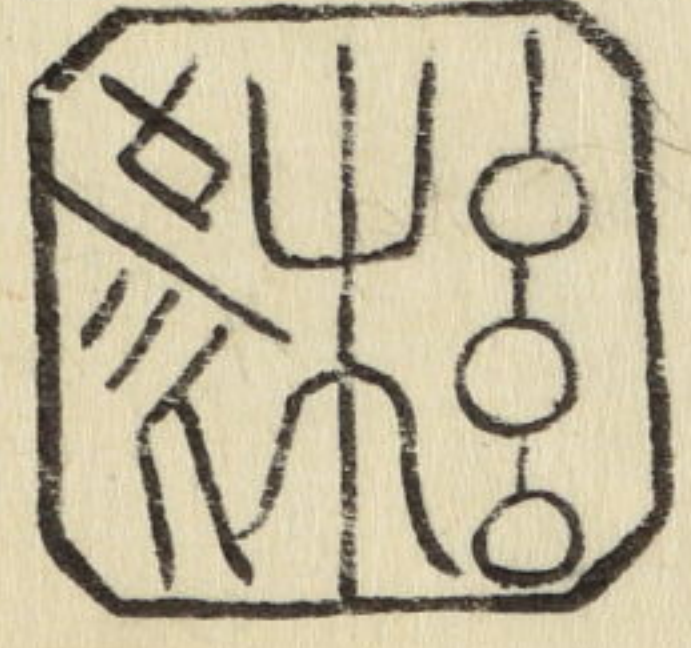
周文王
百廿九



孫如軍
百三十



用田
百三十一

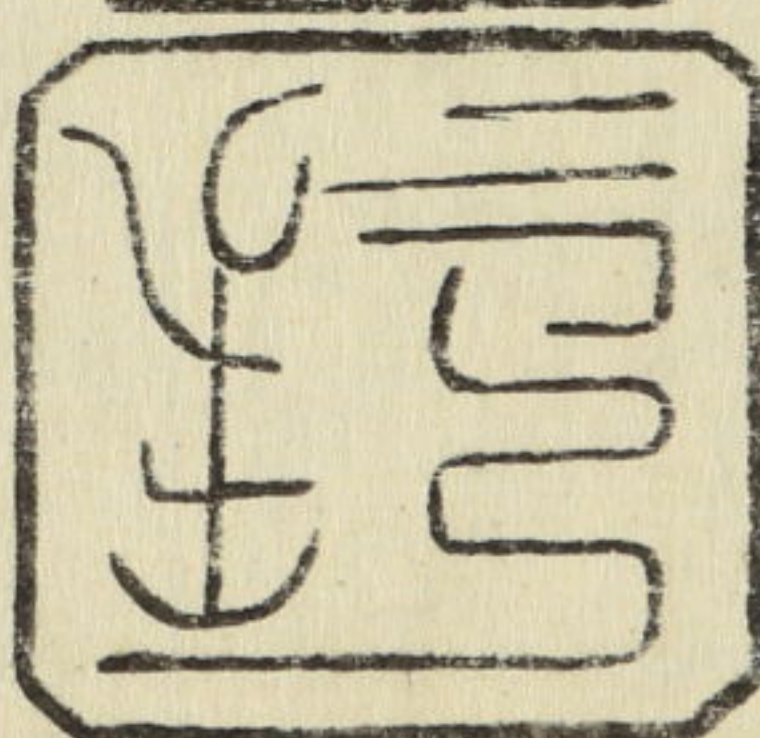
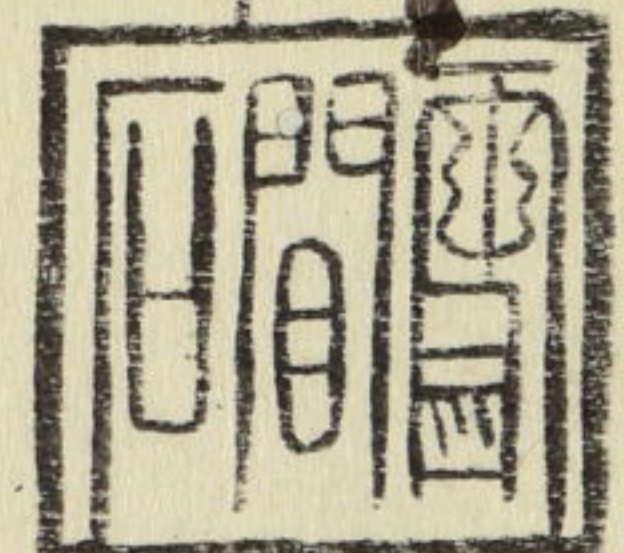
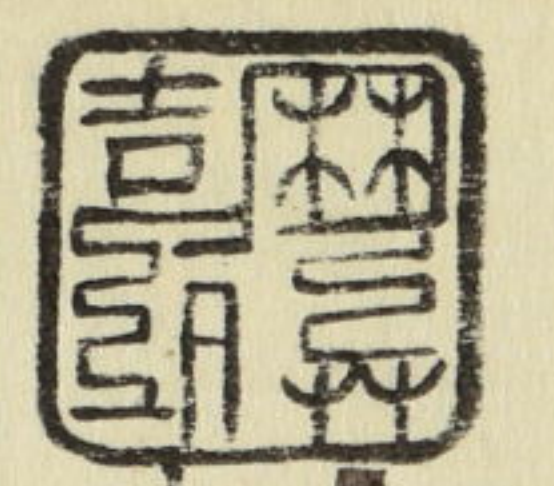
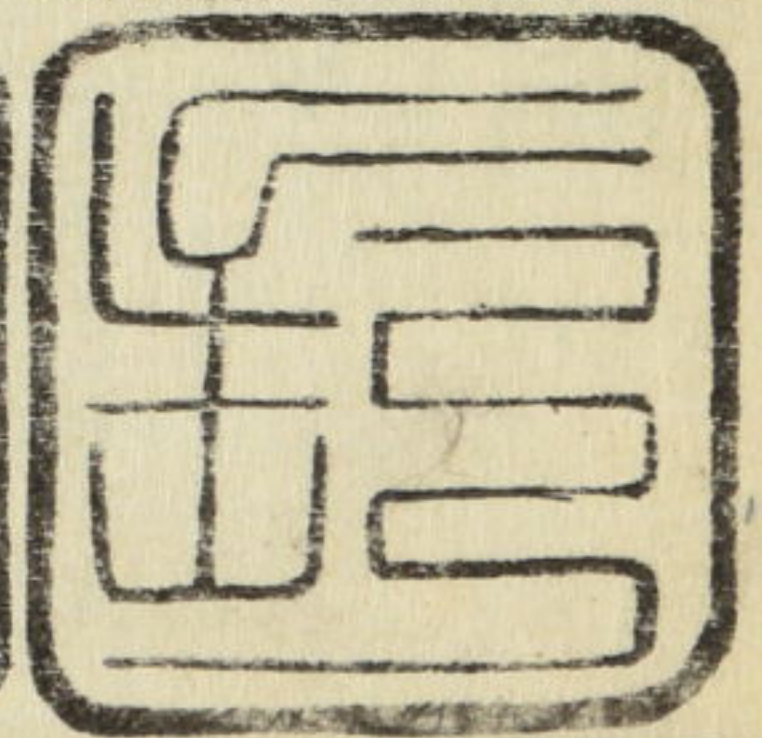
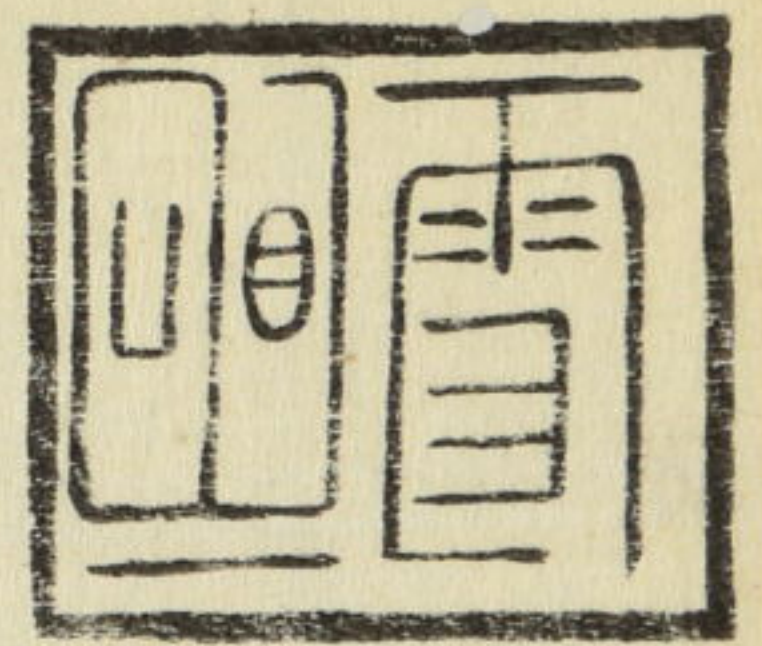


錢永
百三十二

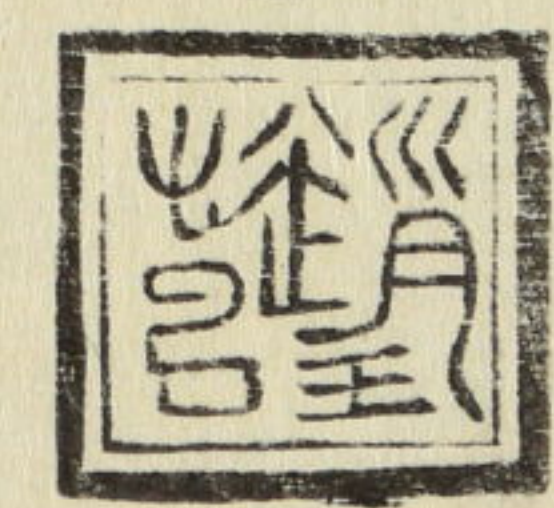


唐書卷之...

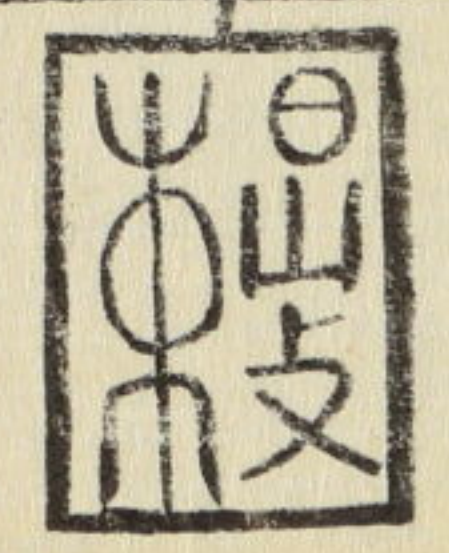
百鼎三
雲洞



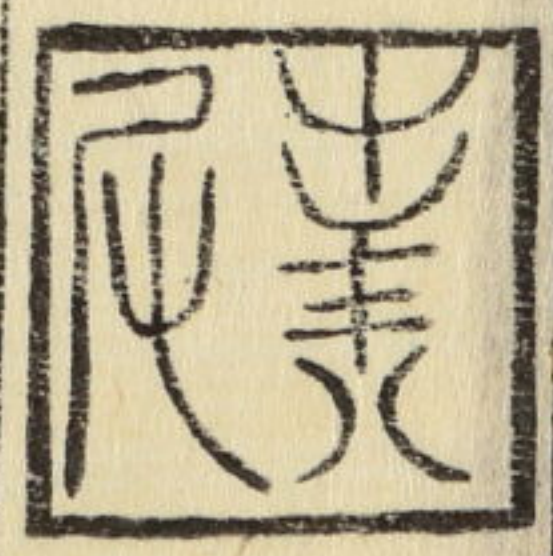
百鼎四
衡陽綠



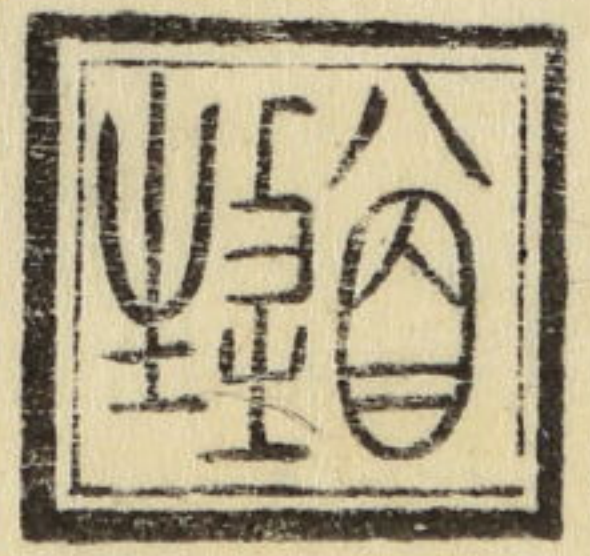
百鼎六
揚枝



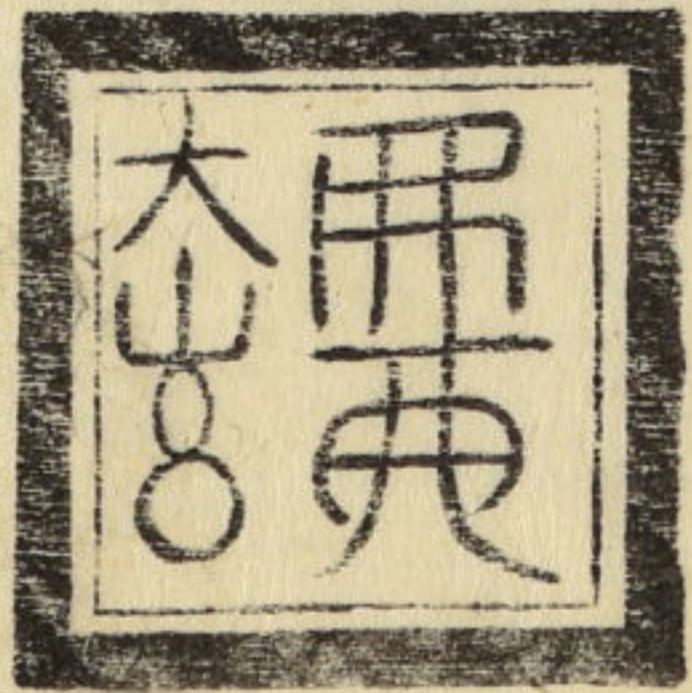
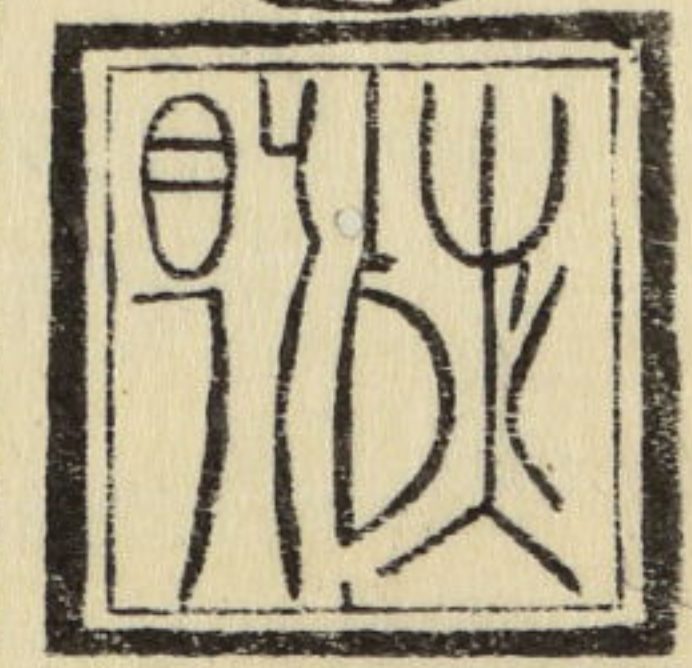
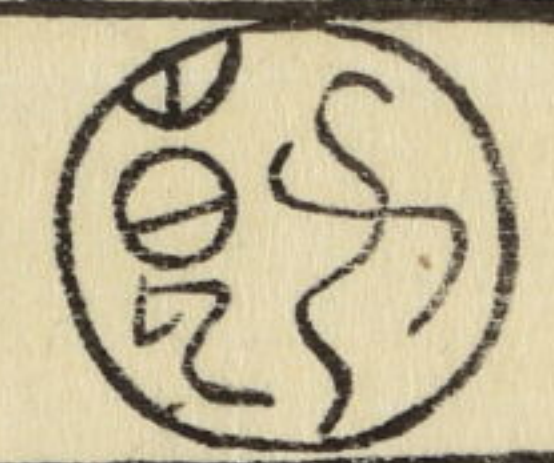
百鼎五
李光茂



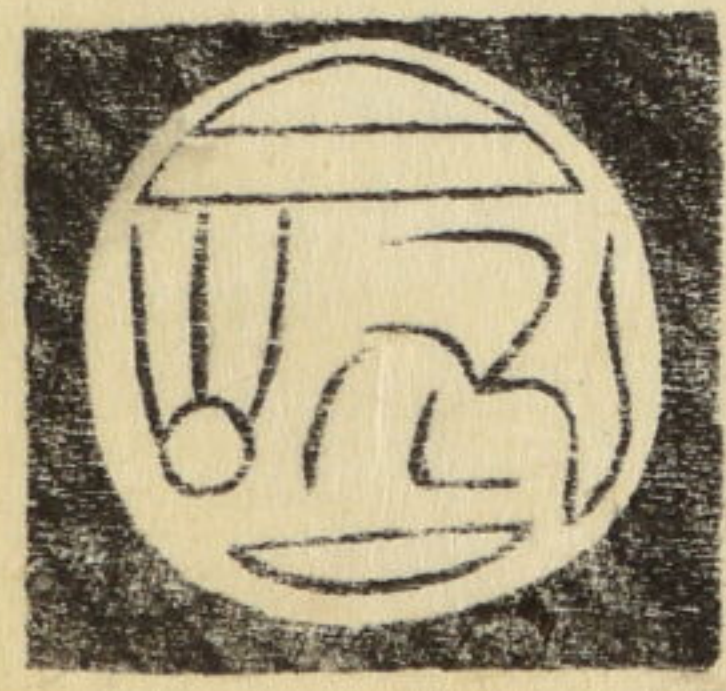
百鼎七
一唐乃



百鼎八
子良



百鼎九
仲和

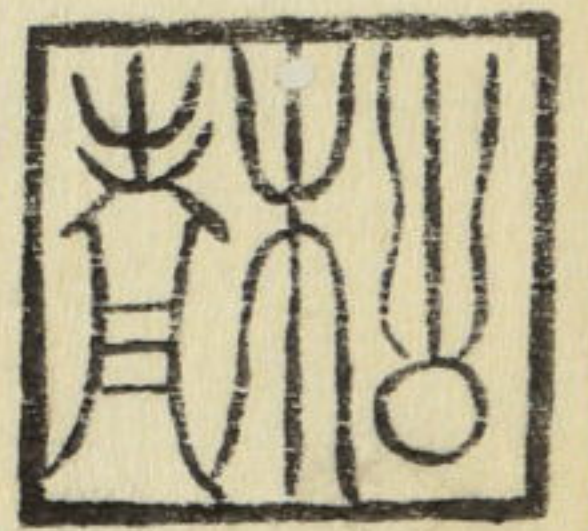


唐新傳

唐新傳

唐経傳
金五十一

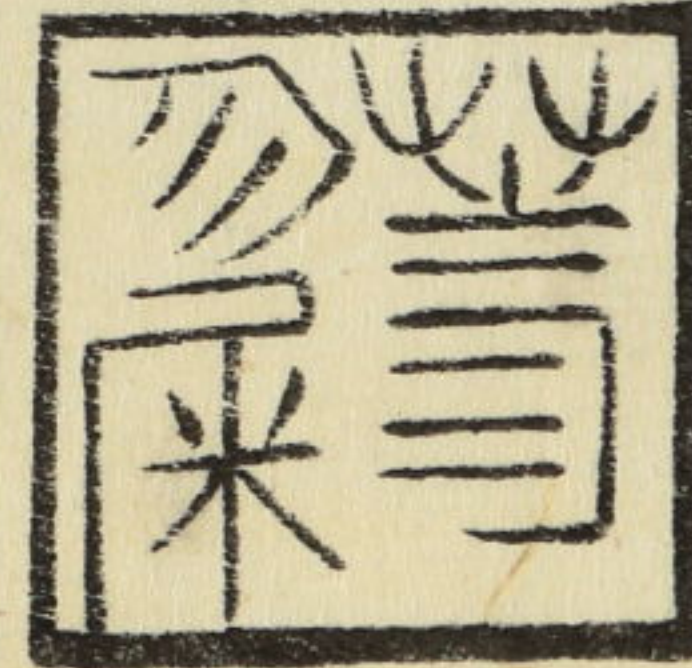
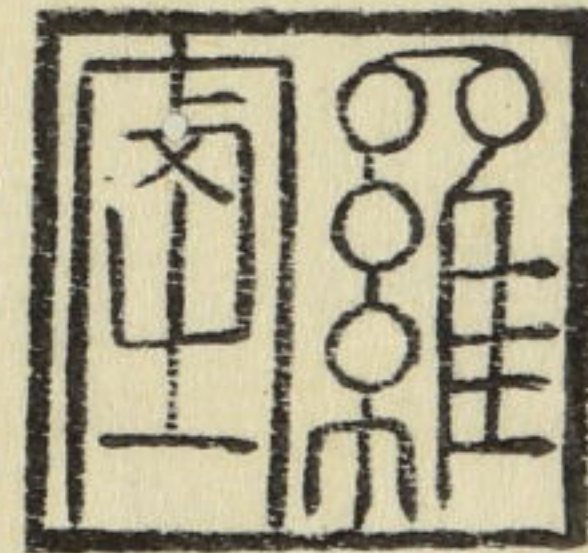
松齋
百四十一



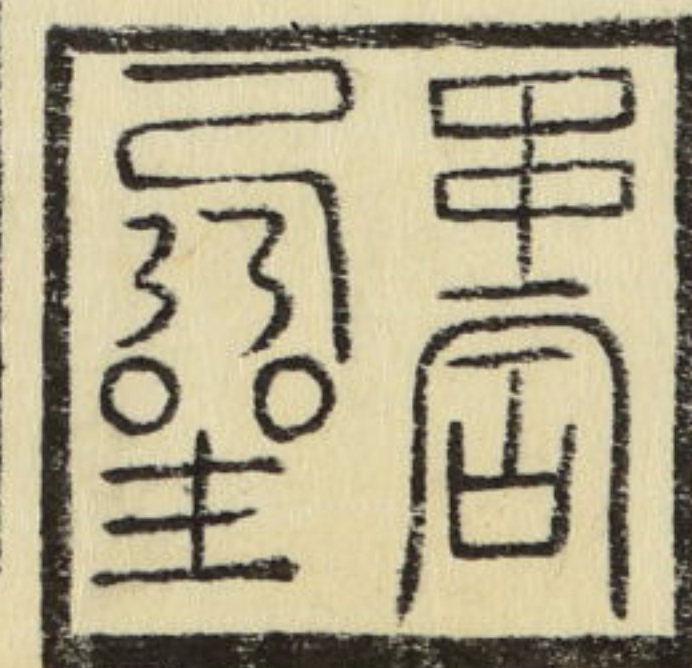
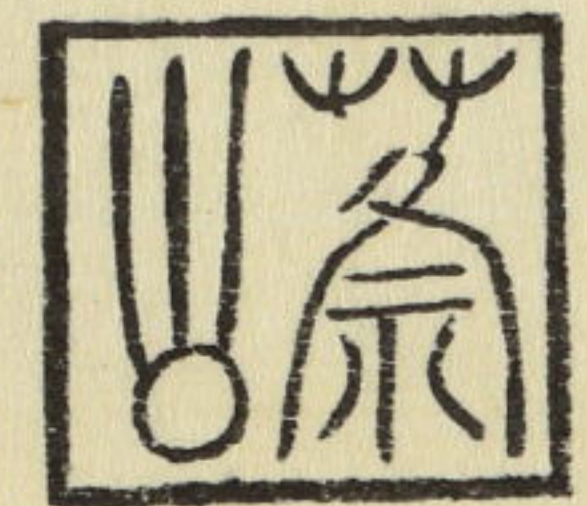
松齋
百四十一



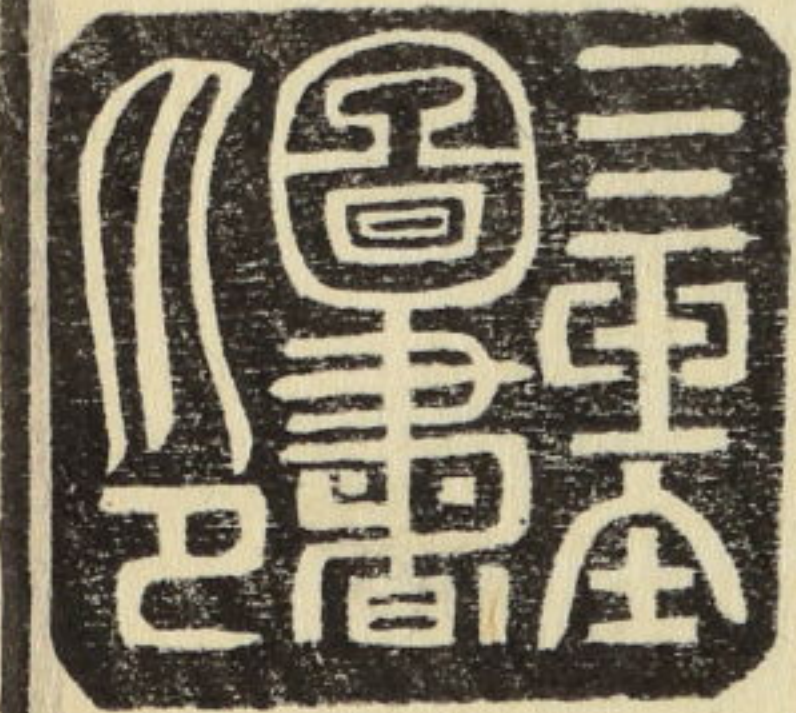
伽羅香
百四十二



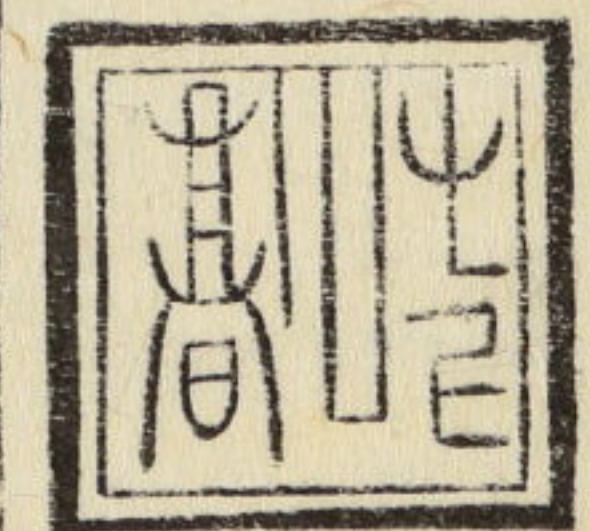
象山
百四十三



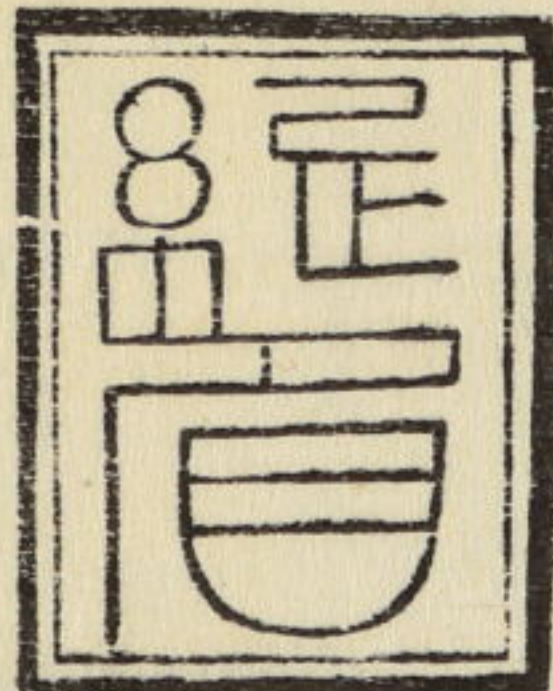
王公堂
百四十四



老猷
百四十五



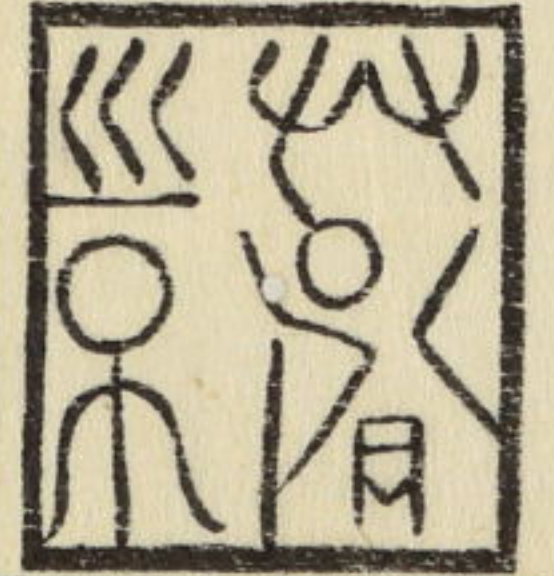
紅眉
百四十六



紅眉
百四十七



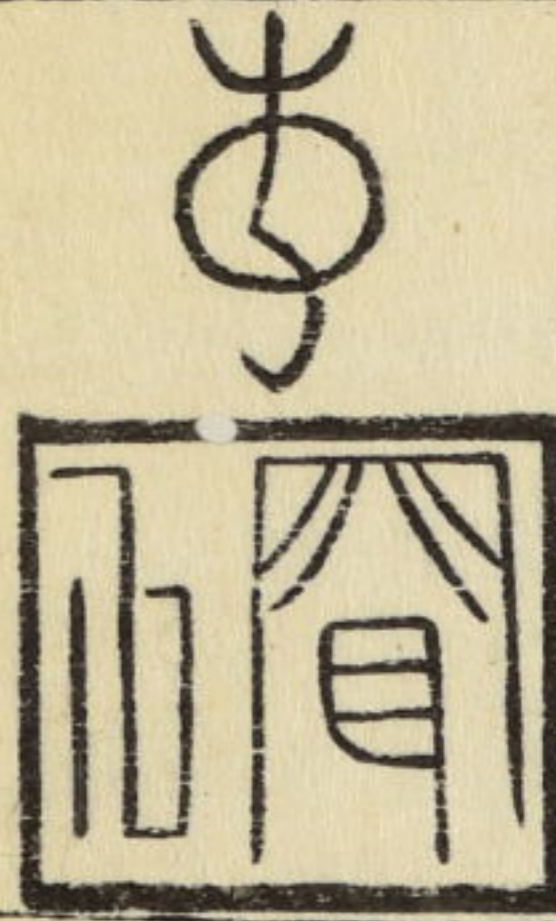
隱子
百四十八



阿加
百四十九



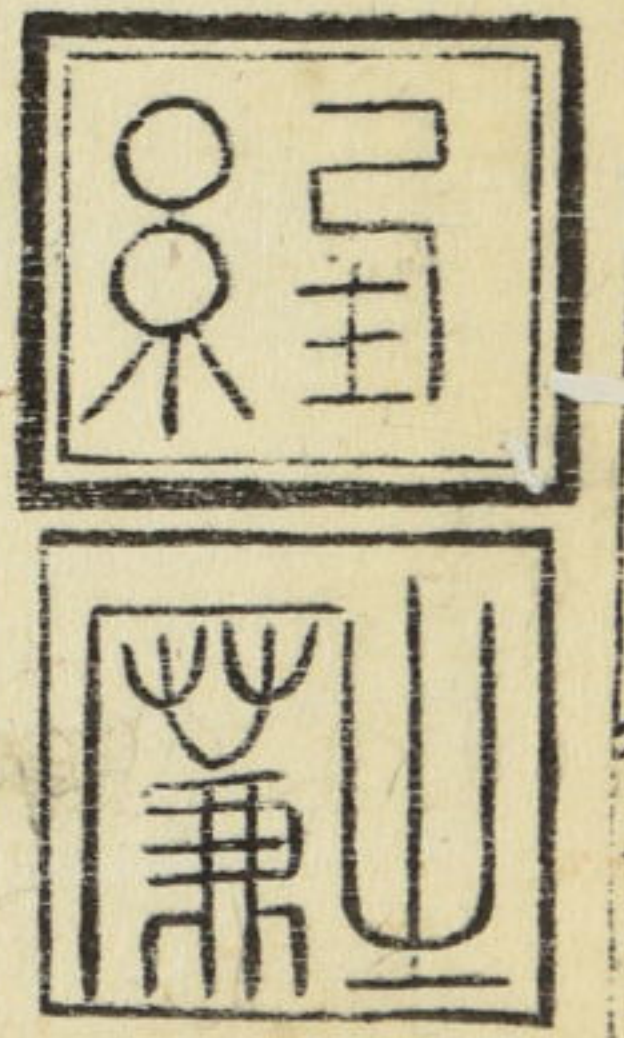
李爾
百五十



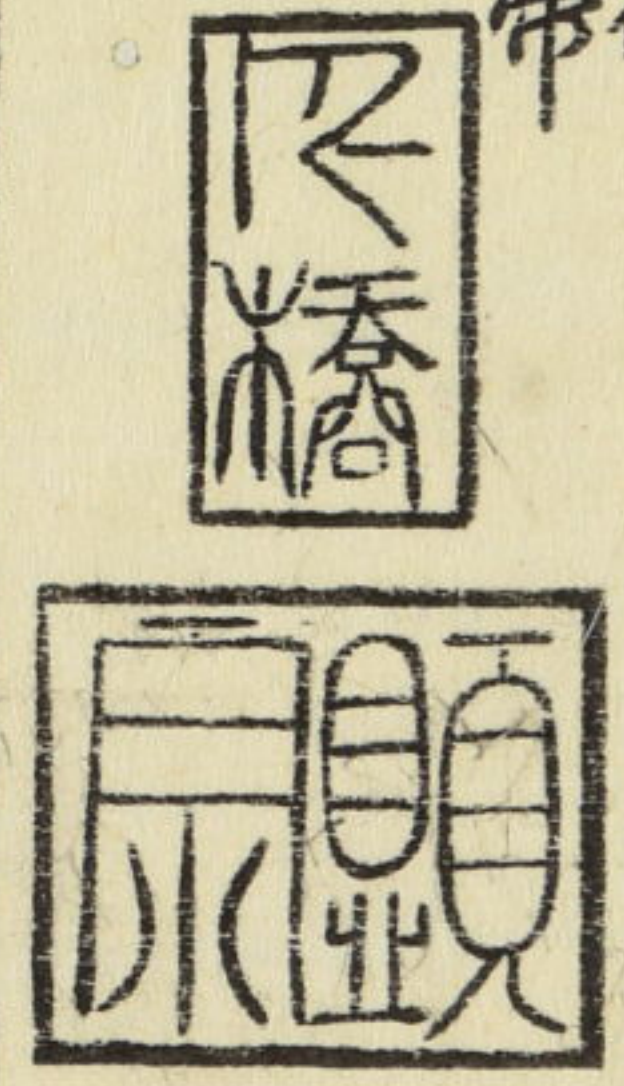
秀悦
百五十一



士廉 百五十二



光宗皇帝 百五十三



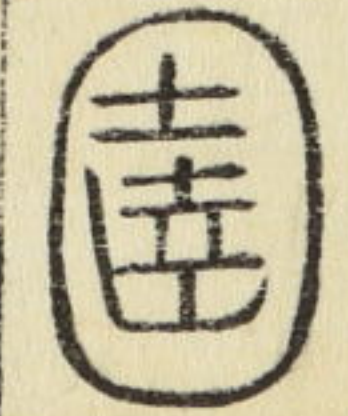
朱渥洞淳民 百五十四



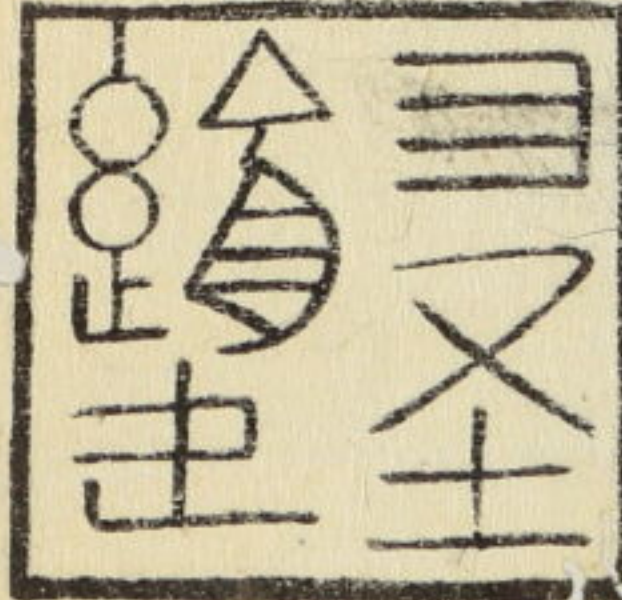
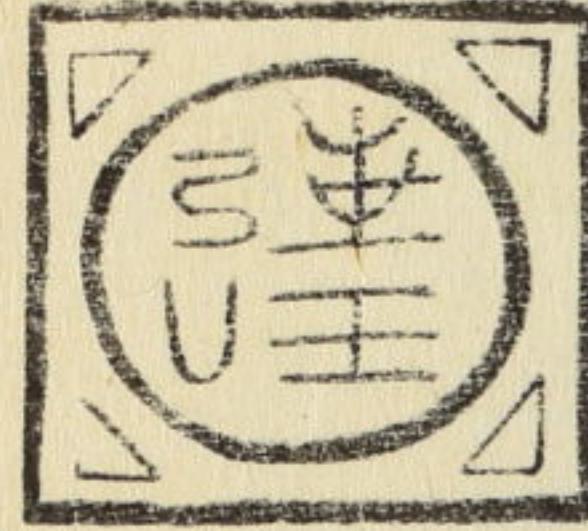
頊雲 百五十五



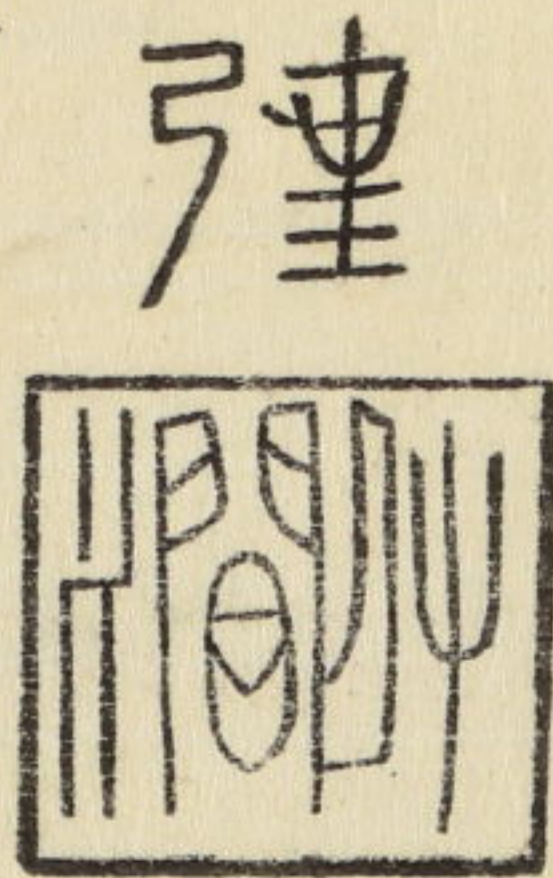
大達 百五十六



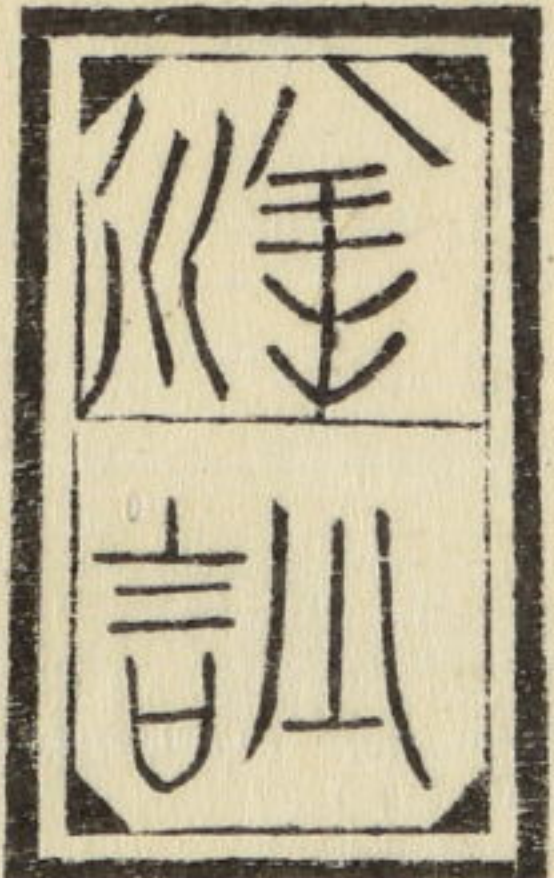
陰王三郎 百五十七



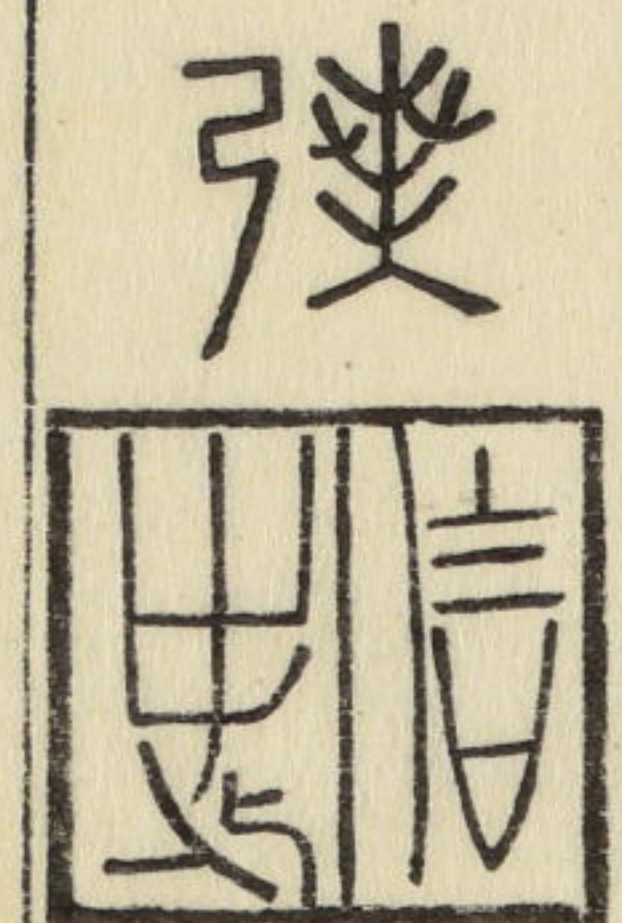
陸仲澗 百五十八



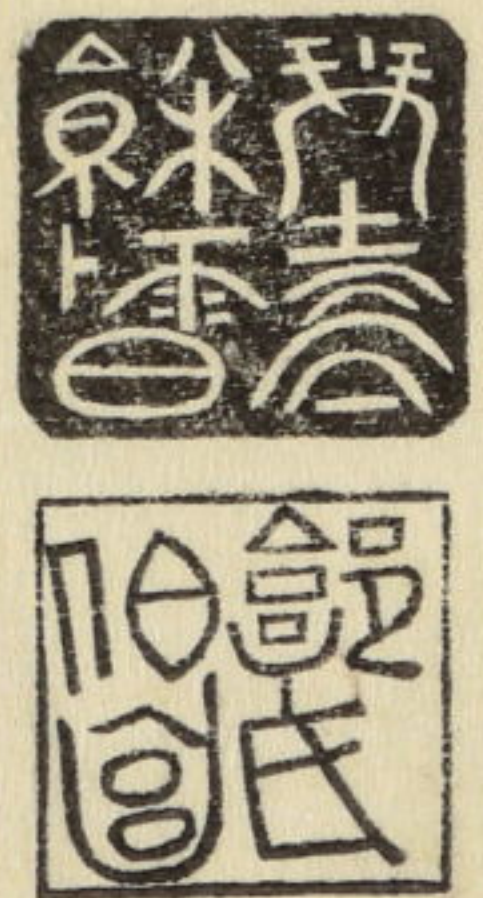
百五十九



陸佺忠 百六十



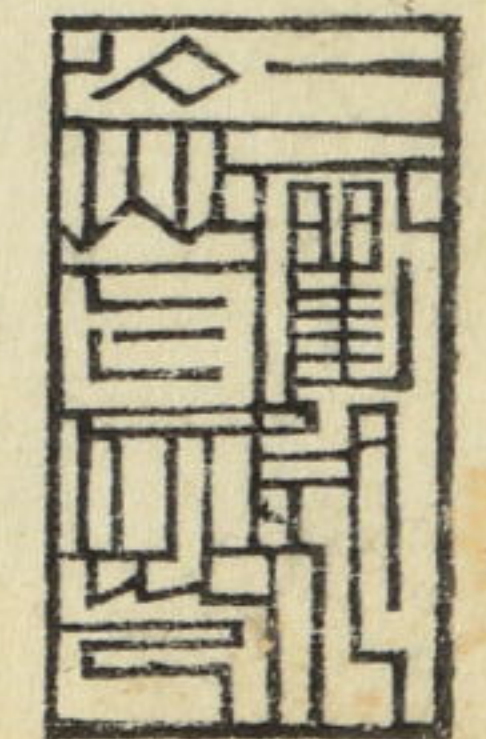
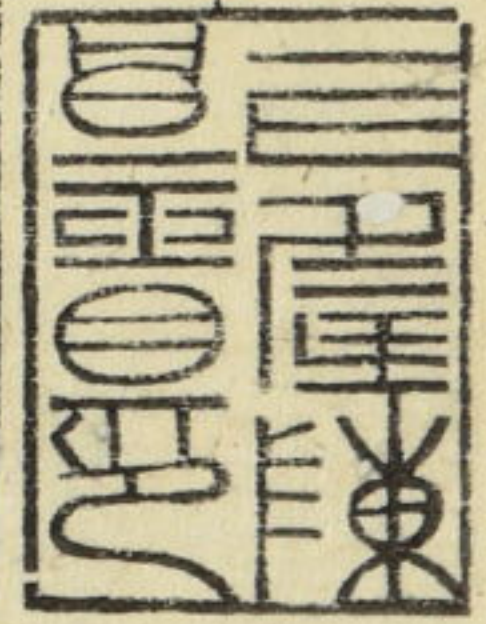
筠林 百六十一



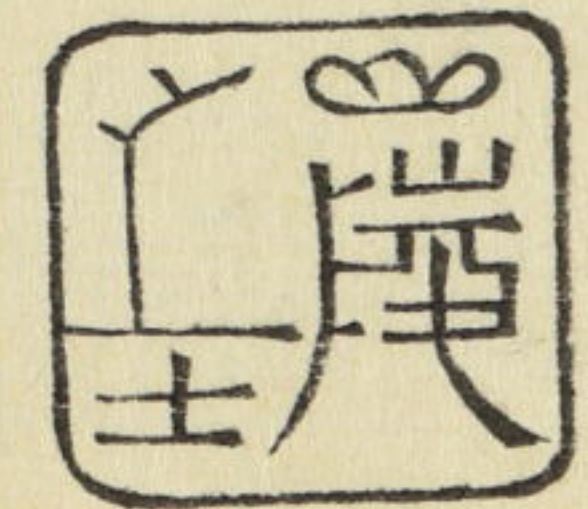
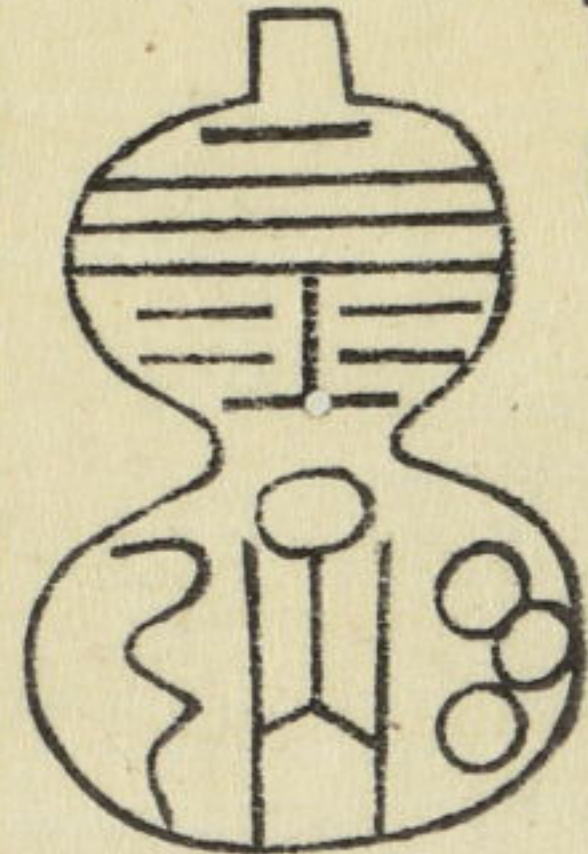
產白 百六十二



雲川 百六十三



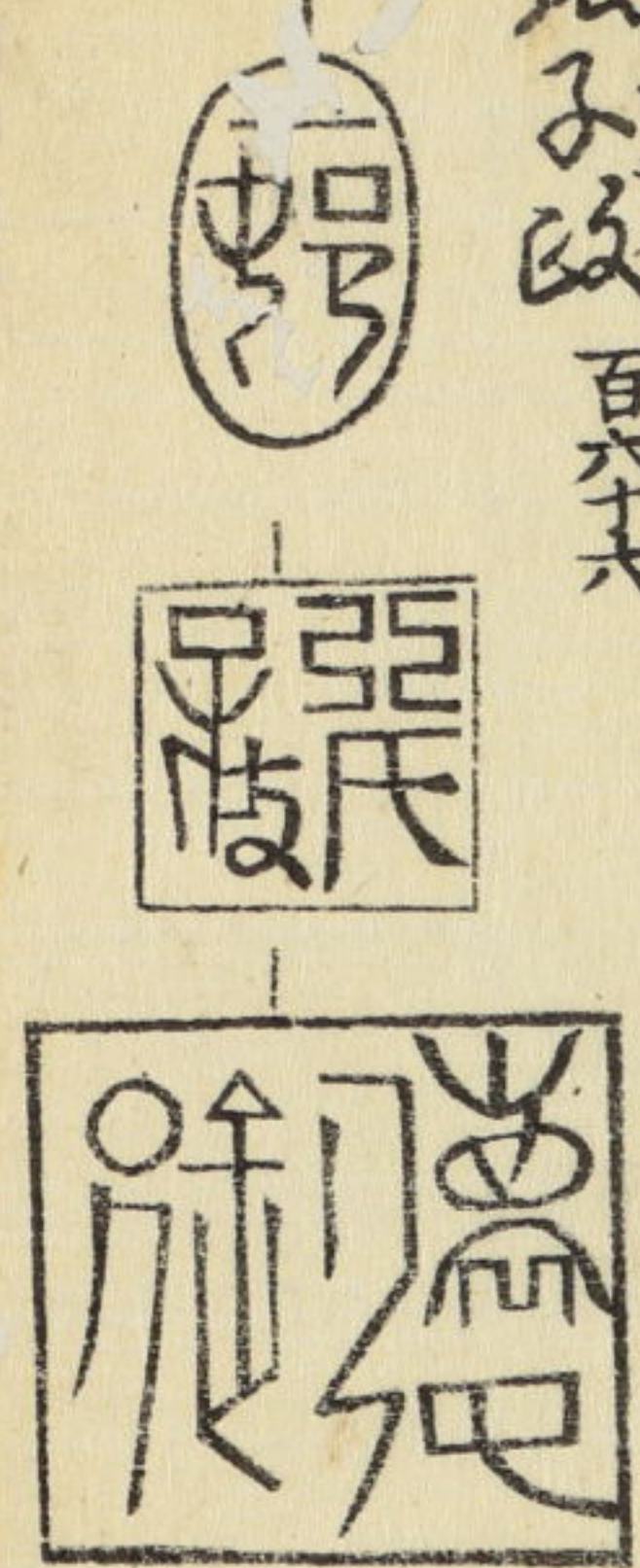
虚谷漫 百六十四



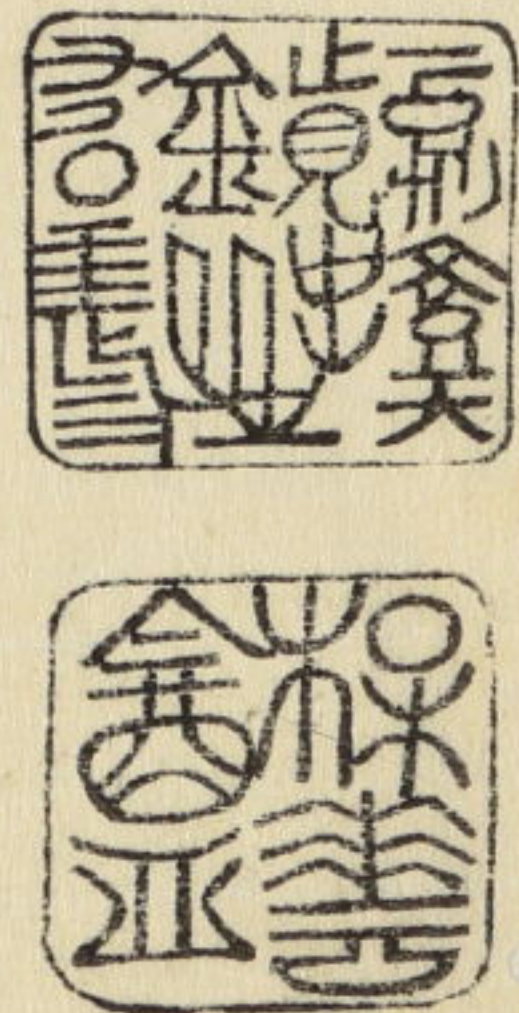
李方七郎 百六十五



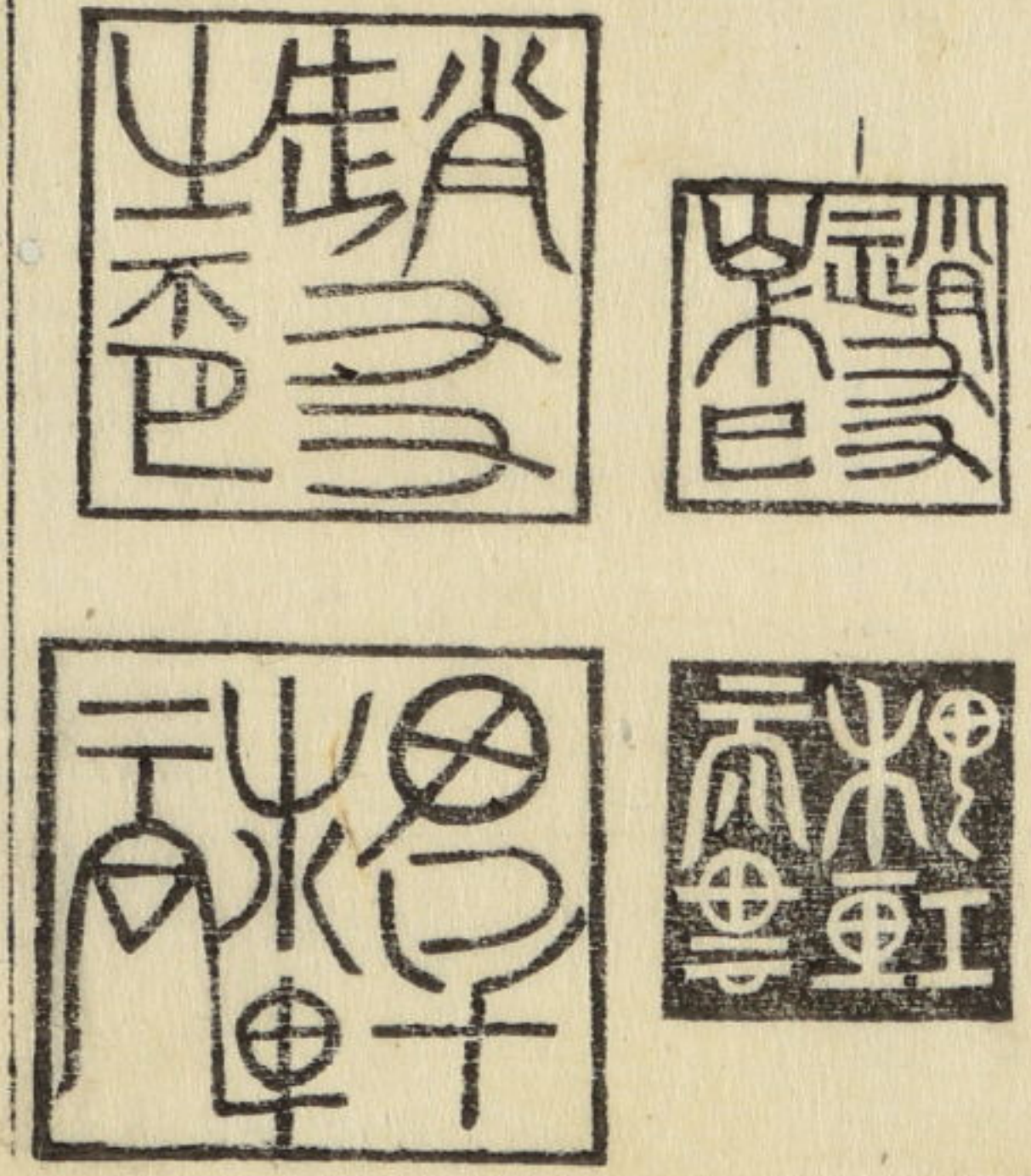
張子政 百六十六



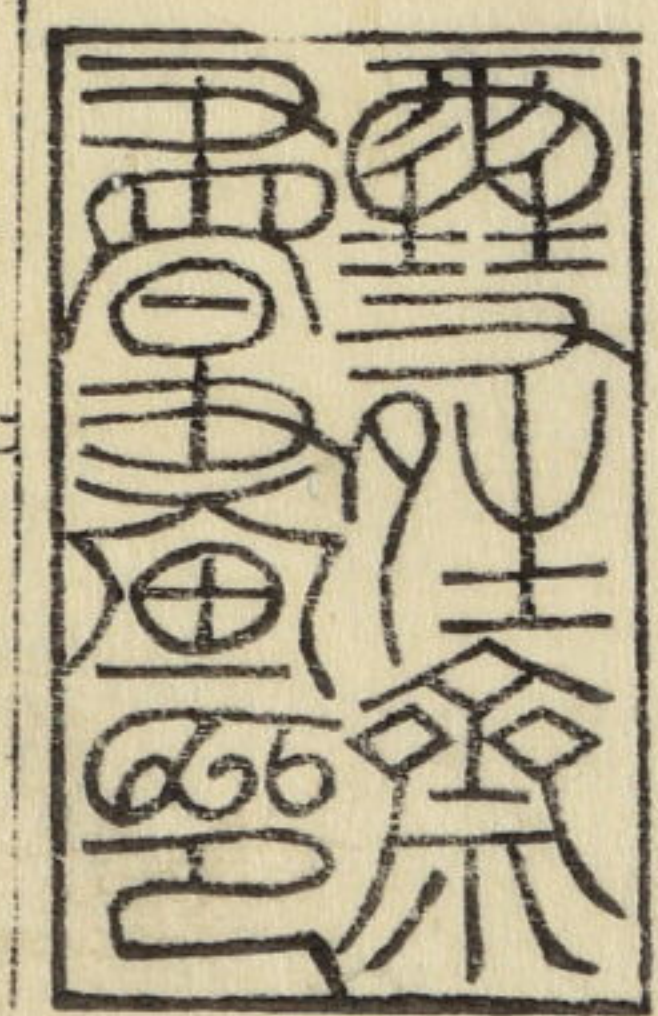
梅道人 百六十七



趙友 百六十八



世ツセイサイ 百六十九



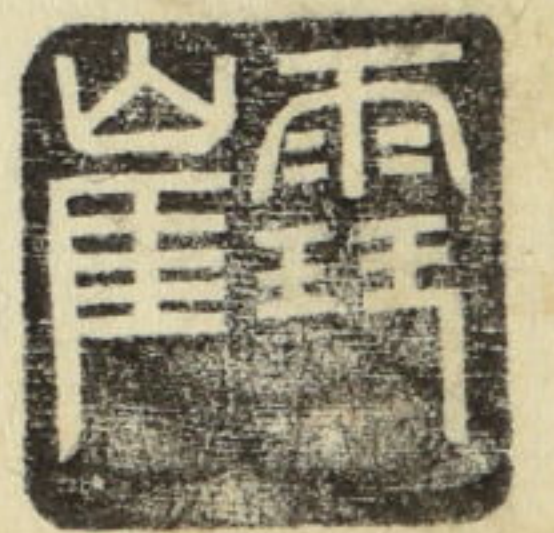
李福智



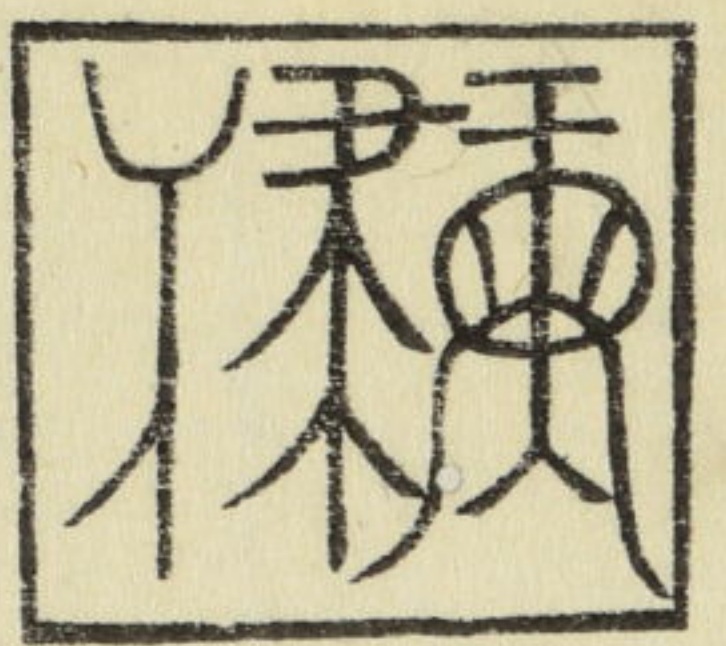
百七十

百七十一

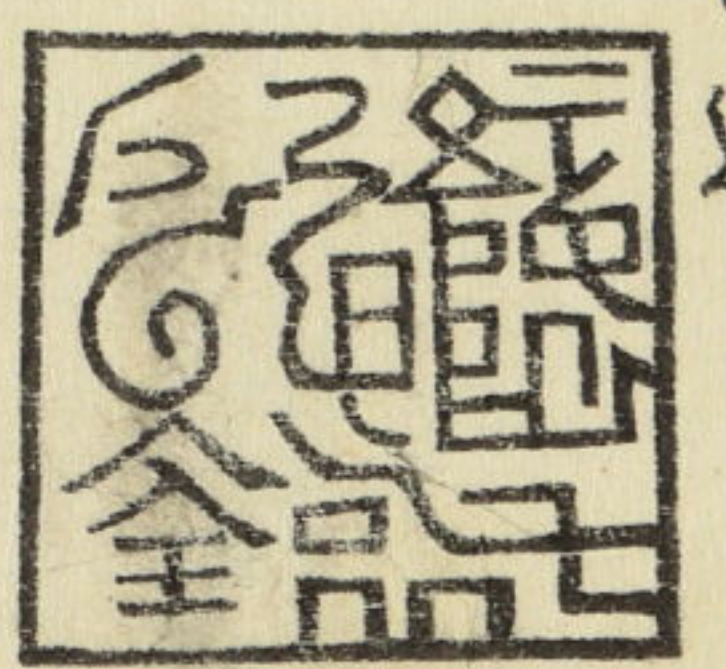
香岩 百七十一



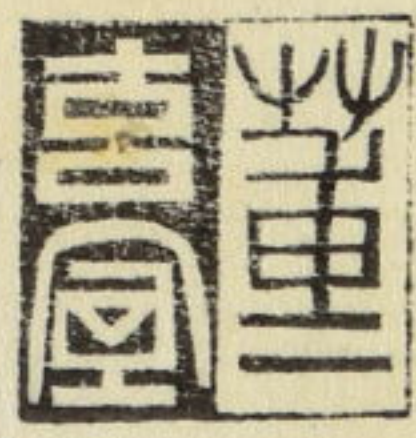
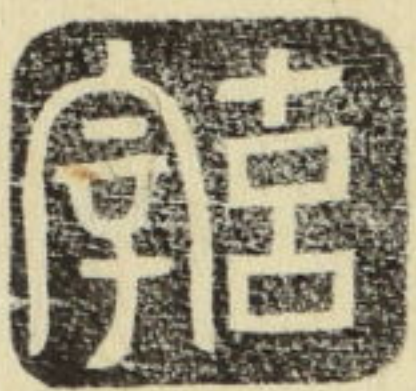
子亮 百七十二



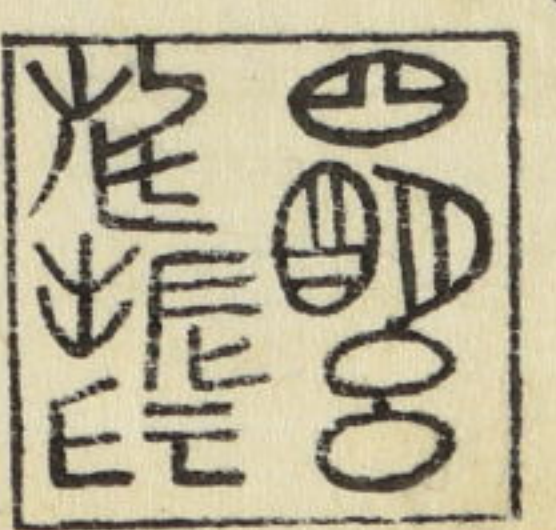
周道 百七十四



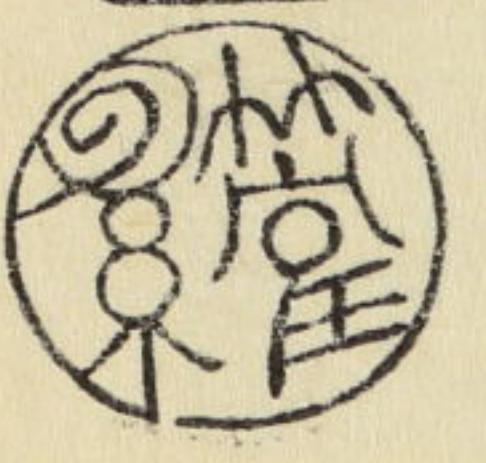
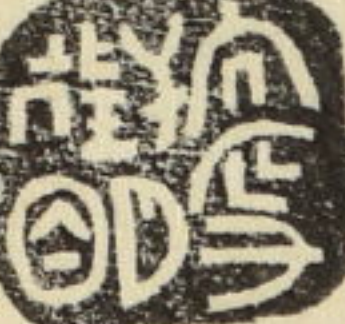
董其昌 百七十五



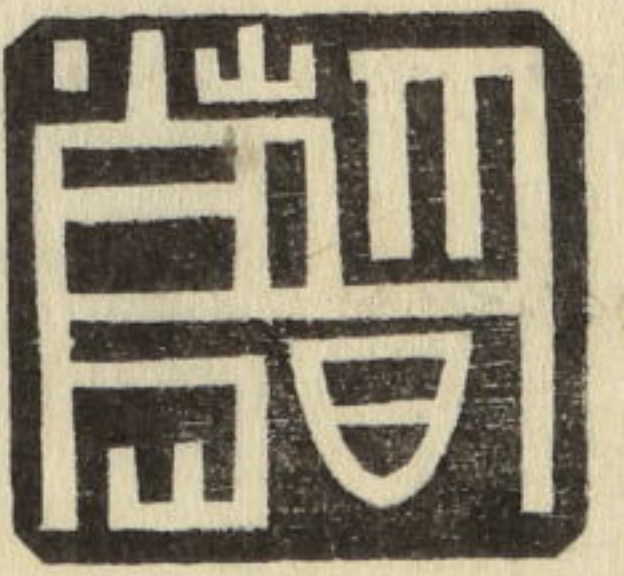
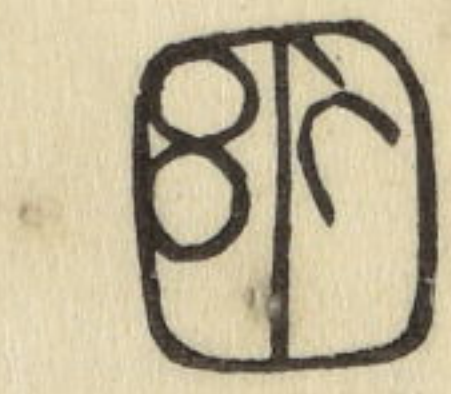
呂紀 百七十六



文徵明 百七十七



鄧城鄭沢 百七十八



右法眼乃蓋易と存英と云々書
カシト運也りそ書今不將野取去
多と云々

唐後傳不終

知
天

唐
詩
集

卷
之
一

